

326
236

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4

始



農業水利慣行調查

農商務省農務局

凡例

- 一、本調査ハ大正二年八月道廳府縣ニ照會シ其ノ報告ニ據リ編纂シタルモノニシテ農業水利上ノ慣習ニ付其ノ實例ヲ示シタルモノナリ
- 二、農業水利上ノ不適當ナル慣習ニ對スル改良意見ハ右照會對シ同時ニ府縣ヨリ提出シタルモノニシテ參考ノ爲メ之ヲ編入シタリ
- 三、同一ノ事實ニシテ數項ノ實例ニ該當スルモノハ其ノ最適切ナリト認ムル事項ノ下ニ揚ケ他ノ事項ノ下ニハ單ニ掲記事項ヲ參照スヘキ旨記載セルニ止メタリ

大正五年 月

農商務省農務局

大正二年
6. 5. 17
内交

農業水利慣行調査

目次

甲 用水ニ關スル慣行	一
第一 用水ノ供給ヲ仰ク爲メ慣習上金錢其他ノ對價ヲ支拂フ實例	一
第二 用水ノ分配ニ關スル慣習ニシテ適當ナリト認ムル實例	八六
第三 用水ノ分配ニ關スル慣習ニシテ不適當ナリト認ムル實例	一三九
第四 開墾地目變換ニ依リ新ニ用水ヲ必要トスル土地ヲ生スヘキ場合ニ於テ水量充分ナルニ拘ラス慣習上現ニ水利權ヲ有スル者ノ反對アルカ爲メ用水ノ供給ヲ受クル能ハサル實例	二〇六
第五 旱害ノ場合ニ於テ特別ノ慣習ニ依リ用水ノ分配ヲ爲ス實例	二四五
第六 用水ニ關スル訴訟ノ實例	三〇四
第七 其他用水ニ關スル特別ノ慣習	三四四
乙 排水ニ關スル慣行	三八五

二

第一 排水ヲ爲スニ付慣習上金錢其他ノ對價ヲ支拂フ實例 三八五

第二 排水ノ方法ニ關アル慣習ニシテ適當ナリト認ムル實例 三九三

第三 適當ナル排水方法アリ且ツ排水ヲ施行スルニ依リ利用増進セラルヘキ土地アルニ
拘ラス其ノ排水ヲ拒ム權利者アル爲メニ之ヲ爲スコト能ハサル實例 三九五

第四 排水ノ方法ニ關スル慣習ニシテ不適當ナリト認ムル實例 四三六

第五 水害ノ場合ニ於テ特別ノ慣習ニ依リ惡水ノ排除ヲ爲ス實例 四四五

第六 排水ニ關スル訴訟ノ實例 四五一

第七 其ノ他排水ニ關スル特別ノ慣習 四六五

丙 農業水利上ノ不適當ナル慣習ニ對スル改良意見 四七〇

農業水利慣行調査

甲 用水ニ關スル慣行

用水ノ供給ヲ仰ク爲メ慣習上金錢其他ノ對價ヲ支拂フ實例

北海道



一 空知郡岩見澤町川向土功組合ニ於テ同組合区域内必要ノ灌溉ヲ遂ケタル餘水ヲ同町上幌向水田耕作者十七名六十町歩ニ引用スル爲メ組合排水溝ノ使用權ヲ取得セシメ該使用料トシテ四百圓ヲ納付セシメツツアリ

二 組合区域内必要ノ灌溉ヲナシタル餘水ヲ同町字幾春別東川向水田耕作者四名一町七反歩ニ對シ一反歩一圓ノ割合ヲ以テ組合灌溉溝使用料トシテ納入セシメツツアリ

三 空知郡北村字下美唄ニ於テ數人共同シテ九十餘町歩ノ灌溉許可ヲ受ケ其後區域ヲ百數十町歩ニ擴張シ最初ノ工費ヲ後者ニ於テ分擔シ平等ニ用水ヲ使用シツツアリ

四 雨龍郡秩父別村千七百六十九番地及千七百七十一番地ノ土地七町歩ニ對シ灌溉用水路敷地使用料

トシテ一ケ年一反歩ニ付玄米八斗ツツ敷地所有者ニ仕拂ヘリ

札幌支廳管内

五 千歳郡惠庭村大字島松村島松用水區域大字島松村一圓、地積四百九十五町歩ニ於テハ新ニ區域内ニ於テ水田ヲ造成スル者ヨリ加入料トシテ五町歩ニ付金七拾圓ヲ徴收シツツアリ

六 千歳郡惠庭村本字漁村牧場漁用水、區域大字漁村一圓、地積三百七十五町歩ノ右用水關係者ニ於テハ新タニ區域内ニ於テ水田ヲ造成スルモノヨリ加入料トシテ五町歩ニ付金五十圓ヲ徴收シツツアリ

七 千歳郡千歳村字カマカ部落ニ於テ水田地積三十町歩ニ對シ隣村惠庭村、用水組合ヨリ用水ノ分配ヲ受ケ五町歩ニ對シ金十五圓ヲ支拂ヒツツアリ

八 札幌郡手稻村大字上手稻村字西野、區域同字西野ノ一部、地積六十町歩ノ用水關係者ニ於テハ區域内ニ於テ新ニ水田ヲ作ルモノヨリ一町歩ニ付金七圓五十錢ヲ徴收シツツアリ

上川支廳管内

九 上川郡神居村忠別丈ニ於テハ用水ノ供給ヲ仰クノ對價トシテ田四十町歩ニ對シ毎年玄米三石宛ノ支拂ヲナスモノアリ

函館支廳管内

一〇 龜田郡大野村大字本郷村字御上關四ニ於テハ用水ノ供給ヲ仰ク爲メ田一町二反歩ニ對シ一ケ年玄米二斗八升ツツ支拂ヘリ

一一 同郡同村大字大野村字開發二ニ於テハ用水ノ供給ヲ仰ク爲メ田三町歩ニ對シ一ケ年玄米一斗五升ツツ支拂ヘリ

一二 同郡同村同大字字喜連一〇ニ於テハ用水ノ供給ヲ仰ク爲メ田三町歩ニ對シ一ケ年玄米四斗ツツ支拂ヘリ

一三 同郡同村大字市渡村字二軒家ノ上一四ノ一ニ於テハ用水ノ供給ヲ仰ク爲メ田十町歩ニ對シ一ケ年玄米一圓ヲ支拂ヘリ

一四 同郡同村大字市渡村上字中通三十七ノ甲ニ於テハ用水ノ供給ヲ仰ク爲メ田一町一反歩ニ對シ一ケ年玄米四斗ヲ支拂ヘリ

後志支廳管内

一五 磯谷郡南尻別村ニ於テ同村字ニンベツ二十町歩ニ用水ヲ仰キ一ケ年一圓五十錢ヲ支拂ヒ居レル實例アリ

- 一 豊多摩郡落合村大字葛ヶ谷ノ一部、同上落合ノ一部、同下落合ノ一部ノ集團地區ノ總面積拾四町步除ニシテ壹反步當負擔額金七錢五厘ナリ
- 二 豊多摩郡落合村大字上落合ノ一部面積九町步ニシテ壹反步負擔額金拾參錢參厘ナリ
- 三 豊多摩郡落合村大字下落合ノ一部面積九町步ニシテ壹反步負擔額金五拾五錢五厘ナリ
- 四 豊多摩郡落合村大字上落合ノ一部面積五反步ニシテ負擔額金六圓ナリ
- 五 豊多摩郡井荻村大字上井草、同下井草、同下荻窪ノ一部面積四拾貳町步除ニシテ壹反步當負擔額金拾六錢四厘ナリ
- 右ノ内一、五ノ二地區ノ灌溉用水ハ多摩川ノ分水千川ヨリ供給ヲ仰ケリ、二、三ノ二地區ノ灌溉用水ハ神田川上流妙心寺流ヨリ供給ヲ仰ケリ、四ノ一地區灌溉用水ハ中野町ヨリ供給ヲ仰ケリ
- 六 北多摩郡西府村ニ於テ用水ノ供給ヲ仰クニ堀敷料トシテ南多摩郡日野町ニ對シ往古ヨリ年々金四拾圓以上ヲ仕拂ヒツツアリ此ノ地區總面積百四拾八町步ナリ

京 都 府

番 號	所 在 地	區 域 ノ 地 積	對 價	備 考
一	愛宕田中	二九・二一八	二二七・六八〇	從來井堰ヨリ水量不足ナルヲ以テ京都市疏水ノ水ヲ使用ス一ヶ年ノ使用料金如上(大正二年分)

番 號	所 在 地	區 域 ノ 地 積	對 價	備 考
二	修學院		二十四時間 五・〇〇〇	
三	下鴨	五〇・〇〇〇	金 二五・〇〇〇	
四	羽東師	四〇・〇〇〇		
五	鴨川	一八・〇〇〇	米 二・五〇〇	
六	志水	一五・九〇〇	米 二・三一	
七	淀新神足 大下津水 垂勝龍寺	一五・〇〇〇	米 二・六〇〇	
八	新神足	一・八〇〇	米 〇・六〇〇	
九	山科	〇・六〇〇	米 二・一〇〇	
一〇	山科	〇・六〇〇	米 二・一〇〇	
一一	小山	八・七四〇	米 二・五〇〇	
一二	醍醐	二二・〇〇〇	米 八・三二五	

早天ニ際シ用水行滲ラサルトキ一時ノ融通トシテ上流ノ高野區及八瀬村ニ貫水ヲ請求ス其金額貳十四時間ニ對シ如上

從來ノ習慣トシテ年々一乘寺區ヨリ高野區へ持參スヘキ物品ノ五月十九日樋口祭酒三斗七月二日稲付祝酒三斗

從來鴨川筋ニ於テ大宮村上加茂村高野川ニ於テハ修學院田中村松ヶ崎村各井堰ヨリ用水ノ供給ヲ仰キ上記ノ全員ヲ毎年各村ニ提供ス

久我村大字出口溝渠(桂川ヨリ引用ス)使用料トシテ毎年久我村へ支拂フ

久我村大字權現及上郡ニケ所ノ用水使用料トシテ毎年大字志水ヨリ久我村へ支拂フ

大山崎村大字大山崎大字下植野ノ田養水引用ノ爲メ羽東師村ヨリ引用スル水路敷使用料トシテ定村大字大下津區八斗二升大字水垂區壹石二斗七升貳合新神足村大字勝龍寺區貳斗壹升九合サ大山崎村ニ支拂フ

小泉川用水引用ノ爲メ海印寺村大字下海印寺地内水路敷地料トシテ毎年大字友岡ヨリ大字海印寺ニ納附スルノ慣例アリ

用水供給ノタメ毎年

同 上

毎年壹反步米三斗五升ノ割

山科村音羽小山大塚ノ三部落關係者ハ昔ヨリ音羽川ノ流水ヲ灌溉水ニ引用シツ、アリシモ京都市疏水開通以來該河ヨリ分水サナシタメニ大字音羽ニ於テ音羽川ノ水ヲ引用スルコトニ必要トナリシヲ以テ大字音羽部落關係者ノ有スル水利權ヲ字小山ニ附與スルノ價金ニシテ毎年之ヲ支拂フ

大字石田小字大受、森東、森南、櫻木ヨリ毎年田水料トシテ大字醍醐小字大溝、池田、鏡尾ノ土地所有者ニ提供ス

一三	紀伊	下鳥羽	中島	?	米	〇・二〇〇
一四	横大路	横大路	?	?	米	一・一〇〇
一五	久世	小倉	安勢田	五四・〇〇〇	米	一九・一九〇
一六	相樂	加茂	里	〇・二〇〇	香酒	〇・二〇〇
一七	南桑田	曾我部	下流	?	米	自一〇〇〇〇 至二〇〇〇〇
一八	大井	並河	?	三〇・〇〇〇	米	五〇・〇〇〇
一九	南桑田	千歳	江島里	一・五〇〇	米	一・八〇〇
二〇	西別院	神地	?	〇・四〇〇	米	米壹反歩二付一日 〇・〇〇五
二一	旭	小美	美の田	?	米	金壹反歩二付 自五〇〇〇〇 至六〇〇〇〇

小字北ノ口田地用水堰止料トシテ毎年竹田村山田金治郎へ米貳斗ヲ支拂フ

下鳥羽村大字南町ニ用水堰ヲ設置シ鴨川ノ水ヲ引用セルガ爲メ其越石費及備守費トシテ毎年下鳥羽村へ上記ノ金額ヲ提供スル契約アリ

水津川ヨリ用水ヲ供給ス此水路ハ久津川村大字上津屋及比佐山村大字佐古ヲ通過スルナリテ水踏料トシテ佐古へ拾圓拾六錢上津屋へ九圓〇參錢ヲ支拂フ

用水ノ供給ヲ仰カンカ爲其上流富尾村字尻林井手組合ニ提供ス

曾我部村ニ於テ下流各部落ガ上流部落ヨリ用水ノ供給ヲ仰ク場合ニハ其供給スヘキ部落ハ一村其灌溉ヲ制限スルガ爲メ入足ヲ要スルニ付下流部落ハ之カ賠償トシテ上記ノ金額ヲ提供スル慣習アリ

大井村大字並河小字西壘參拾可歩ハ大早魁ノ際ハ寅天堰水利組合ニ用水ヲ供給ヲ仰クノ慣習アリ昨午ノ如キ上記ノ金員ヲ寅天堰水利組合ニ提供シテ早害ヲ免レタリ

江島里部落中今ヨリ四五十年前ノ開墾ニ係ル田地俗稱八作田ト稱スル所ハ明治十三年以來當部落用水ノ分配ヲ受ケ居リシカ餘水廻シテ江島里部落ニ支拂ヒツルニ及リ而シテ八作田ハ其所有者及小作人共ニ當部落民ニ限リ且其筆數反別ハ古來ヨリ増加シ得ル慣習アリ

大字神地小字大坪ハ用水不足ノ場合ハ一反歩二付一日米五合ノ對價ヲ以テ用水ノ供給ヲ受ク

小字美の田區其ノ他ノ開墾地並ニ地目變換地等ニシテ新ニ水田トナリ水ノ供給ヲ受クル必要アル場合ハ一反歩二付五・六圓ノ加入料ヲ出シテ古來ノ田地ト同一ノ水利權ヲ得ル慣習アリ

三二	船井	富木	氷日所	三二・二九二	米	一六・七五〇
二三	富木	青戸	?	三〇・〇〇〇	米	一八・〇〇〇
二四	五ヶ莊	田原	?	〇・三〇〇	米	〇・三〇〇
二五	桐ノ庄	曾我谷	?	三・八七〇	米	〇・五二八
二六	檜山	橋爪	?	〇・九〇〇	米	〇・三一五
二七	金山	行積	?	〇・六〇〇	米	〇・〇八五
二八	久野	平野	?	三・〇〇〇	米	〇・七〇〇
二九	細見	中細出	?	〇・二〇〇	米	〇・〇三〇
三〇	雀部	土師	?	一一・〇〇〇	米	一〇・〇〇〇
三一	人上	生野	?	六・〇〇〇	米	四・〇〇〇

新庄堰餘水料トシテ年々新庄村へ提供ス往古ハ新庄村ヨリ排水路補償トシテ年々新庄へ受ケ取シコトアリ然ルニ明治十六年大早魁ノ際前記ノ通り協定シ爾來水旱ニ係ラズ繼續シツルアリ

溜池迄ノ距離約二里アルヲ以テ其數地料トシテ南桑田郡旭村内山階杉兩區へ年々提供ス

五ヶ莊村大字田原小字大磯ノ一部ニ地ハ若狹街道改修ノタメ灌溉水不足トシテ生シタメニ隣地ヨリ用水ヲ供給ヲ仰キ其對價トシテ支拂フ尙之ニ類スルモノ他ニ夥カラス

桐ノ庄村大字曾我谷小字繩手一圓ノ耕地ハ川邊村桐ノ庄村堰水組合地字内林ノ裏ノ中間ニ突入セルトナリ上記ノ對價ヲ以テ自由ニ引水スル事ヲ得ル契約ナシタリ

檜山村大字橋爪小字檜山ハ同村和井堰ヨリ用水ノ供給ヲ仰クニ依リ上記ノ對價ヲ支拂フ

井堰水ノ分配ヲ受ケルタメ上記ノ對價ヲ支拂フ

上夜久野村大字平野小字「ナコ」ニ於テ用水供給ノ途ナク同村大字板生「アガケ」池ノ用水ヲ仰クニ依リ年々上記ノ對價ヲ支拂フ

小字大坪ニ於テ用水不足ノ爲メ同地井堰ヨリ分配ヲ受ケ年々上記ノ對價ヲ支拂フ

大字土師ノ内島耕地ハ從來曾我部井井堰ヨリ用水ノ供給ヲ仰キタリ爲メ毎年修繕中毎日人夫六人宛出役スル慣習ナリシカ曾我部井村ハ先年水利組合ヲ組織シタルニ依リ之ヲ廢シ後年々上記ノ對價ヲ支拂フ

大字生野地内ノ畑地六町歩ヲ新ニ地目變換シ之カ用水ニ充ツル爲メ大字上野部落ハ鄰來ノ溜池ヲ増築シ導水路ヲ上野地内ニ通シシムル對價トシテ生野地主ハ年々新田一反歩二付米八斗(六町ニテ四石)ヲ支拂フ

三二	何鹿	以久田	位田	一〇〇〇〇〇	三〇〇〇〇	小字檢前ニ貯水池存在スルニ依リ他ノ瀬戸寺町、中町野台、及宮ノ越ヨリ其ノ敷地料トシテ年々參拾圓ヲ支拂フ
三三	"	"	"	四・七〇〇〇	五五・二五〇	同村大字位田小字岩井四町七反歩ハ岩井堰ヨリ年々用水ノ供給ヲ受ケルカ故ニ其修繕費トシテ年々上記ノ金員ヲ提供ス
三四	"	"	"	一・三〇〇〇	三五・〇〇〇	大字位田小字浦壁ノ一部一町三反歩ハ浦壁堰ヨリ用水供給ヲ受ケルカ爲メ年々上記ノ金員ヲ提供ス
三五	"	"	"	二・〇〇〇〇	二一・〇〇〇	大字位田小字上ノ町二町歩ハ綾部井堰ヨリ用水ノ供給ヲ受ケルニ付之方對價トシテ年々仕拂フ
三六	"	"	"	二・〇九〇〇	二・五〇〇	大字位田小字岡倉馬淵二町九畝歩ハ岡倉貯水池ヨリ用水ノ供給ヲ受ケルニ依リ年々上記ノ金員ヲ要ス
三七	"	物部	物部	一・七八一五米	一〇・七一	原部池ヨリ用水供給ヲ受ケル爲メ上記ノ對價ヲ要ス
三八	"	物部	白道路	三二・六五一三米	一一・九七〇	狹間池ヨリ同 上
三九	"	物部	物部	二〇・四三〇〇米	一〇・六〇〇	谷奥池ヨリ同 上
四〇	"	何鹿郡 綾部町 中筋村 天田郡 西中筋 新舞鶴	濱	二〇・四八二二、二二・二七、二二・〇〇	〇・三〇〇	上記三個村用水供給ノ爲水利組合法ニ依リ綾部井堰ヲ設ケテ灌溉ニ供セリ本年度一反歩六十錢ヲ賦課セリ
四一	加佐	新舞鶴	濱	五・〇〇〇〇米	〇・三〇〇	大字濱小字波崎同半田附近ハ新舞鶴字森地内城取川ヲ堰キ止メ溝渠ヲ穿テ引水スルカ爲メ其對價トシテ倉村字森ニ對シ關係地主ヨリ上記ノ米ヲ提供ス
四二	與謝	市場	四辻	〇・四〇〇	二・五〇〇	市場村大字四辻部落ハ同村幾部落ヨリ用水ノ供給ヲ受ケルカ爲メ年々上記ノ米ヲ仕拂フ
四三	"	加悦	後野	二・三〇〇〇〇	〇・六〇〇	與謝村大字金谷ヨリ用水ヲ仰クタメ年々金貳圓五拾錢及ヒ七斗六升ヲ支拂フ
四四	"	粟所	加悦	二〇・〇〇〇〇米	一・四〇〇	加悦町大字加悦ヨリ年々用水ノ供給ヲ仰クタメ年々上記ノ米ヲ仕拂フ
四五	"	加悦	加悦	五・七〇〇〇〇米	一・六四〇	大字加悦奥ヨリ用水ヲ仰クタメ年々上記ノ米ヲ仕拂フ

四六	"	長善	"	一八・二〇〇〇米	二・五五〇	切悦町字治野ヨリ用水ヲ供給セラル、カ故ニ年々上記ノ米ヲ仕拂フ
四七	中	長善	"	一二・九二一九	〇・一〇〇	五個村大字二個ヨリ吉原村大字新治ヲ經テ長善村大字長岡ニ通スル用水路對價ナシ明治廿九年以來ノ訴訟事件アリ
四八	"	口大野	周枳	一七・〇〇〇〇米	〇・一〇〇	奥大野村ヨリ用水ノ供給ヲ仰クカ爲メ年々同村へ上記ノ米ヲ仕拂フ用水路敷地五畝歩
四九	"	周枳	周枳	六〇・〇〇〇〇米	三・〇四〇	三重縣大字谷内ヨリ同村大字三坂及奥大野村地内ヲ經テ周枳村ニ通スル用水路敷地五反四畝一歩ニ對シ周枳村大字上周枳ヨリ奥大野村へ五斗二升ヲ提供ス
五〇	"	河邊	周枳	七・〇〇〇〇米	一・一〇〇	字谷内へ二石三斗二升同村三坂へ五斗二升ヲ提供ス
五一	竹野	吉野	吉澤	一二・一五〇〇米	三・二四九八	周枳村ヨリ河邊村へ通スル用水路敷地三畝歩ニ對シ年々周枳村へ上記ノ米ヲ仕拂フ
五二	"	上字川	井谷	六・〇〇〇〇米	一・三〇〇	中部新山村大字内記ヨリ吉野村大字吉澤ニ通スル用水路敷地五反二畝八歩ノ料トシテ吉野村大字吉澤ヨリ新山村及丹波村へ上記ノ米ヲ新山村ニ仕拂フ
五三	"	郷	新郷田	一・五〇〇〇米	〇・八一〇	上字川村大字井谷(小字長サチ五領、井谷前)ハ文化年間關係地主協議ノ上小字五領ニ堰ヲ設ケタルヲ以テ反當リ二升ノ米ヲ堰場所ノ部落及地主へ提供シ設置ノ費用及地料ニ充テツ、アリ
五四	竹野	間人	"	〇・八一〇	一・四〇八五	用水料トシテ年々郷村字切畑ニ上記ノ米ヲ仕拂フ
五五	熊野	川上	市場	〇・〇一八米	〇・五〇〇	間人村用ハ徳光村大字大山、八木村、字岩木竹野村字竹野地内ヨリ引水スルヲ以テ徳光村字大山ニ米二石三斗二升四合二勺年々蓮代二圓八十錢八木村字岩木ニ米七石五斗九升二合三勺竹野村字竹野ニ米壹石四斗九升二合ヲ提供ス
五六	"	新庄	市場	〇・〇七〇〇米	一・一〇六	同村字須田へ用水路敷地料トシテ仕拂フ
五七	"	神野	鹿野	〇・〇〇二〇米	〇・四六〇	同村字市場へ用水路敷地料トシテ仕拂フ
五八	"	久美濱	鹿野	〇・二〇〇〇米	一・三八五	同村字平田へ用水路敷地料トシテ仕拂フ

大阪府

用水ノ供給ヲ仰クニ當リ對價ヲ支拂フ慣習ニ二種アリ一ハ現ニ水利權ヲ有スル者ニ對シ用水供給ノ承諾ヲ得之ニ法加入料其他ノ名稱ノ下ニ一時金品ヲ提供シ爾來引水ノ權利ヲ得ルモノト一ハ無力ト稱シ絶對ニ水利權ヲ附與セスシテ年々相當ノ對價ヲ提供シ一時的用水ノ供給ヲ受クルモノトアリ而シテ前者ハ多ク開墾地目變換等ニ依リ新ニ用水ノ必要ヲ生シタル場合ニ行ハルルモノニシテ後者ハ因襲ノ久シキ今日ニ及ヒタルモノナリ今一二ノ實例ヲ示セハ左ノ如シ

一 一時加入料ヲ提供スルノ例

一 中河内郡楠根村耕地整理組合五十五町歩ニ對シ用水ノ供給ヲ受クル爲大正二年北河内郡二十ヶ用水水利組合ニ加入ノ際寄附金ノ名稱ヲ以テ一時金貳千百圓ヲ提供セリ

二 泉北郡信太、南松尾、美木多各村ニ於ケル共有溜池ハ新加入ニ對シ法加入料トシテ一反歩拾圓乃至五拾圓ヲ徵收シ爾後平等ニ用水ノ使用權ヲ得セシム

二 年々對價ヲ提供スルノ例

三 泉南郡南掃守村大字下松ハ從來ノ慣習上土生郷村大字土生ニ對シ一ヶ年玄米六石ノ定メニテ時價ニ依リ現金ヲ提供シテ用水ノ供給ヲ仰キ大字下松ニ屬スル明神池(水下約六十五町歩)ニ水込ヲ爲ス

四 泉北郡上條村大字助松四十七町同村大字二田十八町同村大字曾根二十三町八反歩ノ各溜池ニ在リテハ常ニ用水不足スルヲ以テ國府村大字府中、河々頭、井堰ヨリ用水ノ補充ヲ仰クニ年々約三百圓ヲ支拂フノミナラス之ニ附帶スル水引費用其他雜費約三百圓ヲ要シツツアリ

神奈川縣

一 鎌倉郡村岡村大字宮前、小塚、高谷、彌勤寺ニ誇ル字裏河内ノ水田四十町歩餘ハ用水引用ノ途ナク接續地玉繩村ニ於テハ相尾川ヲ堰止メ引用スルヲ以テ早魃ノ際ハ其剩水ノ分配ヲ受ク對價ハ其ノ時ノ狀況ニ依リ一定セス金拾五圓乃至貳拾圓位ヲ玉繩村ニ謝禮ノ意味ヲ以テ支拂ヒ居レリ

二 同郡戸塚町吉田ニテハ水田面積二十五町歩餘ニ用水ノ供給ヲ受クル爲メ舊慣ニ依リ金拾圓ヲ川上村ヘ支拂ヘリ

三 同郡中和田村上飯田一部ノ水田ハ境川(郡界)ヲ越ヘ一町一反歩アリ該地ハ高座郡澁谷村上和田ノ用水路ヲ以テ引用スルモ何等支障ナキニ不拘郡ヲ異ニセル爲メ舊慣上對價金拾圓宛支拂ヒ居レリ但シ降雨勝ニテ用水ノ必要ナキトキハ支拂ヲ爲ササルコトモアリ

高座郡

番號	所在地	區域地積	對價	備	考
四	藤澤町大庭	二〇町	五	六會村石川部落ハ引地川ノ上流ニ位シ藤澤町大庭村地ノ水上ニアルヲ以テ舊來ヨリ水利權ヲ有シ其圓滿ヲ計ル爲石川部落ヘ年々堰料トシテ支拂ヒツ、アリ	
五	寒川村宮山倉見	二六三	八八	堰ノ修繕費及管理費トシテ有馬村及御所見村ヘ支拂フ	
六	御所見村用田	三〇	五〇	同伴ニテ繞瀨村ヘ支拂ヘ	
七	新磯村磯部	一四一	五九五	堰ノ工事費用トシテ既往十ヶ年間平均一ヶ年ニ於ケル支出額(坐間、新磯組合支出ノモノ)	
八	麻溝村當麻	五二	三〇〇	堰ノ工事費ニシテ其ヶ所鳩川筋二十一ヶ所アリ費用ハ關係地主ニ於テ支拂フ	
九	大和村深見下鶴間	六〇	七三五	土地ノ所有者ノ造リタル堰築造費ニ支拂フモノトス	
一〇	六會村圓行下土柵	一七	一二	堰築造費トシテ支拂フ	

- 一 中郡南秦野村ニ於テハ大字今泉字小藤川ヨリ湧出スル水ヲ使用スル田地約八反歩アリ該土地所有者ニ古ヨリ年々一反歩ニ付玄米五合以上一升ヲ十二月ニ湧出地ノ地主ニ支拂フ慣習アリ
- 二 同郡大山町子易字瀧川原ニ於テハ大坪堰ト稱シ町家裏中川原大坪各字ニ引用スル堰止數年前大出水ノ爲メ破壊シ修理出來ス其後個人有ノ荒地ヲ經テ引用スルノ止ムナキニ至リ其水引料トシテ年々金五圓宛ヲ支拂フ
- 三 愛甲郡妻田村ニ於テハ中部以東約四十五町歩ノ耕地ニ灌溉用水ノ供給ヲ仰フカカ爲メ上流ナル三田村方戸堰修繕中ヘ年々三圓宛ノ對價ヲ支拂フ

兵庫縣

本項用水ノ供給ヲ仰ク場合ハ多クハ金錢米又ハ人夫等ヲ以テ其對價ヲ支拂フノ習慣ニシテ其所在及區域等ハ一々枚舉ニ遑アラス尤是等ハ其供給地ノ面積餘リ廣大ナラサルモノニ係リ耕地整理其他大ナル計畫ノ下ニ開墾セララルモノノ如キハ多クハ溜池ヲ新設スルカ又ハ水利地ノ用水トシテ不用ニ屬スル時期ニ瀦水シ置キ從來ノ水利權等ニハ何等關係ヲ及ホササラシムル様計畫スルニアリ故ニ供給ヲ仰カントスルモノ及古來ヨリ仰キツアルモノハ多クハ其面積廣大ナラサルモノニ屬ス

其對價額ニ於テモ各關係毎ニ一々其趣ヲ異ニシ一様ナラサルハ勿論ナルモ其中ニ就キ事例ヲ摘記スルニ止ムヘシ

番號	供給ヲ受クヘキ地名	被供給面積	補償金穀	摘	要
一	姫路市 元町、西新町	一	一割九歩	上記ハ飾摩郡城北村ノ餘水ノ供給ヲ受クルニアリ其補償金ハ年々一定モ其出金歩合ハ上記ノ如シ	
二	川邊郡 千代田町	一	四割五分	附記 右費用負擔ノ外此ノ四ヶ町ハ年々城北村ノ内八代村ニ對シ瀦水ト稱シ米三斗ヲ拂ヒ其以外ニ千代田町ハ別レリ又瀦水ノ内山ノ井村ニ米二斗ヲ拂ヒ水ノ支拂ヲナシ居權者ノ町村ニ至レハ水ノ下ノ部落ハ水上町村ガ水利三度ヲ贈リ養水ノ供給ヲ仰クノ慣習ナリ	
三	知村、潮江村、下坂部村	二一〇町	三割六分	用水缺乏ニ際シテハ上流村ヘ水買費一ヶ年平均二百五十圓ヲ仕拂フ	

二六	安乎村ノ内平安浦字表	三〇	一〇〇	開墾等ニヨリ新ニ用水ノ必要ヲ生シ在來ノ溜池田主ニ加入スル場合水量増費用トシテ支拂フ
二七	三原郡 賀集村ノ内福井村	二五	米	毎年九月二十一日ヨリ翌年三月十八日間前記對價ヲ支拂ヒ其給水ヲ受ク
二八	堺村上組字長尾	二四	米	對價トシテ毎年溝渠ノ修繕費ヲ負擔ス
二九	同上字勢溝掛リ	五一	復	對價トシテ毎年井堰修繕費ノ半額ヲ支拂フノ義務ヲ負フ大正二年度ニ於ケル其負擔金ハ三十二圓五十錢ナリトス
三〇	同上字知レ田神			

長崎縣

- 一 管下北高來郡諫早村所在本明川山下淵井堰ヲ給源トシ諫早村耕地ニ灌溉シタル餘水ヲ小野村大字川内町及小野島ニ供給スルヲ以テ之カ對價トシテ小野村ハ人夫賃八拾人分ニ相當スル賃金トシテ毎年金貳拾圓ヲ諫早村ニ支出セリ右小野村ニ於ケル灌溉地面積貳百四拾參町九反六畝拾七步ナリ
- 二 東彼杵郡下波佐見村岳邊郷通稱上溝掛リ田地ハ水源ノ水量極メテ少ナク旱害ニ罹ルコト屢ナルヲ以テ從來澗水ノ時期ニ限り水量稍潤澤ナル通稱笹ノ渡田原ニ灌溉スル山角溝ヨリ切間(深サ二寸長サ五寸)ヲ以テ供給スル契約ヲナシ對價トシテ山角溝ノ見廻番料ナル名義ヲ以テ同關係者ニ對シテ米三升宛支拂フ其ノ灌溉ヲ受クル面積四町六反七畝步ナリ

- 三、同郡彼杵村ニ於テハ用水ノ供給ヲ受クル爲メ一反歩ニ付一ケ年玄米一升ツツヲ提供シ溜池及井手管理人ノ手當ニ充テ殘金アルトキハ之ヲ修繕費ニ充當シ且ツ井手破損ノ場合ハ水下關係者悉ク出夫ス其ノ所在場ハ同村管無田法音寺三根宿藏本ノ五郷ニシテ田地面積百五十町步ナリ
- 四、北松浦郡佐々村ニ於テハ新ニ水田ヲ開キ水ノ供給ヲ受クル場合ハ一反歩ニ付玄米一石二斗内外ヲ一年或ハ二三年ニ水利權者ニ支拂フノ習慣アリ

新潟縣

慣習上金錢其他ノ時價ヲ支拂ヒ用水ノ供給ヲ仰ケルモノハ多クハ其ノ區域狭少ナルモノノミニテ集團的ノモノ少シ其ノ給水對價トシテ支拂フモノノ内最モ甚ダシキモノニアリテハ壹反歩當リ玄米三斗五升ノ多キニ上ルモノアリ

番號	所	在	關係區域	時價	記	事
一	中蒲原郡五泉町大字五十嵐新田		一〇町	玄米 三斗	用水供給ノ對價トシテ同郡菅名村大字下木越部落ニ支拂フ	
二	三島郡田越村大字雨池		二八・八〇〇〇	五圓乃至拾圓	同上ノ爲日越村大字高瀬ニ支拂フ	
三	北魚沼郡川口村大字川口及西川口字岩出原		一三〇〇〇〇	反當 玄米 五升五合	同上ノ爲メ川井村大字内ヶ巻ニ支拂フ	
四	同 同村大字川口字前島		一〇〇〇〇〇	同玄米三斗五升	同上	

五	中魚沼郡仙田村大字小白倉	〇・五〇〇〇	四	圓	同上ノ爲メ仙田村岩瀬ニ支拂フ
六	東頸城郡下保倉村大字長走	二〇・〇〇〇	升	四合三勺	同上ノ爲メ下保倉村大字菱田ニ支拂フ
七	同 同村顯聖寺	一六・〇〇〇	升	支米一石七斗五	同上ノ爲メ同村大字金ヶ淵ニ支拂フ
八	同 同小黒村大字小黒及切越	三〇・〇〇〇	升	支米 八斗八升	同上ノ爲メ小黒村大字朴ノ木ニ支拂フ
九	岩船郡大川谷村大字府屋	二・二六〇八	金	四 拾圓	同上ノ爲メ大原村大字大原ニ支拂フ
一〇	同 上	〇・五三一〇	同	同	同上ノ爲メ大原村大字大原ニ支拂フ
一一	西蒲原郡四ッ合村大字熊谷山口新田	一七一・三〇〇	同	同	同上ノ爲メ大原村大字大原ニ支拂フ
一二	同 吉田村大字下中野字大島	五・〇〇〇	九	拾圓	吉田村大字吉田ヨリ用水ノ供給ヲ仰キ又ハ排水スル爲メ吉田ニ支拂フ
一三	同 同村大字野沖	一〇・〇〇〇	圓	參拾圓乃至四拾	同上

埼 玉 縣

北 埼 玉 郡

一 岩瀬村用水ノ供給ヲ便ニシニ毛作獎勵ノ爲メ排水ヲ全カラシムル必要上明治四十二年四月大字上岩瀬字中宿耕地ヨリ大字下岩瀬字一丁田ニ至ル耕地ノ中央ヲ貫キタル用排水路七百七拾間ヲ（幅三尺）新鑿シ之カ爲メニ堀敷二反六畝十五歩ノ有租地ヲ減セリ然レトモ之カ爲メ從來濕田タリシ左右

兩側ノ田十二町三反六畝十五歩ハ直接效果ヲ收メタルヲ以テ此所有者ヨリ新堀敷二反六畝十五歩ノ

- 一 反歩當リ一石一斗ノ小作料ヲ年々代償セシム
- 二 高柳村用水ノ供給ヲ仰クニ田ヲ借リテ小堀ヲ穿テ大字戸崎字廣田田一町五反歩之カ一反歩ニ對シ年々米二升、金四錢ツ、從來ノ慣習ニ依リ個人ヨリ小堀充用地主ニ代償セリ
- 三 大越村用水ノ供給ニ就テ稻子以ヨリ村君村大字常木ニ至ル本村境界迄ヲ三區ニ別テ（一區ヲ大字發戶ヨリ上二區ヲ大字下村ヨリ上三區ヲ大字常木ヨリ上）水引人夫ヲ各區ニ三名ツ、配置シ一名ニ付一晝夜第一區ヲ金三十五錢二區ヲ金三十三錢三區ヲ金三十一錢其他各區毎々宰領一名ツ、ヲ配置シ一名金三十五錢計一晝夜金四圓二錢ヲ代償シ來レリ而シテ之カ關係區域大字大越地積百四十七町四反七畝歩此對償金五十七圓ナリ
- 四 加須町羽生町外十四ヶ村、組合ノ用水路ヲ不動岡村地内ヨリ會ノ川ヲ經テ加須町ノ地積四十町歩ニ用水供給シ居レリ右ハ舊來羽生町外十四ヶ村組合南方用水ヲ使用スル爲メ天保十一年中ノ契約ニ基キ其後明治廿四年四月二日契約ヲ更正シ更ニ明治三十年ニ至リ再ヒ修正シテ其後大正元年度ヨリ同十年迄毎年加須町及禮羽村ノ二ヶ町村ニ於テ金七十五圓ツ、ヲ支拂フ

南 埼 玉 郡

五 萩島村大字南萩島ニテ淨庵用水ト稱スル用水ノ供給ヲ受クル爲メ毎年金五圓十錢及玄米六斗ヲ支

拂ヲ例トセリ其ノ灌溉ヲ受クル區域ハ萩島村大字西新井字西前田五十一町歩大字長島字上田六町五反歩トス

六 鷺宮村大字鷺宮字粟原耕地二町歩ノ苗代用水ヲ引用スル爲メ新川用水組合へ毎年清酒(四分ノ一樽)ヲ對價ス

比 企 郡

七 川島領出丸村、八ッ保村ハ用水缺乏ノ土地ニシテ旱魃ニ際シテハ田ニ一滴水ナク頗ル困窮スルヲ以テ上流地ノ人民ニ對シ哀願シ或ハ酒食ヲ饗シ又ハ金錢ヲ贈與シ或ハ選舉其他ニ於テ上流地民ノ要求ニ應スル等種々ノ手段ヲ以テ用水引入ヲ策スルモノアリ然レトモ此事タル極メテ秘密ノ間ニ行ハル、ヲ以テ具體的ニ記載スルコト能ハス

入 間 郡

八 入西村大字東和田字梨子ノ木、字熊野、字下ノ三字ニ亘リ水路ヲ設置シ此敷地面積一反廿二歩ニ對スル小作米一石二斗八升八合該用水ノ供給ヲ仰クヘキ田反別一町六反五畝廿一步へ按分負擔ノ慣習アリ

九 越生町大字西和田ニ於テハ堰張立ノ工事費ト水路浚渫費トヲ各地主ヨリ支出スル慣習アリ而シテ之ニ使役スル人夫ハ地主ノ義務的勞働ナルモ其使用材料ハ年々百圓内外ノ費用ヲ支出セリ其ノ耕

地面積ハ字川内外七字ニ亘リ十三町一反歩餘ナリ

一〇 同町大字西和田地内溜地二ヶ所ノ修繕及浚渫費用ハ各地主ニ於テ支辯スル慣習ニシテ三年又ハ四年ニ一度一ヶ所凡二百人ノ勞役費ヲ要ス其給水地積ハ字榎戶外三ヶ所ニテ四町三反歩餘ナリ

十一 同町大字鹿ノ下地内ニ於テハ溜池修繕水路浚渫費トシテ地主ヨリ年々五十圓内外ヲ支出セリ其耕地面積ハ字沼下一圓ノ地ニシテ反別十五町歩餘ナリ

一二 同町大字越生地内字堰ニ於テハ用水路ノ中途洪水ノ爲メ崩潰セルヲ以テ水路地五十坪ヲ借入レ其對價トシテ年々玄米三斗ヲ拂ヘリ而シテ其水田地積ハ三町四反歩ナリ

一三 高麗川村ニ於ケル用水ノ供給ヲ得ル爲メ土地所有者自ラ反別割ニテ杭木ヲ持出シ用水堰ヲ設置スル慣習アリ其水田面積ハ三十町歩ナリ

一四 入間川町ニ於ケル田用水ハ從來入間川ノ水流ヲ赤間川ニ引入レ更ニ其水ヲ耕地ニ灌溉シタリシカ明治二十六年ノ洪水以來入間川ノ流域ニ變化ヲ來シタルヲ以テ豊岡町大字黒須地先ナル久保田堰ノ殘水ヲ使用スル爲メ明治四十四年ヨリ滿五ヶ年間年々入間川町ヨリ豊岡町大字黒須ニ對シ一ヶ年金三十圓ツ、出金シ尙此期間内ニ於テ久保田堰破壊ノ節ハ應分ノ修繕費ヲ負擔スルコト、ナセリコトハ舊來ノ慣習ニアラサルモ一例トシテ茲ニ記ス

大 里 郡

- 一五 深谷町大字曲田地内ニ於テ用水ノ供給ヲ城北堀ヨリ仰キ又排水ヲナス爲メ民有地約百二十坪ヲ借受ケ同字内耕地約二町歩ニ對スル灌排ヲ行フ而シテ之等對價トシテ支拂ヲ爲ス其額金十圓ナリ
- 一六 大寄村大字上敷免ニ於テ用水ノ供給及排水ノ爲メ地積約八町六反五畝歩ニ對シ毎年金四拾參圓圓參拾七錢ノ對價ヲ支拂ツ、アリ
- 一七 八基村大字町田耕地約五町歩ニ對スル用水供給ノ爲メ水路トシテ民有地約五十坪ヲ借受ケ小作料トシテ米六斗六升六合ヲ支拂ツ、アリ

北足立郡

- 一八 川口町水田ノ用水ハ芝村ヨリ青木村ヲ經テ同地ニ達スルモ最下流ナルヲ以テ上流各村ノ灌漑シタル殘水ヲ供給サル而シテ上流ノ青木村字逆川樋管ノ修繕費ノ三分ノ一(平均毎年五圓位)ヲ川口町ニテ負擔シ又青木村字二ツ入樋管ハ一方横曾根村一方川口町へ通スル分岐ノ修繕費及番人ノ手當年金貳圓ハ川口町ノ負擔スル處ニシテ此灌漑面積約三拾町歩ナリ

群馬縣

- 一 佐波郡八坂堰普水利組合ハ其ノ堰元タル勢多郡木瀬村大字筑井村ニ對シ水留料、水番料等ノ名ヲ以テ毎年百貳拾餘圓ヲ支拂フ而シテ本組合區域面積ハ二百三十七町餘歩ナリ

- 二 前橋市内ニ用水入口ノナキ水田ニシテ隣接水田ヨリ引水スルモノアリ斯ル場合ハ其ノ引水料トシテ一反歩ニ付年額金四拾錢宛ヲ支拂ヘリ

千葉縣

番號	用水供給地	用水受供給地	灌漑反別	對價
一	市原郡菊間村草薙堰ヨリ	千葉郡生實濱野村字濱野外二部落	二百七町歩	一ヶ年 金四百八圓
二	右同所ヨリ	同郡椎名村字古市場	五十二町歩	一ヶ年 金四百八圓
三	君津郡清川村字長須賀ヨリ	君津郡木更津町字木更津外一部落	百町歩	同 金五十五圓
四	市原郡市東村字國吉ヨリ	市原郡菊間村字菊間	三百五十二町歩	同 金七十五圓
五	同郡市東村字東國吉ヨリ	同郡八幡町字八幡	十一町歩	同 金百五十圓
六	同郡同村字板倉前堰及飾面堰ヨリ	同郡市東村字東國吉ノ内三反田及奈其前	十町歩	同 金百五十圓
七	香取郡東大戸村字森戸ヨリ	同郡同村字國吉	六十四町歩	同 金百五十圓
八	同郡豐浦村字増田ヨリ	香取郡佐原町字岩ヶ崎	十五町歩	對價トシテ支拂フモ其ノ額一定セズ
九	海上郡鶴卷村字倉橋外二部落ヨリ	同郡小見川町通字八日市場	百六十町歩	一ヶ年 金六十六石六斗六升
一〇	印旛郡和田村字天邊ヨリ	海上郡船木村字高田、三門、中島、船木壘	百三十町歩	同 金十圓
一一	同郡宗像村字師戸、鑛薙、岩月高地水田ヨリ	印旛郡根郷村字石川、六崎、城ノ三部落、同郡宗像村字師戸、鑛薙、岩月ノ三部落低地ノ水田	二百町歩	同 金十圓

茨城縣

一 結城郡關本町地内約百二十町歩ハ江連用水普通水利組合ノ管理ニ屬スル江連用水路ヨリ用水期間中一定ノ使用期限ヲ定メテ用水ヲ仰クヲ以テ其對價トシテ年々貳百七拾五圓ヲ同組合ニ支拂フ

栃木縣

記

縣内ニ於ケル慣行ヲ調査スルニ他ヨリ用水ノ供給ヲ仰ク場合ニ於テハ多クハ堰費、堀敷代、水代等ノ名稱ノ下ニ金錢又ハ物品ノ對價ヲ支拂フヲ普通トシ其ノ額ニ至リテハ一定ナラス今縣下ニ於ケル二三ノ實例ヲ示セハ左ノ如シ

一 縣下下都賀郡赤津村大字木、地積 二十町歩、對價 一ケ年金貳圓

灌溉水ノ補助トシテ前記ノ所ニ湧泉ヲ堀鑿シ借地代ヲ支拂フ湧泉ノ地積約二畝歩アリ

二 縣下安蘇郡佐野町字天神西、地積 八反歩、對價 一反歩ニ付一ケ年金壹圓六拾錢

右ハ用水ノ多寡ニ拘ラス上流ノ耕作者ニ對シ一反歩ニ付金壹圓六拾錢ヲ支拂フ

三 縣下足利郡梁田村、地積 百十町六反三畝二十五歩、對價 人夫賃一ケ年金拾四圓

梁田村籠堰水利組合ニ於テハ古來三栗谷水利組合ノ一部三ヶ村分水ノ下流餘水ヲ受ケテ用水ニ供給スル慣習ナルヲ以テ報償トシテ右三ヶ村地内ノ用水路延長凡千間ヲ毎年春期ニ於テ浚深修理スルノ慣例アリ

四 縣下安蘇郡野上村大字長谷塙字抽木、地積 二反二十歩、對價 一ケ年金壹圓

右ハ明治二十五年十一月開墾シタル土地ニシテ當時該地上ニ目通り七八尺ノ樺、栗、柿、胡桃等ノ樹木アリ而シテ水利權者ノ土地ニ日光ノ射入ナク障害不尠ヲ以テ水利權者ハ乙者ニ對シ該土地ヲ開墾スルトキハ相互ノ利益ヲ有スルヲ以テ用水堀敷地料ハ無償ニテ貸與スヘシトノ口約ノ許ニ乙者ニ開墾シ用水ノ供給ヲ受ケントセシ所甲水利權者其ノ口約ヲ履行セス用水供給料一ケ年玄米五升若ハ金五拾錢ヲ納付セヨトノ請求ヲ受ケ乙者ハ已ムナク毎年玄米五升ヲ納付シ供給ヲ受ケ居リタルニ甲者ハ明治三十九年十二月丙者ハ所有權ヲ移轉セリ且ツ又乙者モ明治三十六年六月ニ於テ丁者ハ所有權ヲ移セリ然ルニ丙水利權者ハ丁者ニ對シ用水供給料一ケ年金壹圓ヲ納付スヘキヲ要求シ丁者ハ止ムナク之ヲ支拂ヒ供給ヲ受ケツ、アリ敷地幅二尺ニシテ長サ八間トス

五 縣下安蘇郡野上村大字長谷塙字炭屋、地積 一反四畝歩、對價 一ケ年金壹圓五拾錢

右ハ畑ヲ田ニ變換シ水利權者ノ土地ヲ幅三尺間サ三十間ヲ借受ケ小作料トシテ支拂ヒ用水ノ供給ヲ受クルモノトス

六 縣下河内郡吉田村大字絹板字今朝房同川島、地積 二町八反步、對價 一ケ年玄米五斗

七 縣下河内郡吉田村大字絹板字八幡浦、地積 四町步、對價 一ケ年金貳圓

以上四、五共縣以下都賀郡絹村ヨリ來ル用水ノ供給ヲ仰キ前記ノ對價ヲ支拂フ慣習ナリ

八 所在縣下安蘇郡飛駒村字中木戸川西地内

右地内ニ於テ新田ヲ開墾シ用水路ヨリ分水ヲ要スル場合ハ一反步ニ付金拾七圓九拾四錢八厘ヲ用水堀修繕費中ニ寄附セシムル慣習アリ其ノ理由ハ明治三十一年二月用水堀新設費參百圓ヲ消費シタルニ之カ負擔ノ方法ハ舊田地一反步ニ付金五圓貳拾貳錢貳厘新田一反步ニ付金拾七圓九拾四錢八厘(新田七分舊田三分ノ割合)ヲ負擔シテ該工事ヲ完成シタルヲ慣例トシテ今後新堀ヨリ分水ヲ爲サントスルモノハ前記新田負擔ト同様ノ金額ヲ寄附セシムル慣習ナリ

九 縣下上都賀郡今市町及河内郡豊岡村、大澤村ノ各一部、地積 不明、對價 一ケ年一反步ニ付、

畑 金貳拾五錢乃至金參拾錢、山林 金壹圓、原野 金五拾錢

但シ取入堰ノ破壞其ノ他臨時ノ支出アリタルトキハ多少ノ増徴スルモノトス

右ハ水田落水後畑、山林、原野ニ肥培灌溉ヲ爲スモノニシテ山林、原野ハ多ク八月中旬ヨリ十月

中旬頃迄、畑ハ十一月初旬ノ結水期ヨリ翌春彼岸ニ至ル迄間斷ナク灌水シテ凍害ヲ防クノミナラス水温ヲ利用シテ其ノ生育ヲ助長セシムルモノニシテ其ノ源水ハ大谷川、赤堀川其ノ他二三ノ谿流ナリ

奈良縣

番號	地區所在	水利權所在	地區面積	對價	備考
一	高市郡高取町大字下子島	同村大字橋	五・〇〇〇	金十圓乃至二十圓	一ケ年ニ付
二	同郡阪合村大字平田	同村大字田中	六・二五〇	金 八 圓	澁敷損害料
三	同郡白櫃村大字木殿	同村大字木殿	三・〇〇〇	玄米 一斗三升同	
四	同村大字大久保	同村大字田中	二五・一〇〇	玄米二石九斗四升	溜池濕地損料
五	同所	同村大字田中	五・〇〇〇	同 三 斗同	
六	同村大字四條	同村大字大久保	三一・〇〇〇	同四石五斗四升四合四分	
七	同所	同村大字四分	一八・二〇〇	酒二石二斗一升三合	
八	同所	同村大字洞	一五・〇〇〇	玄米二石二斗一升三合	
九	同郡同村大字池尻	同村大字島屋	二七・五〇〇	玄米三石三斗五升同	澁渠損料
一〇	同郡同村大字石川池郷	同村大字和田、石川、久米、畷、御坊、和田、屋敷、田中、大久保、木殿	九八・〇〇〇	八石二斗四升三合	溜池ノ水引入料
一一	高市郡白櫃村大字久米	同村大字石川、見瀬	九・六〇〇	米三石五斗五升	水禮

一二	高市郡鴨公村大字高殿、別所、法花寺	飛鳥村大字小山	六九・五〇〇〇	米三石二合八勺	溜池樋門下溝渠敷地料
一三	同所	磯城郡香久山村大字木ノ	六九・五〇〇〇	米一石六斗四合	溜池ノ爲漏付損料
一四	同所	同郡白樺村大字田中	六九・五〇〇〇	米四斗八升	同
一五	同郡八木町大字八木	高市郡鴨公村大字繩牛	九・三〇〇〇	米二石一斗八升	導水路損料
一六	同郡金橋村大字曲川	同村大字新堂	八七・〇〇〇〇	支米十七石外二石	溜池敷地料水禮水路敷
一七	同所	同村大字東坊城雲梯	八七・〇〇〇〇	支米一石六斗二升五合	水禮
一八	同村大字雲梯	同村大字東坊城	五九・〇〇〇〇	米五石三斗七升	水禮
一九	北葛城郡陵西村大字市場	盤城村大字八川	六五・〇〇〇〇	金三十二圓二十九錢	溜池へ集水ノ水禮トシ
二〇	同所	同村大字尺土	六五・〇〇〇〇	金三十六圓十六錢	同
二一	同所	同村大字木戸	六五・〇〇〇〇	金二十圓六十九錢	右同(大正二年度)
二二	同郡同村大字池田	同郡同村大字市場	三八・七〇〇〇	金六十七圓九十三錢五厘	水禮(大正二年度)
二三	同郡五位堂村大字長福寺	同郡當麻村染野	二五・〇〇〇〇	金三	水禮
二四	同郡下田村大字狐井	同郡五位堂村長福寺	四四・五〇〇〇	支米四石三斗	水路敷地損料
二五	同所	同郡五位堂村長福寺	四四・五〇〇〇	支米三石	同
二六	同所	同郡五位堂村長福寺	四四・五〇〇〇	支米三石	溜池養魚賣却代金ノ半
二七	同所	同郡馬見村大字平尾	四四・五〇〇〇	支米三石	池敷地料
二八	同郡同村大字下田	同郡二上村大字畑	六二・一〇〇〇	支米一石五斗四升	溝敷損料

二九	同所	同村大字下田狐井	六二・一〇〇〇	支米一石三斗五升	右同
三〇	同郡新庄村南道穂	同村大字大屋	二一・四〇〇〇	支米四斗	水引料
三一	同村大字中戸	同村大字辨庄	四〇・〇〇〇〇	支米三石	同
三二	同村大字宿戸	同村大字北花内	三〇・一〇〇〇	支米四石	同
三三	同村大字辨庄	同村大字中戸	三一・三〇〇〇	支米一石	右同
三四	北葛城郡新庄村大字疋田	同村大字辨庄	七〇・四〇〇〇	支米七石	石引水料
三五	同所	同郡盤城村大字大畑	七〇・四〇〇〇	支米七石	右同
三六	同郡松塚村	高市郡金橋村大字曲川	六〇・〇〇〇〇	金六	大正二年度用水缺乏ノ
三七	生駒郡富郷村大字幸前	同郡矢田村大字山田	二一・〇〇〇〇	支米七斗五升	テ支拂
三八	磯城郡川東村大字武藏	同村東井上、山邊郡、二階堂村大字備前	四〇・〇〇〇〇	酒三斗三升五合	溝渠敷地料
三九	同郡川東村大字法貴寺	同村東井上	七八・〇〇〇〇	支米四石四斗三升	溜池新設ニ依ル漏地損
四〇	同村大字大安寺	大字大木、藏堂、江包	三三・五〇〇〇	支米二石五斗三升八合	溜池水込料
四一	同村大字坂牛	同郡多村大字千代	六〇・〇〇〇〇	支米五石五斗五升	井堰損料
四二	同郡城島村大字外山	朝倉村大字脇本	一九・〇〇〇〇	支米二石	溜池水込ニ付漏付損料
四三	同郡同村大字栗殿	同所同郡	三〇・〇〇〇〇	支米二石	同
四四	同郡都村大字宮古、八尾、新町	多村大字千代	一三四・〇〇〇〇	支米五石	同
四五	添上郡樺木町大字森本	同郡五ヶ谷村大字高橋	四一・七〇〇〇	支米十圓	水禮

三重縣

番號	灌漑所	在	地	積	對	價
二	三重郡鴉川原村大字下鴉川原			二五	酒四斗米五斗	
二	同郡同村大字川上			七	酒六斗五升	
三	同郡日永村大字六呂見			一六二	田地六反ヲ無償作得セシムルノ外来拾五俵	

以上ハ其ノ主ナルモノ同種類ノ者ハ多數アリ

愛知縣

(一) 用水供給ノ對價トシテ毎年支拂フモノ

- 一 庄内用水普通水利組合ニ於テハ木津用水ノ庄内川ニ放流スル餘水ノ供給ヲ受クルカ爲メ木津用水普通水利組合へ毎年金壹百圓ヲ支拂フ而シテ庄内用水普通水利組合ノ地積三千八百四拾町步アリ
- 二 知多郡武豐町地内字北良會外九ヶ字反別約參拾參町步ノ土地ハ同町字二ツ峯及一町田ノ二字ニ跨ル長成池(四名共有)ヨリ用水ノ供給ヲ受クル爲メ耕地壹反步ニ付玄米二斗五升宛對價ヲ支拂フ
- 三 葉栗郡淺井町大字江森大日比野ニ於テ(關係反別九〇町七段五畝十步)ハ大字尾關ニ玄米壹石貳斗七升六合ノ對價ヲ支拂フ
- 四 知多郡鬼崎村榎戸ニ於テハ溜池水掛料トシテ毎年玄米四石(關係反別六十六町九反步)又同村大字

多屋ニ於テハ同上ニ付毎年玄米一石五斗(關係反別三十二町五反步)ヲ支拂フ

(二) 用水供給ノ爲水路敷トシテ對價ヲ支拂フモノ

- 五 西春日井郡西春村ニ於テハ(關係反別四百二十町步)同郡師勝村北里村ノ關係大字へ井領米及中分米ト稱シ毎年十七石五斗八升二合ヲ支拂フ
- 六 葉栗郡葉栗村大字佐千原、高田(關係反別二十四町五反三畝二十六步)ニ於テハ大字富塚へ玄米一石七斗二升二合及現金壹圓五拾錢富塚神社へ燈明料トシテ五拾錢ヲ支拂フ
- 七 知多郡成岩町字新濱外三字(關係反別十九町四反八畝十一步)ニ於テハ同町字山神仲根裏ノ溜池ヨリ用水ノ供給ヲ作り爲井領米五石二斗八合ヲ支拂フ
- (三) 門墾地目變換等ニ依リ新ニ用水ノ供給ヲ仰ク場合ニ支拂フモノ
- 八 知多郡大府村ニ於テハ他ノ地目ヨリ田ニ變換シ又ハ開墾等ニ依リ用水ノ供給ヲ仰ク場合ハ關係溜池現在ノ用水供給ノ過不足ノ程度ニ依リ一反步ニ付十圓乃至二十圓ノ範圍ニ於テ用水ノ供給料ヲ支出セシメ其金額ヲ以テ溜池ノ浚渫堤防ノ修築等ノ工事ヲ施シ供給面積ヲ擴張スルモ用水ノ不足ヲ來サ、ル設備ヲ爲シ居レル地積ハ約五十五町步ナリ

(四) 旱害ノ場合ニ限リ支拂フモノ

- 九 東春日井郡篠木村大字下市場(關係反別三十町步)ニ於テハ高藏寺村大字出川ニ清酒二斗乃至三、

四斗代ヲ支拂ヒ水路ノ浚渫ヲ依頼スル慣習アリ

一〇 同郡高藏寺村大字大留外三ヶ大字ニ於テハ大字杉本ヨリ大字杉ニ於テハ同郡坂下村大字上野ヨリ用水ノ供給ヲ仰クカ爲其早害ノ程度ニ依リ年々若干ノ金員ヲ支拂フ
以上各號ニ記載シタルモノ、外海郡郡ニ於テハ用、排水路共ニ他大字ニ關係ヲ有スル分ハ殆ント全部慣習上井領米ト稱シ其水路ヲ必要トスル區域ノ土地所有者ヨリ水路敷地所有者又ハ關係大字へ年々玄米ヲ支拂フ實例アリ其實例ノ最モ多キハ美和村、永和村、蟹江町等ニシテ其對價ハ水路敷一反歩ニ對シ最高額ハ玄米一石八斗餘ヲ支拂フモノアリ

靜岡縣

- 一 富士郡元吉原村地内三十五町歩ノ土地ハ同郡吉永村ヨリ用水ノ供給ヲ仰クヲ以テ同村ニ對シ年々米三石八斗七升ヲ支拂フ
- 二 同郡吉永村地内五十町歩ノ土地ハ同郡原田村ヨリ用水ノ供給ヲ仰クヲ以テ同村ニ對シ年々米五石二斗一升ヲ支拂フ
- 三 庵原郡興津町八木間及ヒ中宿地内五十町歩ノ土地ハ別紙第一號書ノ契約ニ基キ用水引用ノ爲メ年々金百五十圓ヲ支出ス

- 四 安倍郡安東村大岩地内二十町歩ノ土地ハ同村北安東ヨリ用水ノ供給ヲ仰クヲ以テ同字ニ對シ年々金十六圓四十五錢ヲ支拂フ
- 五 志太郡徳山村地名水利組合ハ十八町歩ノ土地ニ對シ東海紙料株式會社ト契約シ同會社ノ經營スル發電用水路ヨリ用水ノ供給ヲ仰キ年々一反歩ニ付金五十錢ノ對價ヲ支拂フ
- 六 同郡廣幡村假宿一町五反歩ノ土地ハ夏季旱魃ノ際同村八幡ヨリ用水ヲ引用シ金一圓五十錢ヲ支拂フ
- 七 榛原郡川崎町細江地内三十町歩ノ土地ハ年々水源地ニ對シ年々水見舞トシテ金十圓ヲ支拂フ
- 八 同郡勝間田村勝間字柿ヶ谷五十町歩及ヒ同村中區六十町歩ノ土地ハ各々十圓位ニ相當スル魚類又ハ酒類ヲ年々謝禮トシテ水源地部落ニ贈與シ居レリ
- 九 濱名郡市野區ニ於テ笠井新田井ヲ引用シ田面反別百五十町歩ニ灌漑ス其對價年々夫廿五人ナリ
- 一〇 引佐郡中川村中川地内三十町歩ノ土地ハ字瀬戸ニ在ル溜池ヨリ用水ノ供給ヲ受ケ其對價トシテ同溜池修繕ヲ負擔ス

山梨縣

- 一 中巨摩郡玉幡村上八幡組田十七町六反八歩ハ上流同郡龍王村ヨリ用水ノ供給ヲ受ケ一ヶ年百五十

圓ノ對價ヲ支拂フ慣例アリ

- 二 中巨摩郡飯野村田八十七町五反歩ハ德島堰用水ヲ上流同郡源村ヨリ供給ヲ仰キ對價トシテ年ノ狀況ニ依リ金三十圓乃至百圓ヲ支拂ヘリ
 - 三 中巨摩郡在家塚村ハ用水ヲ德島堰ニ依リ供給ヲ仰キツ、アルモ洪水等ノ爲同用水路破壊シ通水ナキ場合ハ御勅使川ノ流水ヲ源村有野區ヨリ分水ヲ仰クヲ例トス其區域田十五町四反五畝十二歩ニシテ此ノ對價トシテ年ノ狀況ニ依リ十五圓乃至百五十圓支拂フ例アリ
- 以上ノ外用水ヲ田越ニ供給ヲ仰ク爲耕作人又ハ地主ヨリ其水上田ノ耕作人又ハ地主ニ對價ヲ支拂フ者各所ニ點在セリ而シテ其對價ハ主トシテ粗米ヲ以テナシ數量一定セス

滋 賀 縣

- 一 滋賀郡堅田町大字本堅田ノ田地九町六反歩ハ同郡眞野村大字眞野ニ於ケル寺湯ト稱スル水路ヨリ毎月三、八ノ日ニ田養水ヲ受クルカ爲其ノ對價トシテ玄米三斗酒一斗錫一連漬物一苞ヲ贈ル例アリ
- 二 甲賀郡土山村大字平子山下ノ田地約六反歩ハ個人所有地ニ在ル山下湯水ニ依リ灌溉スルヲ以テ其敷地料トシテ玄米一斗五升ヲ支拂フ慣例アリ
- 三 甲賀郡土山村大字野上野ノ田地約三十四町歩ヲ灌溉スル野上野湯水ハ同村大字青土及瀬ノ音ノ地

先ヲ通過スル爲メ湯溝ニ架スル橋梁費トシテ毎年野上野ヨリ玄米二斗二升ヲ支拂ヘリ

- 四 甲賀郡土山村大字青土ノ田地約二十五町歩ニ灌溉スル青土湯水ハ鮎河村大字鮎河ノ地先小字長瀬ヨリ引水スルヲ以テ湯溝敷地料トシテ大字鮎河ヘ玄米八斗ヲ支拂フ慣例ナリシモ一昨年協議ノ上毎年金十圓ヲ支拂フコト、セリ
- 五 甲賀郡北柚村大字牛飼小字川原流レ瀧ケ下一部ノ田地約七町歩ハ其ノ灌溉用水ヲ近隣ノ柚川井堰ヨリ引水スルヲ普通トスルモ井堰破損ノ爲引水スルヲ得サル場合ニ限リ溜池ヨリ用水ヲ引クトキハ大字牛飼ヘ一回ニ付金三圓ヲ支拂フ慣例アリ
- 六 蒲生郡安土村大字常樂寺字櫻田ノ耕地三十町歩ニ灌溉スル水路ヲ半田川ト稱シ大字香ノ庄ニ通シテ引用スル養水ニシテ素ヨリ水量潤澤ナラサルニヨリ旱天ニ際シテハ忽チ河水枯渴ス此ノ場合ニ於テハ三日以前ニ日時ヲ定メ大字香ノ庄ニ湧引ヲ申込ムノ慣例ニシテ年三回之ヲ行フ之ニ對シ毎年玄米五斗七升五合ヲ湧引料トシテ大字常樂寺ヨリ大字香ノ庄ニ支拂フ
- 七 神崎郡栗見村大字福堂、栗見新田、栗見出在家並同郡栗見莊村大字新宮ノ一部ニ於ケル稻田ニ對スル養水ハ元來湖水ヨリ之ヲ引用シ來リシモ淀川改修疎水(京都ヘノ引水路)貫通工事ノ爲水位低下セシ結果養水ノ形勢一變シ年々旱害ヲ受クルニ至レリ之カ救濟ノ方法トシテ數年前ヨリ栗見莊村大字乙女濱所屬地ヲ通貫セル山路川堰止ヲ同字ニ托シ總田面ニ灌溉シ其ノ費用トシテ年々二百二十一

圓ヲ支拂ヒツ、アリ其ノ所在地區域ハ

栗見村大字福堂

六十町歩

同 大字栗見新田

五十町歩

同 大字栗見出在家

三十町歩

栗見莊村大字新宮

一町歩(大字福堂出作地)

計

百四十一町歩

ニシテ年々多額ノ費用ヲ支出シ之ヲ反別割ヲ以テ負擔スルカ正當ナルニ大字福堂ハ上流ニ位スルヲ奇貨トシ前記二百二十一圓ノ費用ヲ下流ナル栗見新田栗見出在家ニ對シ負擔セシムルノミナラス尙種々ノ名義ノ下ニ費用ヲ二大字ニ課シ加之動モスレハ養水ニ不足ヲ告クルコトアリ且ツ如斯多額ノ費用ヲ負擔シ引水スルモ尙蛇車ヲ使用シ揚水セサルヘカラサルヲ以テ二大字協議ノ上大正元年ニ於テ耕地整理ニ依リ揚水機ヲ据付灌溉スルコト、ナリタル結果二大字ハ此ノ組合ヲ脱スルニ至リ前記費用ハ全部大字福堂ニ於テ負擔スルコト、ナレリ

附記

本件大字乙女濱ニ於テ堰止ヲ爲シ栗見村へ給水セシムル山路ハ素ト五峰村大字山路ノ所屬地ナルヲ以テ年々乙女濱ヨリ山路ニ對シ之カ承諾ヲ得ヘキ筈ナルニ明治四十四年ニ於テ其ノ手續ヲ履行セサリシヲ以テ紛議起リ已ニ大事ニ至ラントセシヲ郡衛及警察ノ斡旋ニ依リ漸ク鎮靜シ其ノ後双方協議ノ結果今後該堰止ヲ爲サムトセハ應分ノ酒肴料ヲ提出シ豫メ所屬地ノ承諾ヲ得ルコト

ニ解決セリ

以上ノ如ク大字福堂ニ於テ年々多額ノ費用ヲ投シ引水シツ、アリト雖直接田面ニ灌溉スル能ハス必ス蛇車ヲ使用セサルヘカラス今後ニ於ケル改善方法トシテハ耕地整理ヲ行フモ土地ニ勾差ナク到底直接灌溉スル途ナク要スルニ揚水機据付ケノ一方法アルノミ故ニ此ノ方面ニ對シ郡役所等ヨリ勸誘スルモ尙實行ノ機ニ至ラス

八 蒲生郡老蘇村大字、東老蘇、西老蘇、同郡市邊村大字三津屋、平田村大字柏木ハ其上流ナル神崎郡御園村駒井水利組合ヨリ餘水ノ供給ヲ受クルカ爲メ本養水路修繕ニ關スル諸人夫ヲ年々各戸一人宛ノ賦課ヲ受クルノミナラス毎年金拾五圓ヲ本組合ニ寄附スル習慣アリ

九 愛知郡ニ於ケル愛知井ト稱スルハ郡中第一ノ大井ニシテ水源ヲ同郡西小椋村大字上岸本ニ發シ愛知川ヨリ引水スルモノナリ灌溉部落ハ四ヶ村十六ヶ字ニ跨リ尙此ノ外徳水ト稱シ四、五ノ部落ニ分水ス此面積約四百九十町歩ニシテ其ノ關係部落、用水分配方法、經費ノ負擔割合ヲ左ノ通り定メ大字小田刈ヲ井頭ト稱シ之等ニ關スル支配ヲナス慣例ナリト云フ

上ノ區				下ノ區			
部	落	分水面	積	部	落	分水面	積
豊嶺村大字小田刈	同	一 番	九二・〇町	西押立村大字西菩提寺、南菩提寺、北菩提寺	同	一 番	四九・七町
同 大字長及小池	同	同	三七・〇町	同村大字横溝	同	同	一四・六町
同 大字大清水	同	同	二五・〇町	豊國村大字畑田	同	同	四二・三町
			割經費ノ合				割經費ノ合
			一〇〇				一〇〇
			一〇〇				一〇〇
			一〇〇				一〇〇

同大字南清水	同	四二〇	一〇〇	西押立村大字勝堂	同	二七〇	七五
同大字北清水及清水中	同	六五〇	一〇〇	豐國村大字平居及刈間	同	七三二	一〇〇
計	五番	二六一〇	五〇〇	八木莊村大字栗田	計	二〇七四	四二五

三十八

備考 分水番八十番ニ分ツト雖經費ハ九分二厘五毛ニ分ツ

以上ノ如ク定ムト雖用水缺乏シ灌漑不足ヲ告クルニ至レハ上流ノ上五番ヨリ上流ナル餘江井ヨリ引水スルノ習慣アリ餘江井ハ西小椋村大字餘江ヨリ起リ愛知川ヨリ引水シ同村大字嶽、中戸、餘江、上岸本ノ四部落ヲ以テ組合トシ大字會根ハ上流ノ故ヲ以テ德水ト稱シ灌漑シ經費ノ負擔ヲ免ル而シテ川尻ハ大字上岸本ニ至リ愛知井ニ連絡ス元來本川ハ用水豊富ニシテ如何ナル旱魃ニ際シテモ不足ヲ感スルコトナキヲ以テ愛知井上五番ノ要求アルトキハ上記組合ハ灌漑ヲ禁止シテ番人ヲ附シ之ヲ愛知井ニ供給ス之カ爲メ下流ノ給水ヲ受クルモノハ之ヲ優遇スルノ習慣ニシテ其ノ經費比較的多額ニ上ルト雖其ノ幾何ヲ要スルヤ不明ナリ

- 一〇 高島郡水尾村大字宮野及大字鳴ノ西南一部ノ田地ハ約七町歩ハ大字宮野ヲ經テ鳴ニ通スル行司井堰ニヨリ其ノ用水ヲ受クルモノナルカ毎年旱魃ヲ受ケツツアリ特ニ大字鳴ハ甚タシトス而シテ鳴ニ於テ用水缺乏スルトキハ宮野ニ懇請シ餘水ノ流下ヲ受ケ宮野ニ餘水ナキ時ハ更ニ其ノ上流ノ大字武會横山ノ武會井堰ニ供給ヲ受ケ逐次部落ニ仰クノ例ナリ最モ非常ノ旱魃ニアラサレハ前記一二ヶ井堰ヲ經由流下ヲ受クルコトナシ若シ三ヶ井ヲ經由シテ流下ヲ受クルトキハ之ニ對シ最高四十圓程ヲ支拂ヒ然ラサル場合ハ其ノ通水部落ニ對シ相當ノ謝儀ヲナスハ勿論ナルモ其ノ額ハ一定セス
- 一一 甲第三項三參照

岐 阜 縣

- 一 養老郡多藝村大字直江、金屋、飯積ノ三大字ハ用水ノ供給ヲ仰ク爲メ天災地變ヲ論セス連年江料米六十四石九斗八升九合八勺ヲ左記區域ニ對シ支拂フ右江料米徵收期日ハ毎年十二月二十日、二十一日、二十二日ノ三日ニシテ同月二十五日現品ヲ交付ス

其區域、地積左ノ如シ

區域 養老郡小畑村大字江月字高野、同村大字祖父江地内字向野、日吉村大字宇田字堀ノ内、高田町大字高田字繩ノ内

地積 百參拾壹町步

- 二 養老郡日吉村大字橋爪、大字中ノ全部及宇田、豊ノ一部此ノ地積百六十五町三反餘步ニ灌漑スヘキ用水ハ牧田川上流ヨリ引用シ居レルモ地勢上隣村牧田村大字乙坂地内ヲ通過セサル可カラサルヲ以テ毎年右字ニ對シ日吉井組ヨリ玄米二石三斗七升一合五勺ヲ支拂フ慣習アリ
- 三 可兒郡錦津村伊岐津志地内字中組及鹽口ノ兩組共同シテ明治二十五年新ニ溜池二ヶ所ヲ設ケ同廿七年竣功シ尙石畑組ニテ同三十三年中溜池一ヶ所ヲ築造シ該溜池ヨリ用水ノ供給ヲ受クル田地ニ限リ灌漑料ヲ徵收ス其面積約三十町步ニシテ其額古田(溜池新設以前ヨリノ田)ハ一反步ニ玄米一斗ヲ新田(溜池新設後開墾又ハ地)

目變換シテ田トシタルモノハ一反歩ニ玄米二斗ツツヲ徵收ス之レ溜池新設ニ際シ組持ノ土地ヲ賣却シ其費用ニ充當シタルニヨル然シテ年々徵收スル灌漑料ハ溜池又ハ水路ノ修繕及水番人給料等ノ費用トス其區域内ノ字名左ノ如シ

簸具戸、茶屋、宮口、石佛、小八代、大洞、寺下、山下、若宮、上寺田、中寺田、下寺田、田島、中切、尾山、榎ノ木、富士、西中道、浦田、東田、天神前、東中道、中木戸、洞口、洞下、中島、西野、東野ノ一部又ハ全部トス

四 不破郡關原村ニ於テハ明治二十七、八年頃ヨリハ隧道ヲ掘鑿シ田面ニ灌漑シタル用水ノ自然ニ浸下スルモノヲ一所ニ集水シ使用スル方法ニシテ地主ニ對シ壹間ニ付玄米二合乃至一合ヲ敷地料トシテ支拂ノ慣習アリ其區域ハ大字關ケ原、松尾ニ多シ

五 本巢郡川崎村大字田ノ上字山田、手戸、柳町、西下田ノ四字地積凡四町歩ヨリ同村大字居倉へ用水供給ノ對價トシテ年々井酒一斗ヲ同大字へ提供スル慣習アリ（尙同村内ニ同様ノ慣習ニケ所ニアリ）

六 本巢郡伏越普通水利組合（生津村合渡村）ヨリ該組合排水路カ同郡本田村大字只越地内ヲ通過スルヲ以テ同地へ濕地辨米トシテ玄米二石二斗ヲ年々支拂フノ慣習アリ

七 不破郡荒崎村ニ於テハ左ノ如ク用水ノ對價ヲ支拂ヒ居レリ

對 價 (穀 數)	支 拂 先	灌 漑 反 別
玄米 一石一斗四升七合	不破郡表佐村藥師寺	約 拾 五 町 步
同 二斗一升二合	同郡同村清水養左衛門	約 拾 五 町 步
同 一石五斗九升四合	同郡青墓村上田篤太郎	不
同 二石一斗二升五合	同郡同村大字榎戸	約 拾 八 町 步
同 四斗二升五合	同郡同村大字晝飯	約 拾 町 步

以 上

七項ノ如キ用水ノ供結ヲ仰キ又ハ排水ヲ爲スニ付金穀ヲ對價トシテ支拂フ實例ハ殆ト全縣下ニ亘リ其數多數ナリ

備考 年々金穀等ヲ支拂フハ經濟上不利益ニシテ永久復雜ナル手數ヲ要スルト且ツ權利ヲ有スルカ故ニ種々ナル場合ニ關聯シ常ニ紛議ヲ生セシム

前記七項ノ内不破郡表佐村ノ二件ハ共ニ耕地整理組合地區中ニアリ今回整理施行ノ結果小作掟料ヨリ換算シテ金五百三十圓チ一時金トシテ從來年々支拂ヒタル井料米ニ替フルコトニ協約整ヒタリ而シテ耕地整理組合ニ於テハ此金額ヲ換地ト共ニ交付スルコト、セリ

長 野 縣

番號	所在地	面積	對價
一	東筑摩郡高松堰、島堰、樽木堰	八〇〇・四八〇〇	上記各水利組合ハ旱魃ニ際シ梓川ヨリ揚水スル際對岸ナル横澤、温、庄野三堰組合ヘ分水ヲ請ヒ揚口取拂ノ人夫賃、現品ヲ負擔ス
二	上伊那郡美濃村下六島、上川手、下川手	一〇〇・〇〇〇〇	一ヶ年ノ用水供給對價金百五十圓トス
三	同郡赤穂村南原	一・二三・〇〇〇〇	新開田チナサントスルモノハ一回一反歩ニ付金四圓ノ對價チ支拂フ
四	上高井郡豊洲村大字小島	九・二〇〇〇	同對地ニ對スル灌溉水路敷地料トシテ地主ヘ叙一石チ年々支拂フ
五	北佐久郡蘆田村(中尾區ヲ除ク)	二二四・二〇〇〇	旱魃ノ際灌溉水ノ補充ヲ仰クタメ毎年春期ニ於テ用水堰修繕費ヘ人夫九十人並金十圓ヲ隣村三部和村ヘ支拂フ
六	埴科郡中三條村	三三・〇〇〇〇	一晝夜約二萬石ノ水量ヲ供給スルニ對シ對價金三圓五十錢ヲ支拂フ
七	下水内郡永田村北水江耕地整理地區	二五・四六〇〇	用水供給四ヶ月間金百四十四圓二十錢一反歩ニ付金五十六錢六厘ヲ水利費トシテ支拂フ
八	同郡外椋村大字中曾根	一五〇・〇〇〇〇	隣部落願戸全部ニ港ル水量ヲ供給スルニ付謝禮トシテ一晝夜ニ付酒二升ヲ額戸部落ニ贈ル
九	上水内郡安茂里村大字安茂里	一〇九・〇〇〇〇	此面積ニ對スル水量ヲ供給スルニ付毎年一反歩ニ付五十七錢地租一圓ニ付二十四錢ヲ徵收ス
一〇	小縣郡縣村大字加澤	一一・〇〇〇〇	用水堰ハ隣村滋野村地籍チ隣道ニテ通水ス其料金年々金四十圓ヲ同地區ニ支拂フ

福島縣

一 伊達郡富田村大字鶴澤ニ於テハ從來字溜井ニ一個ノ溜池ヲ有シ面積約二十七町歩ニ給水シツツアリシカ明治ノ初年ヨリ旱魃打續キ給水不足ノ爲メ收穫少ク農民ノ苦痛一方ナラス明治十一年相謀リ

之レカ救濟策トシテ字圓音地内ニ於ケル同村金松寺、寺田參反九畝歩新タニ溜池ヲ築造シ對價トシテ本溜池ヨリ給水スルモノハ田一反歩ニ付玄米一升ヲ該寺ニ提供スヘキ約束ヲ爲シ十三年五月ニ於テ溜池工事ノ竣功ヲ告ケ爾來旱害ヲ免レ度々農獲ノ年ヲ經タルモ三十五年以來凶荒打續キ給水料ノ負擔ニ苦ムモノ多ク然ルニ一方金松寺ニ於テハ所有ノ田全部ヲ提供シタルコトトテ給水料ノ請求嚴重ナルモノアリ

右給水料ニ關スル根本的ノ解決方法トシテハ寄附又ハ徵收金ヲ以テ寺田ノ價額又ハ收入ニ對スル應分ノ債券ヲ交付シ永久ニ給水料ノ負擔ヲ全廢スルニ在ルモ寄附又ハ徵收ノ形式ハ困難セル現在ノ農民ニ於テ多少講究スルノ必要アルモノト認ム

二 伊達郡掛田町ニ於テハ開墾、地目變換等ニ依リ中堰、山野川堰、關根堰、下堰ヨリ新タニ用水ノ供給ヲ受クルモノニ對シ加入金トシテ一反歩金二圓宛ヲ徵收スル慣習アリ

三 北會津郡神指村大字黒川ニ於テハ同村大字中明ノ中明堰ヨリ約百二十町歩ニ對スル用水ヲ仰キ而カモ常ニ中明堰ノ權利者タル大字始、中明ニ先チ灌溉スルヲ以テ毎年酒一斗ヲ提供スル慣習アリ

四 西白河郡關平村釜子村組合穴堰普通水利組合ノ灌溉面積ハ約三百五十町歩ナルカ其用水取入口即チ阿武隈川ヨリ分水スル穴堰ノ所在ハ同郡大沼村大字本沼字下川原ニ屬スルヲ以テ本沼部落ニ對シ毎年金二十五圓ヲ提供シツツアリ

岩手縣

番號	所	在	地	積	對	價	記	事
一	二戸郡小島谷村大字小島谷		四五町	三十錢以上 一圓六十錢以內			年ニ依リ一定セス然レトモ以上ノ額ヲ超過スル コトナシ	
二	同郡金田一村大字金田一		二〇〇	四十錢以內				
三	三種實郡矢濱村外二ヶ村		一九〇〇	米五合				
四	九戸郡字部村字部		八・七	一圓七十二錢				
五	同郡同村字和野		六〇	三十三錢三厘				
六	同郡同村字知		八・一	一圓四十二錢三厘				
七	同郡輕米村大字上館字岩崎		二七・七	三十三錢				
八	和賀郡江釣子村字下江釣子		三〇	三十五錢乃至四十錢				

青森縣

番號	所	在	區	域	對	價	記	事
一	東津輕郡筒井村重右衛門堰		一五町	一五〇〇〇〇	支米五十俵		明治三十三年以降ヨリ二十ヶ年間一ヶ年ニ付五 十俵	
二	中津輕郡清水村惡戸字鴨瀨 三右衛門堰		二〇〇〇	二〇〇〇	支米二斗		年々	

三	南津輕郡尾上村大字高木		八〇〇〇	支米一俵			旱魃ノ際新山穴堰ヨリ供給ヲ受ク	
四	同郡江合館村大字諏訪堂外 北津輕郡沼川村大館野越字 福田		五〇〇〇〇〇 九・七四二四	金十圓 一反歩ニ付七十錢 酒肴料支拂			年々瀧井堰ノ支流ヨリ供給ヲ受ク	
五	同郡同村大字早稻田		一・四四〇九				年々横澤堰ノ支流ヨリ供給ヲ受ク	
六	同郡同村大字同字前田		一一二					
七	同郡同村大字常海橋字福田		三一七〇〇					
八	同郡同村大字同字松枝		一・六九〇〇					
九	同郡同村大字夕顏關字西目		五〇〇〇					
一〇	同郡同村大字同字若松		一一八〇〇					
一一	同郡同村大字常海橋字稻葉		二・八六〇〇				年々新堰ノ支流ヨリ供給ヲ受ク	
一二	同郡同村大字同字倭元		一一〇〇〇					
一三	同郡同村大字同字平塚		二・一〇〇〇					
一四	同郡小阿彌村大字高増		七〇〇〇〇〇	年々金五圓			南津輕郡大光寺久五郎堰ノ放水ヨリ供給ヲ受ク	
一五	同郡同村大字大倭		五〇〇〇〇〇	年々金十圓			湧出スル水量利用	
一六	同郡同村大字相坂		八〇〇〇	支米二石五斗八升			年々	
一七	同郡同村大字相坂		三・二三〇〇					
一八	同郡同村大字相坂							

山形縣

一 東置賜郡金山村、宮内町、沖郷村、赤湯町及糠野目村ノ内關係大字ヨリ米六石三斗二升ヲ年々吉

野村大字小瀧字水村部落ニ支拂フ慣習アリ其ノ面積千六百二十三町歩ナリトス

右ハ水源タル吉野川ノ水量渇水時ニ不足ヲ告クル爲メ水源地帯タル吉野村大字小瀧字水村ノ山林ヲシテ水源涵養林タラシムル目的ヲ以テ伐截セシメサル契約ノ下ニ右ノ對價ヲ支拂フモノニシテ此慣習ハ舊藩時代ヨリ繼承シ現時以上ノ地帯ハ保安林ニ編入セラレ居ルニ不拘今尙ホ其ノ慣習ヲ存セリ

二 西置賜郡蠶桑村大字山口ニ於テハ鮎貝村ノ用水路タル鮎貝堰ヨリ分水シ用水ノ供給ヲ仰ク對價トシテ同堰ニ關スル費用ノ十分ノ一ヲ年々負擔スル慣習アリ最近三ケ年ノ負擔額ハ平均一ケ年約五拾五圓ニシテ其ノ面積約十町歩ナリ

右ハ蠶桑村大字山口ノ開田ノ鮎貝堰開通後施行セラレタル結果ニ外ナラス故ニ寧ロ對價ヲ支拂フ事至當ト認メラル

秋田縣

一 仙北郡高梨村字橋本ハ旱天ノ際ニ於テ用水缺乏シ爲メニ同郡畑屋村ヨリ用水ノ供給ヲ仰キ其地積約四十町歩時間三晝夜ニ對シ金參拾五圓ヲ支拂ヘリ

二 同郡檜木内村字下檜木内字大臺野ニ於ケル地積約三十町歩ニ對シ用水ノ供給ヲ受クル土地ニ金五圓ヲ支拂ヘリ

福井縣

一 足羽郡六條村江端外二大字及東郷村東郷二ケ二百三十二町歩餘ノ田地ハ用水ノ供給ヲ受クルカ爲メ徳光普通水利組合へ毎年金八拾圓ヲ支拂ヒツ、アリ

石川縣

番號	所	在	事	頂	地	積	對	價
一	能美郡中海村字中用水ノ供給					五〇〇〇〇	年額金二十四	

番號	郡名	所在	區域	地積	對價	摘要
二	同郡	同村	同	同	同	同
三	石川郡	同村	同	同	同	同
四	同郡	同村	同	同	同	同
五	同郡	同村	同	同	同	同
六	同郡	同村	同	同	同	同
七	同郡	同村	同	同	同	同
八	同郡	同村	同	同	同	同
九	同郡	同村	同	同	同	同
一〇	同郡	同村	同	同	同	同
一一	同郡	同村	同	同	同	同
一二	同郡	同村	同	同	同	同
一三	同郡	同村	同	同	同	同
一四	同郡	同村	同	同	同	同
一五	同郡	同村	同	同	同	同
一六	同郡	同村	同	同	同	同

四十八

以上ハ用水ノ供給ヲ仰ク爲多ク上流ノ餘水ヲ利用シ若クハ之ヲ利用スル爲他ノ地域ニ於ケル民有土地ヲ借受ケ水路ヲ鑿ツノ代價トシテ前記ノ如ク米又ハ金錢ヲ仕拂フノ舊慣ニシテ前記以下ノ少額ナル對價ヲ支拂フモノハ其數枚舉ニ違アラヌ

富山縣

番號	郡名	所在	區域	地積	對價	摘要
一	上新川郡	濱黒崎村	針原權越	十七町步	玄米六石五斗	用水代
二	同郡	山室村	奥田村外四ヶ村	十三町步	同 四石二斗	同
三	同郡	滑川村	滑川町大字高田	三十町步	金三十圓	同
四	同郡	東三福村	大字上川原村	十町五反七畝	清酒五升	同
五	同郡	三日市村	新村	四町二反步	玄米八斗五升	同
六	同郡	荻生村	荻生村大字長屋	四町二反步	同 四斗	同
七	同郡	荻生村	荻生村大字長屋	四町二反步	同 四斗	同
八	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
九	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一〇	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一一	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一二	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一三	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一四	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一五	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一六	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同

番號	郡名	所在	區域	地積	對價	摘要
一	上新川郡	濱黒崎村	針原權越	十七町步	玄米六石五斗	用水代
二	同郡	山室村	奥田村外四ヶ村	十三町步	同 四石二斗	同
三	同郡	滑川村	滑川町大字高田	三十町步	金三十圓	同
四	同郡	東三福村	大字上川原村	十町五反七畝	清酒五升	同
五	同郡	三日市村	新村	四町二反步	玄米八斗五升	同
六	同郡	荻生村	荻生村大字長屋	四町二反步	同 四斗	同
七	同郡	荻生村	荻生村大字長屋	四町二反步	同 四斗	同
八	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
九	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一〇	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一一	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一二	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一三	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一四	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一五	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同
一六	同郡	荻生村	荻生村	四町二反步	同 四斗	同

四十九

以上ノ外用水ノ供給ヲ仰クニ付一反歩ノ對價一升乃至二勺ヲ支拂フ箇所各郡ニ涉リ多數アリ

鳥 取 縣

五十

用水ノ供給ヲ仰ク爲メ金錢其他ノ對價ヲ支拂フノ實例ハ縣下ニ其數多シ就中氣高郡千代水村ノ如キハ用水溉灌用ノ外常用飲料水ノ供給ヲ八頭郡河原村大井手水利組合ヨリ仰キ之カ對價トシテ年々金拾五圓ヲ支拂ヘリ其區域ハ同村大字德吉村、同安長村(二部分)同南隈村及晚稻村ノ四大字ニ亘レリ從テ地積モ廣大ナリ、尙美穂村大字向國安村地内田反別約五十町歩モ千代川ヨリ用水ノ供給ヲ受クルモ用水不足ノ爲メ之レ亦大井手水利組合ヨリ之レカ補給ヲ仰キ對價トシテ毎年酒五斗ヲ贈與スルノ慣習アリ、今對價ノ種類數量及其地積等ヲ表示スレハ左ノ如シ

番號	所 在 及 區 域	地 積	積 對	價
一	氣高郡千代水村大字德吉、安長、南隈、晚稻	百五十五町	酒十斗	金五圓
二	同郡美穂村大字向國安	一十八町	米六斗	金四圓
三	東伯郡上小鴨村鴨河内村字北河原	一十町	米六斗	金四圓
四	同郡中北條村字東新田場	一十町	米六斗	金四圓
五	同郡由良村大字由良宿字夢地	一十町	米六斗	金四圓
六	同郡舍人村大字野方村字方戶	一十町	米六斗	金四圓

七	西伯郡手間村大字天萬宿字星川田	一町	餘金	八圓乃至十四圓
八	同郡手間郡大字天萬宿字寶前	六町	餘金	二十五圓
九	八頭郡船岡村字下町	八町	餘金	九圓
一〇	同郡賀茂村字稻荷	一十町	餘金	四圓五十錢
一一	同郡龜井村大字蘆津	一十町	餘金	六圓五十錢
計		三百二十六町一反	餘金	百四十四圓十錢

備考 酒一斗四圓米一石十五圓トシテ換算計上セリ、尙西伯郡手間村字星川田ノ對價八圓乃至十四圓トアルハ旱魃時ニ際シ普通時ヨリハ三四回多ク分水ヲ仰キタル場合ヲ云フ

島 根 縣

番號	所 在 地	積 對	價 (對 反)	記 事
一	八東郡秋鹿村大字秋鹿字神守	二・八〇〇〇	玄米一斗一升四合	用水
二	能義郡島田村	二〇八〇〇〇〇	金十五錢ヨリ三十錢マテ	
三	同郡廣瀬町大字廣瀬	二〇〇〇〇〇	玄米二斗	
四	仁多郡三成村大字三成字美女原	九〇四	玄米六斗九升	
五	同郡横田村大字中村	二二〇〇	同二斗二升五合	
六	安濃郡波根西村字久手	二二〇七〇〇	金二十錢以內	
七	同郡同村字上ヶ	二五・四五〇〇	金十五錢乃至七十錢	
八	同郡川合村大字吉長	二・〇〇〇〇	玄米五升乃至七升	

五十一

岡山縣

九	那賀郡木田村大字細野原	一・五〇〇〇	玄米	一升七合	水
一〇	同郡同村大字同屋敷原	四〇〇〇	同	二升五合	
一一	同郡雲城村大字七條字萬泉寺	一・二〇〇〇	同	二升一合	
一二	同郡波佐村大字波佐	三〇〇〇	同	六升七合	
一三	同郡和田村大字和田	一・二二四	同	八合	
一四	同郡三隅村字森溝及岡崎	二七〇〇〇	金	九錢	
一五	美濃郡吉田村大字中島	四〇・九〇〇	玄米	二斗八升八合	
一六	鹿足郡七日市村字小野田	八・〇〇〇	同	五合	
一七	周吉郡磯村大字西田字田風呂	二四〇四	金	一圓六十六錢	
一八	同郡同村大字權徳寺	五〇〇〇	玄米	六升	
一九	同郡同村大字今津字長畑	四・〇〇〇	同	三升七合	

五十二

- 一 苦田郡香々美南村大字久保田ノ一局部十四町二反八畝〇八歩ハ毎年同村大字香々美ニ對價五石(時價)ヲ提供シ用水ノ供給ヲ受ケツ、アリ
- 二 兒島郡興除村用水ハ吉備郡總社町大字井尻野ニ在ル湛井堰即チ十二ヶ郷ヨリ來リテ都窪郡撫川町地内芝一ノ樋ヨリ取入タル妹尾郷組合ノ餘水ヲ受クルモノ(大字東疇)ト同所ニ在ル塚樋ヨリ取入レ六間川ニ合流セル所謂澤所組合ノ餘水及帶江村大字帶高藏水門ヨリ受クルモノト(大字内尾、曾根、

西疇)ヲ以テ灌溉セリ其區域反別千三百町歩餘ナリトス故ニ十二ヶ郷組合費及妹尾郷組合澤所組合藏水門組合費ヲ分擔スルノ慣行アリ尙是等用水取入ニ付テハ無異ニ取入レ得ルニ非ス
用水期ニ至リテハ他ニ多大ノ手數ト費用ヲ要シツ、アリ

三 兒島郡藤田村ハ御津郡牧石村外八ヶ村同郡御野村外十ヶ村組合ニ係ル石樋管兩水利組合ノ承認ヲ得同郡同村芳田村米倉地方ノ水路ヲ改良新設シ芳田村大字當新田地内ニ樋門ヲ設ケ笹ヶ瀬川ニ底樋ニヶ所ヲ伏設シ從來笹ヶ瀬川ニ沿ヒ大手樋門ヨリ排出セシ餘水ヲ取入レ錦、都、大曲等ニ亘リ之ヲ灌溉シツ、アリ之ニ對シ今水ハ新開田一町歩同村大字平田ハ三反歩芳田村ハ一町五反歩同村大字米倉ハ二反歩同村大字當新田ハ五反歩ヲ寄贈シ且ツ餘水取入ニ關スル設備費及修理保存費トテ年々相當ノ費用ヲ寄贈セリ又都窪郡撫川町芝一ノ樋ヨリ取入ル即チ妹尾郷組合ノ水路改良費ヲ負擔シ其餘水ヲ受クル契約ヲ爲シタルニ未タ實行ニ至ラス又汗入用水ヲ改修シテ通水ヲ良好ニシ用水ヲ取入ルヘク去ル明治四十五年四月興除村ト契約ヲ結ヒ其第一期工事費約二萬圓ヲ當時藤田組カ負擔シ改修セリ且ツ其水路保存費ノ中ヘ年々幾分ノ寄附ヲ爲ス條件ノ下ニ之ヲ實行セシモ昨年三月滿期ノ儘未タ該契約ノ更新ヲ爲シ居ラサル趣此契約ハ配水取扱上實地試驗ノ上確定スルノ意ヲ以テ三ヶ年ヲ第一期トセルモノナリ又都窪郡豊洲村及茶屋町地内ノ餘水並ニ特ニ上流諸町村ヨリ相當指導ノ方法ヲ講シテ取入タル餘水ヲ藤田村ニ流通セシムヘク昨年六月兩町村ト契約シ右關係村トノ間ニ必要ナル

五十三

工事ヲ施シ其ノ費用ハ直接藤田組又ハ地元町村ト協議ノ上措置寄附等ニ依リシモノナリ且ツ先年茶屋、豊洲、早島三ヶ町村ニ對シテ寄贈セシ土地一町二反歩ノ外豊洲村ニ三反歩ヲ寄贈シ餘水ヲ受ケ藤田組開墾地西部ノ灌溉ヲ補給セリ都窪郡帶江村大字帶高藏水門刳樋内ノ餘水ト六間川末流ニ浮遊セル突揚淡水ヲ引入レ興除村ト藤田村トノ用水ニ充用センカ爲メ昨年十二月興除村ト契約シ更ニ本年四月ニ至リ帶江村トノ改良施設竝ニ餘水引入ノ事ヲ契約シ兒島灣開墾起業者ノ負擔ヲ以テ帶高地内堤防ニ取入樋ヲ新設シ帶高及興除村大字西崎地内ノ水路ヲ改修擴張シ興除村ト双方隔日ノ日割ヲ以テ本年用水期ヨリ實行シ藤田村西部灌溉ヲ補給セリ

四 兒島郡福田村元福田新田ト謂シ區域ハ今ヨリ五十五六年前ノ開墾地ニシテ當時ハ高梁川東分流ノ流水潤澤ニシテ反テ大水ノ際堤防決潰ノ災コソアレ灌溉ノ患ナカリシニ漸次埋堆シ殊ニ都窪郡清音村大字古地東西流分岐點ニ於テ甚シク埋堆ノ上ニ小田川ノ吐口ニ當ルヲ以テ埋堆愈々甚シキヲ加ヘ東分流ハ動モスレハ殆ト涸渴ノ姿トナリ加フルニ其下流酒津ニ至リ八ヶ郷、備前、倉敷樋等アリ此三種カ呑ミ込ム水量ハ莫大ナルヲ以テ用水期ニ於テハ自然ニ放置スレハ一水タモ流下セサルノ慘狀ヲ見ルニ至ル別ニ對價トシテ支拂ハサルモ浚渫ヲ請願シ又ハ淺口郡ニ向テ交渉シ分水地點ニ支障ヲナシ又都窪郡ノ同情ヲ求メテ漸ク灌溉ヲ爲ス等多大ノ手數ト費用トヲ要セリ尙早歲ノ當年ニ於テハ吉備郡溝井堰ノ餘水ヲ放流センコトヲ懇請スルコトアリ此場合ハ十二ヶ郷組合費内へ二百五十圓ヲ

至三百圓其下流上原堰へ五十圓以内ヲ寄贈シ極メテ苦策ヲ以テ漸ク一時ノ灌溉ヲ爲スコトアリ已ニ昨年ノ如キ此策ヲ以テ田植ヲナシタル始末ナリ其灌溉反別九百町步餘ナリ

廣 島 縣

廣島市本市ハ太田川下流ニ介在シ數多ノ河川ニ挾マレ居ルヲ以テ灌溉用水ニ不便ヲ感スルカ如キコトナク之レカ引水ニ付テハ古來ヨリ河川中ニ堰堤ヲ設ケテ上流ヨリ流下スル水ヲ堰キ留メ之ヲ用水樋ニ引キテ灌溉用ニ供スル習慣アリ之カ堰堤費用ニ付テハ灌溉ヲ受クル土地ノ所有者又ハ小作人ニ於テ負擔シツ、アリ尤モ本市ニ於テハ近時下水道布設ノ關係上右堰堤ヲ設ケル事ハ下水道ノ築造上支障アルヲ以テ市内東部ニ於ケル耕地ニ對シテハ本年六月ノ頃市費ヲ投シテ灌溉用唧筒ヲ設ケ揚水ヲナシ以テ灌溉用ニ供スル計畫ナリ尙ホ之カ所在及區域ノ地積等ヲ舉クレハ左ノ如シ

番號	灌溉地區	地積	從來堰堤	堰堤ニ要スル費用	現在灌溉用唧筒ノ位置	唧筒ノ數	唧筒設置費用
一	皆賀、宇品竹屋新開	二四五、〇町	段原村	一、〇〇〇町	同 鶴小村	三	七、六七六町
二	東新開段原新開 蟹屋新開及尾長新開 大須賀新開及尾長新開	一六八、五町 五八、〇町 七九、八町	鶴見橋下流 猿猴橋町 猿猴橋下流	〇	荒新多聞 炭田屋小路 大須賀町	三 二 三	七、四一八町 三、六〇五町 六、八〇四町
三	觀音新開	二〇〇、〇町	福島橋下流	八五〇町	松原	一	〇

備考 本表堰堤ニ要スル費用ハ單ニ土俵其他ノ材料費ヲ掲ケタルモノニシテ人夫費ハ各農家自カラ其勞役ニ服スルヲ以テ算入セ
ス

安 藝 郡

- 四 燒山村ニ於テ一區域一町二反歩ニ對シ米二石四斗
- 五 江田島村ニ於テ一區域一町四反二畝歩ニ對シ米三石ノ對價ヲ支拂ヒ其他以上ノ二ヶ村ニハ此ノ種
ノモノ十二ヶ所アリト雖モ大同小異ニ付省略ス而シテ其對價ノ支拂ハ特殊ノ事情アル場合ノ外變更
スルコトナシ

佐 伯 郡

- 六 五日市町ハ往古ヨリ水田用水ノ供給ヲ同郡八幡村大字寺田ヨリ仰キツ、アリ其面積二百二十町歩
ニシテ該水路ハ八幡村ノ地先ヲ通過セルヲ以テ古來年々水路ノ使用料ヲ支拂ヒ來リシカ明治九年改
租ノ際該水路敷地ハ免租トナリタルヲ以テ使用料廢止ノ件八幡村ヘ協議セシコトアリシモ其協議決
定ニ至ラス往舊今日ニ至リ每年米三石五斗八升五合ヲ對價トシテ支拂ヘリ該水路ハ民有地ナレトモ
既ニ免租地トナレルノミナラス五日市町ハ勿論八幡村ノ爲メニモ最モ必要ヲ感スル所ニシテ同村民
ハ之カ利用増進ノ途ヲ講シ近來水車ヲ設ケ利益ヲ享有スルモノアル等同村ノ爲メニハ缺ク可カラサ
ルモノトナレルヲ以テ五日市町民ハ將來ニ於テハ慣習ノ水路使用料廢止ヲ希望シ居レリ

- 七 石内村ニ於テハ三十有餘年前宅地ヨリ田ニ地目ヲ變換シタル同村字有井面積三畝十五歩ニ對シ漑
灌用水供給ノ水路ナキニ依リ隣接地ノ岸下ニ沿ヒ幅約一尺七寸長サ約六十間計ノ溝渠ヲ假設シ之ヲ
用水供給ヲ仰クモノニ對シ四ヶ年前以來一ヶ年米五升ヲ水路所有地主ニ支拂フ例アリ
- 八 八幡村大字寺田字西河原ヨリ同郡同村大字保井田字西地ニ至ル用水路貸附ノ代價トシテ同郡五日
市町ヨリ年々溝代米三石五斗八升五合ヲ受ク
- 九 地御前村字大神我迫及林上溜池ハ村有地ヲ借リ受ケタルモノニシテ年々其使用料ヲ「水受ケ主」
ヨリ役場ヘ納付シ堤防等ノ修繕ハ水掛リ地主之ヲ修繕シ其費用ハ田ヲ各等級ニ分チテ徵收セリ此反
別十九町九畝十歩ニシテ其使用料一ヶ年約拾九圓貳拾錢修繕費一ヶ年約貳拾四圓トス
- 一〇 大竹町ニ於テハ堰キヲ設ケテ漑灌ヲナス舊慣アリ其區域ハ大字大竹及小島新開百五十町歩之カ
對價九百八拾六圓九拾壹錢參厘ヲ支出セリ
- 一一 三和村大字峠字芝居田ノ一部五町參反餘歩用水ノ供給ヲ仰クニ付習慣上對價トシテ米壹石（但
一反歩當一升八合六勺）ヲ支拂フ實例アリ
- 一二 大柿村大字大原字平畑溜池及字河内溜池字萩原川水ヲ慣習ニ依リ分配ス其所在ハ字萩原平畑河
内峯佐古島井元等大字ノ内田反別十四町歩ニ引用スル對價一石七斗五升ヲ支拂フ例アリ
- 一三 飛渡瀬村字外海、長谷、久米梅ノ迫ノ區域ノ面積九町二反一畝十六歩ハ溜池ヨリ供給ヲ受ク其

對價米一石四斗七升四合ヲ慣習ニ依リ支拂フ實例アリ

安 佐 郡

- 一四 安村大字高取長末寺ニ於テ溝敷反別三反七畝四步ニ對シ對價米トシテ年々三石宛支拂フ慣習アリ
 - 一五 祇園村字伊豫屋原ハ隣村安村大字中須ヨリ給水セルヲ以テ大字中須部落ノ流域内ハ溝代米トシテ毎年米四斗九升五合ヲ支拂フ慣例アリ此用水ヲ供給スヘキ反別二町七反步除
 - 一六 明和五年子四月故祇園村桑原卯之助ノ企ニテ八木村字十分一ニ井堰ヲ架設シ水路ニ八木村綠井村安村三川村西原村長東村ヲ經テ三篠町ニ達セシメタル全國有數ノ用水路アリ之カ供給ヲ受クヘキ面積ハ二百十餘町步ニシテ溝代米ヲ毎年六十七石九斗一升七合五勺宛支拂ヒツ、アリ但此水路アル爲メ特ニ水利組合ヲ設ケ之カ管理ハ西東原組合村長其局ニ當レリ而シテ此負擔ハ前記八木村綠井村安村西原村長東村三篠町ニシテ特ニ三川村ヲ除外セル舊慣アリ
- 以上ノ例ハ鈴張村及其他ニモ事實有之モ同一ノモノニ付記載ヲ省略セリ

山 縣 郡

- 一七 大朝村字宮ノ原田二町三反三畝一步ニ對シ溝代米トシテ一ヶ年一反步ニ對シ玄米二升ヲ支拂ヒツ、アリ
- 一八 新庄村ニ於テハ村内河川ノ流域中樞要ノ個所ニ堰下小作人等ヲ以テ其夫役ニ充テ年末ニ於テ夫

役材料ヲ調査シ之ニ材料價額人夫賃ヲ合算シ引用水ノ田區反別割ニ賦課徵收シテ堰費ノ收支計算ヲ爲スヲ例トス

- 一九 上殿村ニ於テハ同村區域反別田四十一町五反二畝步ニ對シ五ヶ年平均ヲ以テ用水費トシテ一反步ニ對シ金參拾壹錢五厘ヲ徵收シ居レリ

高 田 郡

- 二〇 吉田町ニ於テハ可愛村大字常友用水溝ヨリ分水供給ヲ受クルモノ同町字鯨多、川向下川東下新三川鎗分大濱外堀ノ内總反別三十八町九反五畝步ニ對シ支拂フ時價左ノ如シ

米 八 石
 可愛村常友へ分水ヲ受クル報酬
 同村常友光下與吉外貳名へ溝代
 米五斗七升三合
 同村常光用作外五名へ樋守給
 米壹斗四升

分水供給ノ爲メ吉田町字左圓下迫ノ内九町步ニ對シ丹比村相合へ支拂フ對價左ノ如シ
米五斗 分水ニ對スル報酬及溝代米共

又同相合小字野地下流ヨリ吉田町へ供給ヲ受クル用水路反別一畝十五步ニ對シ溝苗代米ト稱シ米八斗毎年末ニ於テ吉田町水受ケヨリ相合部落用水路所有者へ支拂フ實例アリ尙同部落ニ別ニ下流用水敷地ヲ設置シ前記ノ水受ケ吉田町ノ稻田用水トシテ供給ス此反別一反十三步ニ對シ米四斗餘ヲ相合用水敷地所有者へ年末ニ支拂ヒツ、アリ

二一 可愛村ニテハ可愛川ヨリノ用水供給地積百五十町歩ニシテ一反歩ノ對價平均壹圓拾錢宛堰ノ修繕費ニ充テツ、アリ

二二 郷野村大字桂部落ニテハ年々同村長屋部落ヨリ用水ノ幾分供給ヲ受ケ年々米二斗ヲ支拂ヒツ、アリ而シテ其區域及地積ハ桂ノ堰水ニ合シテ供給スルモノニツキ確實ナル調査シタルモノナシ亦大字桂ニ對シ可愛川山手ヨリ年々米一石二斗支拂ヒツ、アリ其區域及地積ハ前同様ナリ

二三 船佐村ニテハ大字羽佐竹野々原全部ノ田地ニ供給スル井堰ハ北村字雁子ニアリ野々原ヨリ年々米六斗四升ヲ用水路使用料トシテ支拂ヒツ、アリ

二四 秋越村ニテハ大字小越字楚里二反歩米三升大字秋山西須澤二反三畝歩米三升ノ對價ヲ支拂ヒツ、アリ

賀茂郡

二五 川上村大字飯田字清水川ニ於テ米池ト稱スル池アリ往昔或ル豪農ニ於テ獨力ヲ以テ之ヲ築キ自由ニ灌水ヲ爲シツ、アリシモ其後水利權ヲ貸附賣買ト爲シ該利米トシテ右池水ヲ各人ヘ分賣シ雨量多キ年ト雖モ甲ハ毎年米三升乙ハ米五合丙ハ八合ト云フカ如ク徵收セリ地積ハ一定セス各持分ノ水量ヲ適宜ノ田ニ灌溉シツ、アリ昨年ノ如キ早魃ノ時ニハ多クノ田地ヲ有セサルモノ又田地ヲ有スルモ用水ノ必要ナキモノハ其持分ヲ評價シ他人ヘ賣買セシモノ稀ナラス而シテ右米池ノ樋ヲ抜キタル時ハ他ノ池ノ樋ヲ抜クコトヲ得サルノ特權ヲ有セリ

二六、廣村字中采原組臺組小迫ノ總地積二十町歩ニ對シ早魃ノ際ハ馬離塙池ヨリ引水スルニ當リ字吉地區域内ノ溝渠ヲ通用セサルヘカラサルカ故ニ此場合ハ井手料トシテ字吉地ノ地主ヘ酒五升ノ對價ヲ支拂フヲ例トス又同村第一區域普通水利組合面積百六十八町歩第三區域普通水利組合面積二百三町歩ハ廣大川及東大川ノ灌溉事業ヲ主トスルモノニシテ早魃渴水ノ場合ハ其上流(區域外)ノ堰ヲ開放シ時間ヲ期シテ分水ヲ行フ其際ハ水落夫トシテ左記ノ通り關係地主ヨリ對價ヲ支拂フ

堰名	實價	堰價	堰名	對價	對價
芳ヶ	酒米壹	五斗	下米	五升	五升
小ヶ	酒米壹	四斗	淵米	五升	五升
萬ヶ	米	四斗	壹米	四升	四升
七ヶ	米	六斗	貳米	四升	四升
松ヶ	米	八斗	參米	四升	四升
廣郷	米	壹斗	口米	貳升	貳升

外ニ米一斗宛ヲ支拂フ、モノ數ヶ所アリ

豊田郡

番號	所在地名	區域地積	對價	價	摘	要
二七	竹仁村大字下竹仁字川西	三・〇五町	壹日ニ付	壹米參升	早魃ニ際シ用水供給ノ爲メニ支拂フモノ	

二八	同	所字土井沖	一・二〇	同	支米壹升五合	同
二九	同	所字柳	五〇	同	同	同
三〇	長谷村大字小坂	六五・〇〇	壹反	壹日ニ付五合	小坂區ハ溜池用水ノ供給ヲ受ケル爲メニ支拂フ	同
三一	本郷村字油免	三五	同	參升貳合	壹ケ年分用水路ハ損毛料トシテ支拂フモノ	同
三二	同	字下山沖	一〇	同	同	同

御調郡

本郡ニ於ケル實例左ノ如シ

番號	所在及區域	地積	對價	價	摘	要
三三	市村字神	一四・〇〇〇	支	米八斗	他ヨリ供給ヲ仰クモノ對價ハ壹ケ年間	
三四	下川邊村字僧前	三二・九	同	壹斗	同	
三五	河内村字徳取	一七・〇〇〇	貳	拾圓	大關井ニテ掛ニ就テ法廷ニ收訴シ字丸門田ニ先用權アリテ一切ニ費用ヲ負擔ス	

世羅郡

三六 甲山町大字西上原字流、宮田垣内、鎌倉、馬上、沖河原、隅田川、天神原ノ七字ハ東大田村大字本郷字廣瀬ナル芦田川井堰水溝ヲ引キテ三十町八反餘歩ニ灌溉シ其對價一ケ年米三石二斗内外ヲ金錢ニ換算支拂フ東大田村ニ於テハ之ノ溝料ヲ同村内ニ於ケル用水灌溉關係者ニ割當支拂ヒ溝及堤塘ノ修繕ヲ要スルトキ其修繕費ハ各地主ニ自辨セシム

三七 三川村大字小谷字大通ノ内川塚ニ於テ荒瀬井手ト稱スル場所田一町九反歩此ノ用水溝料山林部ハ溝一間ニ付米一合耕地部内ハ一間ニ付キ米二合乃至二合六勺ヲ支拂フ三川村字小谷字中原ノ内田中井手ト稱スル場所ニ於テ田一町歩此溝料山林部一間ニ付米一合耕地部二合乃至二合六勺七勺ヲ支拂フ

三八 東大田村字本郷字廣瀬大田川大井手溝掛リ大字本郷川口十五番地田十五歩ヲ溝ニ使用シ其料一斗七合（此ノ溝料ハ甲山町西上原ヨリ受クルモノニシテ地目ハ田トアレトモ實地ハ溝渠ナリ）同大字、字廣瀬六百十九番地田一反八畝十歩此ノ溝料一斗ヲ支拂フ

沼隈郡

三九 東村ニ於テハ用水ノ供給ヲ仰クニ金錢ヲ支拂フハ普通ノ例ニシテ其對價ハ一様ナラサルモ一時拂反當百圓乃至三百圓ナリ而シテ排水ニ付テハ何等ノ習慣ナシ

四〇 金江村字藁江ヨリ流ル、新川及同村大字金見字本谷大池ヨリ用水ノ供給ヲ仰ク區域ハ字岡ノ端中、筋沼田、沖田、平岩、延石、前田ニシテ其對價（水番）四十五圓四十錢トス

四一 浦崎村字上組外四組ヲ一組トシ用水ノ費用トシテ一反歩ニ付金六十錢ヲ徴收シ溜池修繕及排水當時ノ人夫賃水路溝堀等ノ費用ニ充ツ此反別四十六町七反三畝十八歩區域ハ字上組洋組下組高尾組新田組ノ幾分ナリ

- 四二 引野村西半部七十五町ハ春日村吉田ヘ二斗ヲ支拂ヘリ
- 四三 千田村字藪路ハ同村水利組合費ノ三分ノ一負擔ス
- 四四 川南村ハ下岩成村、中津原村ヘ一時金五十圓ヲ支出セリ
- 四五 道上村加茂村八軒屋ハ一石ヲ支出セリ

蘆品郡

- 四六 用水ノ一部分ヲ個人持山林間ニ溝渠ヲ通シテ引水シ排水モ同様私有地ニ溝渠ヲ通シテ之ヲ行ヒ其借地料トシテ對價ヲ全部區費中ヨリ出資スルモノアリ又半價ヲ區費中ヨリ半價ヲ地主ヨリ出資スルノ慣例アリ其所在地ハ宜山村大字大橋字原八升時、前田、大落、竹ノ迫、三池ケ迫、池ノ泊等ニシテ其區域ノ地積三十五町歩代價十七圓三十二錢二厘ナリ右ハ耕地整理施行ヲ希望シツ、アルモ出資方法講究中ナリ

四七 用水ノ供給ヲ仰クニ付毎年耕地一反歩ニ對シ米一斗七合麥一斗四合ノ對價ヲ支拂ヒ之ヲ以テ用水池ノ修繕費ニ充當シツ、アルハ出口町字羽中ノ一部ニシテ其地積對價左ノ如シ

地積 一町二反歩
對價 米一石二斗八升四合
麥一石二斗四升八合

四八 新市町字古市部落ニ於テ網引村字宮内御池掛リ用水ヨリ二町四反歩ニ用水ノ供給ヲ受ケ同掛ノ費用ヲ負擔スルノ慣習アリ但對價ノ如キハ年々異動アリテ一定ナラス

四九 用水ノ供給ヲ仰キ又ハ排水ヲナスニ付普通年貢米ノ一割位ノ増米ヲ地主ニ納付スルハ服部村内ニ於テ點々アレトモ別ニ地積等調査シタルモノナシ

神石郡

本部ニ於テハ排水ヲナスニ付對價ヲ支拂フモノナキモ用水ノ供給ヲ仰クニハ慣習上對價ヲ支拂フ實例アリ左ノ如シ

五〇 所在地 新坂村新免字畑谷

地域 三町二反歩

對價 玄米一石八斗(一ケ年額)

内 三斗 比婆郡久代村へ
一石五斗 同村畑田

備考 用水供給ニ付對價トシテ玄米一石八斗ヲ支拂フニ至リシハ明治五年頃ナリ而シテ久代村へ支拂フ玄米三斗ハ東城川流域久代村内ニ井堰ヲ築ク爲メ上流ヨリ死體其他流着等ノ際村ノ迷惑ヲ來スニ付其補償トシテ年々支出ノ慣例トナレルモノナリ

久代村畑谷へ對シ一石五斗ヲ支拂ヒツ、アルハ定約當時畑谷部落（久代村）六戸修繕區域里道ニ（井堰築調ノ爲メ）侵入スルカ爲メ破損ノ場合補償トシテ支出スルモノナリ然ルニ該地ハ明治十七年縣道開通ノ爲メ前記ノ事實消滅セシモ尙依然之カ支拂ヲ繼續シツ、アリ

甲 奴 郡

本郡ニ於テ用水ノ供給ヲ仰ク爲メ慣習上對價ヲ支拂フモノ左ノ如シ

番號	所 在 地	區 域	地 積	對 價
五一	田 總 村	田總村字上市、横枕沖	三 町 步	用水代米六斗
五二	同	同村字陰地ヨリ五萬ニ通スルモノ	十 町 步	用水溝敷代米一石

双 三 郡

五三 和田村內ニ於テ田反別二十二町五反六畝步ニ當リ溜池ハ水受關係者以外ノ所有ナルヲ以テ古來ヨリ池底米トシテ毎年米二石三斗四升ヲ支拂フ習慣アリ

五四 和田村內ニ於テ田反別三十二町七反步ニ當リ溜池掛リアルモ水源乏シク雨水ヲ供用スル爲メ水路ヲ新設シ之ノ溝敷料トシテ數十年來毎年米二石九斗ヲ支拂フ習慣アリ

五五 河內村內ニ於テ明治十七年新ニ井堰並用水路ヲ設置シ畑反別三十町步ヲ田ニ變換シ爾來溝料ト

シテ毎年米七石二斗八升八合ヲ支拂フ慣習アリ

比 婆 郡

五六 小奴可村大字小奴可字栃木外十二字ニ亘ル二十餘町步ノ田地ニ灌溉スル用水ハ八鉢村大字三坂字岩祖ヨリ供給ヲ仰キツ、アリ該水路ハ明治二十七年ノ開鑿ニ係リ以來毎年溝敷料トシテ右水 downstream 係者ヨリ八鉢村大字三坂區へ金七圓小奴可村大字小奴可へ金二圓四十六錢四厘其他溝敷地所有者へ金六圓五十錢計金十五圓九十六錢四厘ヲ二十ヶ年間繼續支拂フヘキ契約ヲナシ大正二年十二月ヲ以テ滿期トナリシヲ以テ更ニ總代柳生角市ニ於テ契約繼續ヲ屢々交渉シタルモ獨右三坂區丈ケハ溝敷料金増額スルニアラサレハ應セサル旨ヲ以テ拒絕セリ尤モ其餘水ヲ以テ灌溉センニハ尙敷町ヲ田地トスル事ヲ得ラル、ニモ不拘前陳ノ故障アルカ爲メ其實行ヲ見ルニ至ラス

五七 本村ニ於テハ本村堰手掛田地面積約二十五町步ハ旱天ニ際シ之カ用水ヲ各自ノ田面ニ均一ニ灌溉センカ爲メ一ヶ所二人或ハ三人ノ人夫ヲ選定シ交互ニ出務セシメ之等ニ對シ配水上一切ノ事ヲ委任シ以テ其灌溉水ノ權衡ヲ失セサラシメ其手當トシテ壹日壹人玄米一升五合ヲ交付スルノ習慣アリ

五八 山内東村大字市掛田部落田地二十五町九反步ノ内二十三町步ニ對スル灌溉水ハ庄原町西城川ニアル青木堰ヨリ日々出水全量十分ノ二ト戸郷川流水ヲ併セ給スルノ例ナルモ庄原町ニ對シ水路敷料玄米二石ト堰水料五石一斗ヲ支拂フ事ヲ天保五年ニ契約シ以來今日ニ及ヘリ

五九 同村大字田原小字下田原耕地五町歩ニ灌溉スルニ當リ大字上原國兼池餘水ヲ受ケンカ爲メ山内西村大字本郷ノ所有地ヲ經テ水路ヲ設ケタリ故ニ其溝敷料トシテ年々玄米一斗ヲ右本郷區ヘ支拂フノ實例アリ

山口縣

番號	郡名	所	在	區域ノ地積	對	價	記	事
一	玖	愛宕村		三三〇・〇〇〇	一反歩	八一八・五五五	〔	〔
二	吉	小郡町大字上郷字仁保津下區		三〇〇・〇〇〇	米一升五合		〕	〕
三	同	同町大字下郷	東津沖	四〇〇・〇〇〇	同			
四	同	大道村上田新開作	新開沖	五〇〇・〇〇〇	二石四斗			
五	同	同村眞鍋開作		七〇〇・〇〇〇	同			

和歌山縣

一 伊都郡應其村大字淨土寺

地積水田百二十三町九反七畝二十九歩

對價毎年玄米三石四斗七升

右ハ淨土寺ニ於ケル貯藏池ノ用水カ山田村大字吉原ヨリ供給ヲ仰ク對價トシテ支拂フモノナリ

二 同郡山田村大字神野々

地積水田二十三町七反三畝二十五歩

對價毎年玄米三石一斗

右ハ同村畑田池貯藏池用水カ他字タル山田吉原ヨリ供給ヲ仰ク對價トシテ支拂フモノナリ

三 那賀郡岩出町大字岡田

地積水田三町六反三畝六歩

對價反當玄米二斗

右ハ他組合用水路ヨリ用水ノ供給ヲ受クル對價トシテ支拂フモノナリ

四 同郡調月村大字西美島、宮ノ前、宮垣内、前島、後島

地積水田十六町歩

對價反當金一圓

右ハ前項同様ノ理由ニヨリ支拂フ

五 同郡上名手村大字江川中、西ノ山

地積水田七町歩

對價反當玄米二升八合五勺

六 同郡内各町村

畑地宅地等ヲ水田ニ變換ノ場合用水路ナキ爲メ隣接ノ水田ヲ通過セシムル場合ハ其ノ地主ノ承諾ヲ得テ通水路ニ對シ溝路米トシテ支拂フ其ノ量ハ契約上成立スルモノニシテ一定セス

七 海草郡安原村

地積水田二町二反歩

對價反當玄米二斗

右ハ他組合溜池ノ餘水ノ供給ヲ仰ク場合對價トシテ支拂フ

八 同郡同村

地積水田七十三町歩

右ハ此區域ヲ灌溉スル用水路カ上流ニ於テ他村領又ハ他大字領ヲ貫流スルノ故ヲ以テ他村又ハ他大字領へ金錢又ハ玄米ヲ支拂フ對價ハ他村ニ支拂フ場合ハ此地積ニ對シ年金四圓五十二錢五厘、他大字領ニ支拂フ場合ハ年玄米八斗ナリ

九 同郡和佐村

地積二十町歩

對價年金一圓

右ハ上流地區ノ惡水ヲ用ユルカ爲メ組合費ノ負擔ヲ受ケサル代リ年々金一圓ヲ上流水利組合ニ支給ス

一〇 有田郡南廣村大字南金屋ノ一部大字東中名島

地積水田四十二町歩

右ハ旱魃ニ際シテ上流ニ在ル殿、井關、河瀬、津木村等ノ各井堰ヲ切り用水ヲ仰ク場合各井堰ノ部落ニ各酒二斗五合ヲ提供シ六回迄用水ノ供給ヲ受ク

一一 日高郡東内原村大字荊木字村澤

地積水田六十町歩

對價年玄米二石六斗

右ハ上流他村溜池ノ殘餘水ヲ灌溉スル場合

一二 同郡同村

地積水田二十町歩

對價年玄米四斗

右ハ用水補充トシテ上流他部落ノ剩餘水ヲ受クル場合

一三 同郡矢田村大字土生

地積十七町步

對價年玄米一石六斗

右ハ此ノ區域ニ灌溉スル用水路管理人ニ支拂フモノ

一四 同郡松原村大字吉原字寺田外七小字

地積水田二十町步

對價年玄米三石六斗

右ハ他字用水ノ剩餘水ヲ引用スル爲メ他字ニ支拂フモノ

同村内ニ於ケル他ノ例、地積四町五反ニ對シ年玄米四斗五升、地積三町步ニ對シ年玄米五升

一五 日高郡御坊町附近一般

袋地ニシテ養水路ナク田越ニ引水スル爲メ引水料トシテ通路ノ水田所有者ニ灌溉地一反步ニ付玄米一斗ヲ支拂フ習慣アリ

一六 西牟婁郡川添村

地積水田十町步

此ノ面積ヲ灌溉スル爲メ設置セル水車六臺ノ經營者ニ對シ年玄米反當三升ヲ支拂フ

德島縣

一 那賀郡加茂谷村

同村大字吉井村ハ從來溪流ノ水源ヲ利用シ僅カニ灌水ノ用ニ供シ畑作ヲ以テ主トセシモ明治九年同村大字加茂村字大西ヨリ延長約二十町ノ水路ヲ開鑿シ那賀川支流ノ水ヲ引用シ左ノ區分ニ依リ用水持主ニ對價ヲ支拂フヲ例トセリ

灌溉區域及面積 大字吉井村字加美、原、皇神、柳谷、地神南、宮ノ前、中谷、紅葉ノ下
五十町步

對價 價 毎年豊凶ヲ論セス一反步ニ對シ玄米二斗五升五合六勺宛

二 那賀郡長生村

同村大字本庄村字中久保、深久保、須ノ本、南千足、北千足、本庄市ノ各村三十五町一反二畝二十五步ハ常時用水多量ナルモ一朝旱魃ノ場合アルヲ憂ヘ毎年玄米三斗ヲ三村普通水利組合ヘ支出ス

三 那賀郡今津浦村

同村大字江野島村字手塚畷ハ往昔ノ新開地ニシテ和田島村養水路ヨリ分水ノ供給ヲ受ケ毎年井料トシテ同字六町八反歩ヨリ玄米一斗三升ヲ支拂フ慣習アリ

四 板野郡堀江村

同村大字姫田村字小森約二十町歩ハ非常旱魃時ニ於テ大津村大字大幸村ヨリ用水ノ供給ヲ仰キ對價トシテ米五斗ヲ支拂フ慣習アリ

五 阿波郡久勝村

同村上池普通水利組合ノ水源溜池タル上池ハ灌溉面積六十九町七反九畝二十七歩ナルモ其水源ノ乏シキヲ以テ上流大溪村大字上喜來村上喜來普通水利組合カ日開谷川ヲ堰止メ引水シ居ルヲ以テ其水及水路ヲ利用シ同組合ノ非灌溉時期ニ於テ導水溜溜シ之カ對價トシテ上池組合ヨリ上喜來組合ニ對シ一ケ年入水料五十圓ヲ支拂フ慣習アリ近時之カ値上ケ問題起リ居レリ

六 阿波郡伊澤村

同村内ニ於テ用水供給ヲ受ケ對價ヲ支拂フモノ左ノ如シ

種別	所在地	所有者	灌溉面積	反當一ケ年入水料
溜池	伊澤村字西ノ岡一六九ノ一	久勝村 金山正次郎	一町二〇〇〇	石 六〇〇〇 三〇〇〇

同	同村字岡地三一九	伊澤村 三立次五郎外七名	二・七〇〇〇	米 三〇〇
同	同村字丸山一一二	兼松貞太郎		米 一五〇
同	同上二一六	割石清助	一・八〇〇〇	麥 〇八〇

右西ノ岡及丸山溜池ハ溜池所有者ト入水ヲ受クルモノト異ルヲ以テ入水者ヨリ溜池所有者ニ對シ入水料ヲ納ム故ニ池水ハ灌溉者自由ニ入水スル權利ヲ有ス

岡地溜池ハ池床ト灌溉地ヲ併セ所有スルモノト池床又ハ灌溉地ノ一方ノミヲ所有セル者及池床ヲ僅カニ所有スルモ灌溉地ヲ多ク所有シ居ルモノトアリ故ニ池床三畝十六歩ノ所有ニ對シ一反歩ノ灌溉權アルモノトシ池床所有ニ比シ灌溉面積廣キカ或ハ全ク池床ヲ所有セサルモノハ前表ノ割合ヲ以テ池床ヲ多ク所有セルモノ又ハ池床ノミヲ所有セルモノニ對シ入水料ヲ納メ居レリ

七 三好郡三庄村

同村大字中庄村内ニ於テハ水田二十四町歩ニ對シ反當灌水量トシテ一升乃至五升ヲ支拂フ慣習アル所アリ

香 川 縣

一 三豊郡二ノ宮村大字羽方地内ノ瀨丸池ハ今ヲ去ル百七十年前正保年間ノ築造ニ係ルモノニシテ灌

澆區域ハ同郡二ノ宮、本山、上高野ノ三村ニ跨リ其灌溉面積百四十六町歩ヲ支配セリ然ルニ讚岐三白ナル綿作及甘蔗作時代ノ變遷ニ伴ヒ收支相償ハサルニ至リ漸次之ヲ水田トナシ稻ヲ栽培スルニ至リタルヲ以テ貯水量ヲ多大ナラシメサルヘカラサルニ之カ水源タル山林ノ濫伐ハ年ト共ニ甚タシク土砂池内ニ堆積シタル爲メ水面積十一町歩ノ内四町歩ハ之カ上流ノ土地ヲ耕地整理ノ施行ト共ニ地區内ニ編入シ水田ト成シタリ故ニ下流タル本山村ハ今ヲ去ル貳拾年前上高野ハ十年前ヨリ共ニ年々歳々用水不足ヲ來シ到底充分灌溉水ヲ得ルノ見込ナキ口實ノ許ニ水利費用ヲ支拂ハサルニ至リタルヲ以テ右兩村ヲ池掛ヨリ除斥セリ

然ルニ明治四十二年耕地整理施行ノ結果池掛ハ四町歩ノ地敷ニ對シ一町歩ノ換地交付ヲ受ケタルニ依リ之カ收入ヲ年々得ルコト、ナリ水利費ヲ補ヒテ尙餘アルヲ以テ舊水掛タリシ上高野（灌溉面積百町歩）ヨリ更ニ加入方交渉シ來リシモ二ノ宮村ハ更ニ交渉ニ應セスシテ單ニ二ノ宮村ニ灌溉シテ餘水アル場合ニ限り分水シ居レリ是カ爲メ上高野ハ年々二ノ宮村水掛地主及小作人ニ對シ酒三斗五升ヲ交付スルノ慣習アリ

右ノ如キ慣行ヲ有スルモノハ頗ル多クシテ枚舉ニ違アラス

二 綾歌郡川西村地内ニ道池、金丸池、八丈池ノ三池アリテ同村内ニ於ケル耕地二百五十町歩餘ヲ灌溉セリ何レモ水源ハ村ノ北端ヲ貫流セル土器川ニ仰ケリ然シテ右用水ハ隣村垂水、郡家兩村ニ介在ス

ル溜池ニ満水スルニ非ラサレハ引水スル能ハサルニ依リ第一回ノ貯水ハ満水スルモ夏季旱天三、四十日ヲ連續スル時ハ貯水ハ遂ニ缺乏スルヲ以テ稻ハ枯死スルヲ免レス茲ニ於テ上流兩村ニ對シ酒、肴、素麵等（旱害ノ度ニ應シテ數量一定セス）ヲ支出シテ自村ノ溜池ニ引水スルノ慣習アリ然シテ此ノ附近ノ村ハ勿論本縣ニ於ケル流域狭キ溜池ハ凡テ斯ノ如キ慣習存セリ

三 木田郡奥鹿村ニ股池掛リ同郡井戸村字下屋敷部落約十七町餘歩ハ池用水以外ニ豊富ナル出水井戸ヲ有スルヲ以テ常ニ生スル餘水ヲ下屋敷部落以外下流地域六町餘歩ニ供給シ以テ水量十石ニツキ六錢乃至十四錢内外ノ對價ヲ支拂フ慣習アリ

四 木田郡三谷村三谷三郎池掛リ林村大字下林二十町餘歩ニ灌溉スルニ當リ之カ上流ナル坂ノ上村上田井等盜水甚タシク常ニ用水ノ缺乏ヲ告ク故ニ之カ補給ノタメ隣地香川郡太田村鹿ノ井出水及多肥村ノ池掛リヨリ餘水ヲ仰キ一反五十錢乃至五圓内外ノ對價ヲ支拂ヘリ下林部落ニ於ケル用水ノ不足ハ畢竟スルニ配水方法ニ付嚴正ヲ失ヘル結果ニシテ上流ニ置ケル盜水モ又慣行其ノ他到底防止困難ナルモノ、如シ

以上ノ徵收金ハ何レモ其收得セル部落ノ水利費ニ充當シ以テ水利費負擔ヲ輕減セリ

愛媛縣

本縣ニ在リテ用水ノ供給ノ爲メ對價ヲ仕拂フ實例ノ主ナルモノ左ノ如シ

番號	所在	目的	對價	區域ノ面積	備考
一	宇摩郡三島町及中曾根村	用水	九・七五 石毎年	一五・六〇〇	一反ニ付六升二合五勺
二	東字和郡具吹村大字鎌田	用水及土地使用	九俵半	九・五一五	諸水池主へ池新設費並永代地役權トシテ仕拂フ一反ニ付一俵(四斗二升)
三	北字和郡吉野生村北字和郡高木村大字和郡高木村大字	用水池樋口抜酬勞費	二六斗	一三・五〇〇	一反ニ付二升五合
四	北字和郡高木村大字	用水池樋口抜酬勞費	二斗六升	九・三〇〇	一反ニ付米二合八勺
五	北字和郡高木村大字	用水池樋口抜酬勞費	三・二	四・〇〇〇	同村内ノ三部落へ仕拂フ
六	北字和郡高木村大字	用水池樋口抜酬勞費	一三〇・六八〇	三六・三〇〇	一反ニ付三十六錢
七	久保郡荏原村大字中野	溜池灌漑井手湯地與内	八・八	二〇・〇〇〇	時價ニ換算シテ同村東方部落ニ仕拂フ
八	同郡拜志村	用水	八斗	八〇〇	新開田ニ對シ一反ニ付一斗ヲ徵收ス
九	伊與郡南伊與村大字下三谷	用水	五十圓 外ニ一回ニ付金 十圓ヲ仕拂フ	不詳	同郡北伊與村大字横田外三部落へ仕拂フ

對價ノ目的ハ總テ用水供給ノ爲ナリト雖更ニ細別セハ表中記セルカ如ク名義種々アリ又伊豫郡北伊豫村字神崎ニアリテハ同村大字出作ニ對シ賦米ノ外毎年田植見舞及土用見舞トシテ夏期二回、一回ニ付酒二斗肴代三圓宛ヲ贈與ス

用水引用ニ付土地引用料トシテ對價ヲ仕拂フ或ルモノハ會テ土地所有者合議ノ上水路ヲ通シ之ニ對シ

テ使用料ヲ仕拂ヒ居リシニ其ノ後水路ハ國有地ニ編入セラレタレトモ尙慣習上之ヲ仕拂ヒツ、アルモノアリ

高知縣

番號	所在	地積	對價	價	摘	要
一	安藝郡西分村	一二・四七二四	米	一・三七〇	同郡馬ノ上村ヨリ溝渠ニヨリテ引用セリ其敷地代并修繕費トシテ毎年上記ノ通仕拂フ	
二	同郡奈牛利村	・五五〇〇	一反ケ年	一・三五〇	旱魃ノ爲用水缺乏スル時ハ同村平部落ヨリ用水ノ供給ヲ仰	
三	香美郡美良布村	・三七〇〇	米	・三七〇	同村ニ於ケル大井筋ヨリ用水ノ分配ヲ受ケル爲仕拂フモノ	
四	同郡山田町	八〇・〇〇〇〇	米	四〇・〇〇〇	長岡郡南喜ノ峯ヨリ引水セルモノニシテ同所水利權者ニ對	
五	長岡郡久禮田村	一九・五〇〇〇	米	二・二三六六	上記地積ニ引水セル溝渠新設ノ際ハ損害ヲ與ヘタル向ニ對	
六	土佐郡一宮村	二〇・四四一五	米	・五五〇	同郡奈村ヨリ用水ノ供給ヲ仰ク爲其對價トシテ毎年仕拂フ	
七	同郡下知村	三〇・〇〇〇〇	米	一・一九五四	同郡江ノ口町ヨリ水路ニ依リテ引水ス其水路敷地料トシテ	
八	同郡同村	七〇・〇〇〇〇	米	〇・六六六	前同様ニ給水ヲ受ケ其借地料トシテ仕拂フモノナリ	
九	吾川郡弘岡上ノ村	四・六二一八	水路一坪ニ對シ米一升乃至二升	七・九八〇	上記地積ニ對スル引水路四ヶ所ニシテ水路敷地代トシテ支	
一〇	吾川郡諸木村	三・六九一五	金	四・八〇	弘岡大井筋ヨリ引水セル爲水路敷地代トシテ仕拂フモノナ	
一一	高岡郡東又村	一二・七〇〇〇	米	・四八〇	同村奈路部落ヨリ用水ノ供給ヲ仰キ其水路敷地代トシテ上	
一二	同村	一〇・〇〇〇四	米	・二六〇	同村奈路部落ヨリ用水ノ供給ヲ仰ク爲仕拂フモノナリ	
一三	幡多郡三崎村	一二・〇〇〇〇	米	二・三〇〇	旱魃ノ際他部落ヨリ用水ノ供給ヲ仰ク爲其對價トシテ仕拂	

福岡縣

- 一 三潞郡荒木村大字下荒木北部(荒木川以北反別五十町步)ハ同村大字荒木ノ東南部ヨリ用水ノ供給ヲ受ケツ、アルヲ以テ毎年若干ノ對價ヲ大字下荒木關係地主ヨリ大字荒木、古賀、豆塚へ支拂ヘリ
- 二 鞍手郡福地村大字不動ニ上下、下原及同村大字永滿寺字上原上下ノ溜池ハ同村福地川ノ水源地タル同村大字畑ニ用水路ヲ設置シ給水ヲ仰ケルヲ以テ同大字ニ對シ辯米二十四俵ヲ支拂フヲ例トス
- 三 筑紫郡堅粕町大字馬出、堅糟、西堅粕、比惠ハ同郡内ヲ貫流スル那珂川(那珂村大字竹下地内)ニ堰ヲ設ケ河水ヲ引用セルカ其水路ハ同郡那珂村ヲ貫通セル爲藩政時代ヨリ溝床米ト稱シ關係地タル同村大字東光寺ニ對シ米一石四斗六升ヲ支拂ヘリ而シテ溝床米ノ負擔割合ハ前記ノ米量ノ三分ノ一ヲ比惠堅粕トシ三分ノ二ヲ西堅粕、馬出ニ於テ負擔スルヲ慣習トセリ此灌溉面積ハ前記各大字ヲ通シテ三百七町六反步ナリ
- 四 三潞郡犬塚村玉滿ノ内小犬塚、大犬塚、部落百六十五町步餘ハ同郡荒木村ニ對シ配水路敷地料トシテ米四斗一升五合ヲ支拂ヘリ
- 五 粕屋郡志免村大字志免ニ於テハ同村大字吉原ニ對シ溜池用水溝敷辦米トシテ毎年金三圓三十錢ヲ支拂ヘリ

大分縣

- 一 宇佐郡安心院村大字上市及折敷田約六十町步ニ用水供給ノ爲同郡龍王村大字龍王大佛安心院村大字木裳ニ對シ年々玄米三十俵ツ、并ニ安心院村大字原ニ於テ田約六町步ニ用水供給ノ爲同村大字飯田ニ對シ金四拾圓宛出金シ其他八幡、驛館、和間ノ各村ニ於テ略同様ノ對價ヲ支拂ヒ居ルモノアリ
- 二 西國東郡中真玉村字西畑小迫ニ於テ明治十七年頃溜池ヲ築造シ田反別三反八畝步ノ灌溉用水ヲ供給シ每一反步ニ付玄米二斗宛ヲ徵收スルノ慣習アリ
- 三 下毛郡鶴居村大字相原字坂手ノ下四町八反步ノ開墾地ハ慶應年中真坂村大字佐知ニ於テ荒瀬井堰餘水ノ供給ヲ仰キ水田トセシモノナルカ開墾當時即チ舊藩時代ニテハ何等ノ對價ナカリシモ明治二十四年ヨリ大字佐知部落ヨリ故障ヲ申立テ爾來一ケ年玄米八斗ツ、ヲ支拂ヒ居レリ
- 四 玖珠郡飯田村字千町無田地積百五十町步ニ於テハ井路株ナルモノアリ田五反步ヲ以テ一株トシ新ニ加入、用水ノ供給ヲ受ケントスルモノハ壹株ニツキ五圓ヲ出サシメ其他修繕料トシテ壹ケ年壹反步ニ付夫役壹人ヲ負擔シ同郡野上村字後野上田三拾町步ハ小破修繕費トシテ自作者小作者ノ別ナク一ケ年一反步ニ付夫役一人ヲ負擔シ大修繕ノ場合ニハ地主ニ於テ負擔スル慣行アリ
- 五 直入郡地方ニテハ一定ノ對價ヲ支拂フノ例ナキモ一般ニ水源地方ノ人民ニ對シ任意酒肴ヲ贈ルノ

慣習アリ

六 日田郡三芳村大字日高新井手ヨリ供給ヲ受クル區域ハ大字北豆田字城内下、城内、字南豆田大字竹田ニシテ其反別百二十町步對價トシテ孰レモ井堰破損ノ程度ニヨリ修繕費ヲ毎年反別ニ應シ實費ヲ負擔セシメ居レリ

七 大野郡三重町大字秋葉、字肝煎區ハ田拾五町步ニ對シ同町大字同字羽飛區共有溜池ヨリ用水ノ供給ヲ仰ク爲メ毎年玄米壹石六斗ヲ支拂フノ慣習アリ又同郡ナル川登、百枝ノ兩村モ略同様ノ慣習アル箇所アルモ大同小異ナリ

佐賀縣

一 東松浦郡久里村大字黒岩字下石原外四字田面積拾八町步餘ニ灌溉スヘキ用水ハ元祿十一年五月頃ヨリ同村大字伊岐佐岩淵井堰ヨリ二百間餘ノ溝渠ニ依リ灌水シ之カ對價トシテ毎年玄米四石ヲ支拂ヒ來リタルカ明治九年地價修正ノ際協定ノ上大字伊岐佐ヘ玄米八俵(一俵參斗四升)ヲ支拂フコトニ改メ現今ニ至レリ

二 佐賀郡嘉瀬村(田面積約五百九拾六町步餘)ニ於テハ隣村鍋島村大字八戸ニ設ケタル井樋ヲ開キテ灌溉水ノ供給ヲ仰ク爲メ毎年金參拾參圓(人夫百十名ニ對スル賃金)ヲ支拂フノ慣習アリ

熊本縣

番號	所	在	區域面積	對價	備	考
一	飽託郡海路口村、島口村		百二十町步	反當三升乃至五升(玄米)	用水供給	
二	宇土郡轟村大字石橋、栗崎地内		四拾町步	幾分ノ酒肴ヲ贈與	同	
三	玉名郡大野村大字野口		十七町步	反當六十錢	同	
四	同郡高道村大字山下、高道		十三町步	反當六十錢	同	
五	同郡鍋村大字扇崎		五十七町步	反當六十錢	同	
六	同郡腹赤村大字腹赤、上沖洲、清源寺		四十七町步	反當八十錢	同	
七	鹿本郡八幡村熊入		二十一町步	全部ニ付	同	
八	同郡同村大字下吉田		五町步	一圓五十錢	同	
九	同郡米田村大字南島、長坂		二百十五町步	六圓	同	
一〇	同郡千田村大字奥永		三十六町步	玄米二石	同	
一一	同郡同村大字久野		三十町步	玄米八斗	同	
一二	同郡同村大字		八町步	玄米四斗	同	
一三	同郡同村大字元廣		八町步	金二圓五十錢	同	
一四	同郡大道村大字方保田		三十一町步	金十九圓五十錢	同	
一五	同郡田底村大字葦原		三町步	玄米二斗八升	同	
一六	同郡同村大字田底		二十町步	玄米一石三斗七升	同	
一七	阿蘇郡内牧村大字小野		六十町步	玄米九斗	水番給トシテ	

一八	阿蘇郡白水村大字兩併	二町四反步	玄米一石八斗九升	用水供給
一九	下益城郡守富村大字榎津	百町步	金三十圓	同上
二〇	同郡豐川町	六十町步	酒一斗位	用水取入十時間位ニ對シテノ對價
二一	同郡河江村大字住吉	六十町八反畝步	玄米一石六斗	用水供給
二二	八代郡鏡町大字野崎	百五十町步	玄米八石	同上

八十四

球磨郡湯前村、岡原村、多良木村、免田村、一武村、西村等ニアリテハ新規開田ノ場合、加入金トシテ最初反當金五圓ヲ球磨川ニ依ル水利組合ニ納メ地目變換又ハ開墾ヲ行ヘル反別凡五百町步アリ

宮崎縣

郡名	村名	大字名	簡所名	區域ノ地積	對價	附記
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	柳原	四〇・二二八	二五・三八〇
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	清水架堰用水掛	四六・〇〇〇	反當玄米七升
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	下長谷堰掛	一一・〇〇〇	四升
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	新堰掛	五・四六〇	六升
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	島鶴堰掛	七・五一九	六升
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	下島鶴堰掛	九五・二二〇	六升
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	向井町前上堰掛	四一・八〇〇	三升六合
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	下堰掛	七・五〇〇	六升五合
東諸郡	湯倉	納岡	吉野	寺廻池掛	七・四二〇	六升

郡名	村名	大字名	簡所名	區域ノ地積	對價	附記
東白杵郡	湯	三	納	大山田地	一九・一五一〇	一升二合
東白杵郡	湯	三	納	高野後堰掛	一〇・〇〇〇	六升
東白杵郡	湯	三	納	高野下堰掛	一三・五〇〇	一斗五升
東白杵郡	湯	三	納	高野池掛	一九・八七二九	三升
東白杵郡	湯	三	納	平郡池掛	一六・〇〇〇	一斗二升
東白杵郡	湯	三	納	子	一一・〇〇〇	一斗二升五合

備考 東白杵郡東海村大字祝子字大野ノ地ハ明治八年酒井茂四郎津田彦藏ニテ用水路ヲ開墾シ當時一反步ニ付水料玄米三斗(反當リ)ヲ徵收セシメタル習慣ナリシヲ明治二十七年酒井茂四郎ノ持分ハ大野部落ニ寄付シ水料ノ取立ヲ止メ以來津田彦藏ニ對スル分ノミ玄米一斗二升五合(反當リ)ニ減少徵收スルノ習慣今尙之レアリ

鹿兒島縣

- 鹿兒島郡吉野村下田ニ於テハ用水ノ供給ヲ受クル爲メ一反步當リ六拾錢ノ對價ヲ支拂ヒ居ルモノ約廿八町步アリ其ノ他同村內ニテ廿五錢乃至四十九錢ノ對價ヲ支拂フモノ約三十町步アリ
- 同郡中郡宇村ニテハ各字共ニ地價壹圓ニ付壹錢八厘ノ對價ノ支拂ヲナシ居レリ
- 鹿兒島郡以外ニ於テモ對價ヲ支拂フモノ數ヶ所アリ何レモ一反步二三拾錢ニシテ中ニハ一反步玄米二三升ツ、ヲ支拂フモノアリ

沖繩縣

八十五

各項ニ渡リ該當事項ナシ

第二 用水ノ分配ニ關スル慣習ニシテ適當ナリト認ムル實例

北海道

- 一 空知郡岩見澤町川向土切組合ニ於テ灌溉水量ニ不足ヲ生スル場合ニ於テ用水ノ分配ヲ公平ナラシムルカ爲メニ水路ノ上下流ヲ二分シ隔日ニ灌溉使用セシム之レ適當ノ方法ト認ム
- 二 上川郡東旭川村ニ於テ土切組合ニ給水掛ヲ置キ用水取入ニ於テ適當ニ按排シ又時々組合役員實地ヲ巡視シテ其適否ヲ監督シ以テ用水ノ分配ヲ適當ナラシムルノ方法ヲ採レリ

東京府

- 一 南足立郡本郡ニアリテハ明治三十年頃ヨリ綾瀨川以西用悪水路普通水利組合會ノ協議ニテ各堀四十八時間宛順次ニ用水ヲ分配スルノ方法ヲ定メ之レヲ刻割當水ト稱シ紛争ヲ生シタル事ナシ

京都府

- 一 愛宕郡修學院村

本村内ノ大部分ハ京都市内ヲ流ル、鴨川ノ支流タル高野川ニ井堰（太田堰ト稱ス）ヲ築キテ引水シ年々百圓以上ノ修繕費ヲ投シテ保護シツ、アリ而シテ去ル明治三十四年陥落ノ際ノ如キハ四千餘圓ノ經費ヲ投シタリシカ其賦課ハ全部ヲ一乗寺區ハ三分ノ二田中村ハ三分ノ一トシテ負擔シ居レリ然ルニ旱天ノ場合ニ在リテハ上流ナル高野區及修學院區ノ田面ハ灌溉隨意ナルモ下流ノ兩地區ハ番水ヲ定メ經費ノ負擔ニ準シ一乗寺區ハ二十四時間田中村ハ十二時間ト定メ此以外ニ通水ヲナサス（第一項表參照）

- 二 愛宕郡靜市野村

本村大字市原ハ明治三十年頃ヨリ同部落内ノ小字中林、横山、宮ノ後、宮ノ前、木戸口、瀬戸、中在地西野ニ存在セル田地ニ對シ插秧後部落ニ於テ八人ノ委員ヲ選舉シ毎日其當選者一人宛交代ニ用水ヲ分配ス其期間ハ八月三十一日迄トシ所有田地一反歩ニ對シ玄米一升ヲ徵收シテ其委員ニ分配ス但シ其徵收時期ハ各々稻收穫後ナリトス

- 三 相樂郡棚倉村

大字平野中垣内ト稱スル地區凡ソ二十町ニ於テハ旱天ニ際シ用水缺乏ノ場合ハ番水ト稱シテ秩序アル方法ニヨリ用水路ノ末流ノ田ヨリ灌溉シ始メ次第ニ上流ニ及ホシ耕作人輪番ニ看守ス、新開田ノ如キ水利權ヲ有セサルモノハ假令其水路ニ沿フタル個所ト雖トモ灌溉スル事ヲ禁ス

四 同郡笠置村

大字有市ニ於テハ水田十三町八反歩ニ灌溉スル耕作人中ヨリ輪番ニ一人宛水番人ヲ出シ一晝夜ヲ六回ニ分チ即チ四時間交代ニテ各稻田ニ灌溉スルコト、ナシ居レリ

五 南桑田郡旭村

南桑田郡旭村及隣村ナル船井郡富本村ノ内大字青戸、屋賀、共有溜池ハ明治二十九年嵩置工事ヲ行フニ當リ旭村ノ内仰地及富本村ノ内青戸ノ二部落ハ由來大旱害地ノ故ヲ以テ多大ノ負擔ヲ以テ多クノ水利權ヲ取得シ又宇杉部落ハ其權利小ナルヲ以テ早魃ニ際シテハ水量ノ不足ヲ告ク可キコトアラシモ各部落ハ其ノ水利權ノ多少ニ關係セス皆平等ニ引水スルノ美風アリテ之カ一種ノ慣習トナリ爲メニ早魃ニ際シテモ至極圓滿ナリ

六 同郡千歲村

大字江島里ハ插秧期ニ於テ多量ノ用水ノ必要ナルカ故ニ此期間中ニ水割規定ヲ設ケテ全水田ヲ一、二、三番ニ分チ部落内ニ於テ適任者ヲ選舉シ以テ順次灌溉ヲナスノ慣習ナリ

七 南桑田郡曾我部村

大字春日部及寺トノ間ニ於テハ大字寺櫻峠ヨリ流出スル溪水ノ春日部ハ六分、寺ハ四分ノ率ニヨリテ分配シツ、アリ是レ天明時代兩大字間ニ於テ訴訟事件起リ春日部ノ勝利ニ歸シタルニ仍リテナリ

八 船井郡園部村

各部落池水ノ灌溉期ニ際シテハ水番ナルモノヲ設ケ之レニ一般ノ權利ヲ與ヘ以テ適當ニ用水ノ分配ヲ勉メ居レリ慣習トシテ適當ナリト認ム

九 天田郡庵我村

同村大字中小字河谷ニ今ヨリ五十年前築設セル溜池アリ其用水ハ同村大字中及大字池部兩部落ノ耕地ニ分配供給絶セラル、モノニシテ之カ分配方法ハ樋口ニ定不水門ヲ設ケ池部四分五厘中五分五厘ノ比例ニテ分配シ各耕地ニ於テモ諸處ニ水門ヲ設ケテ灌溉面積ニ應シ平等公平ニ分配スルヲ以テ極メテ公平適當ナリ

一〇 加佐郡池内村

本村ニ於テハ用水不足ヲ告クル時ハ水番或ハ線香番ト稱スルモノヲ使用ス水番ハ田反別ノ多少ニヨリ一日又ハ半日交替ニ水ノ監督及灌水ニ任シ全田面一齊ニ灌溉スルヲ以テ嘗テ紛争ヲ來セシ事ナシ線香番トハ灌水時間ヲ線香ノ燃燒時間ヲ以テ計算スルモノナリ

一一 同郡倉梯村

本村ニ於テハ溜池ニ人夫ヲ置キ希望ニ應シテ灌溉シ其人夫賃ハ灌溉反別ニ割當テ、徴收ス又堀割用水ニヨリテ灌溉スルモノニアリテハ其堀割ニ附隨セル田ヲ數區ニ區分シ關係者半日宛交替灌溉ス

一二 同郡神崎村

本村ニ於テハ各大字ヲ一組トシ稻插秧後ハ終日人夫二名ヲ以テ田毎ニ順番ヲ定メ用水ヲ分配スレトモ沼及溜池ニ於テハ便宜組合ヲ設ケ水車ヲ以テ灌水ス又排水ヲ講スレハ利益ヲ受クヘキ個所アルモ夏期ノ灌漑水缺乏ノ結果一般ニ冬期田面ニ貯水スルノ慣習アリ

一三 同郡東雲村

大字上東下東約五町歩ノ地ニ於テハ毎年稻插秧取水田ニ貯水スルノ慣習アリ其賠償トシテ一反歩ニ付約三十錢ツ、ヲ支出シツ、アリ

一四 與謝郡府中村

植付前ニ於テ灌水ヲ公平ナラシムル目的ヲ以テ各字ニ役員ヲ設ケ番水ヲ爲サシムル慣習アリ

大 阪 府

一 溜池

各溜池ニ池守ヲ置キ灌漑區域毎ニ水利員又ハ水利擔當員等ノ水入役ヲ設ケ之レカ監視ノ下ニ日時ヲ定メ水引人夫ヲ使役シ田面水量ノ過不足ヲ參酌シ法上ヨリ順次法下ニ公平ニ灌水シ之カ爭奪ヲ防キ作人ヲシテ一意耕作ニ從事セシム

二 河川

川法ニアリテモ前記同様水入役ヲ設ケ川井堰ニ依リ用水ヲ貯ヘ各水入擔任者ハ井堰ニ會合シ反別ノ割合ニ依リ各自擔當ノ溝渠ヲ通シ引水シ來リ更ニ溝渠ノ分岐點並ニ各田地ノ水口ニ度木ト稱スル分水器ヲ伏セ込ミ手指等ヲ以テ水量ヲ計リ平等ニ各田面ニ灌漑スルモノトス右等ノ實例ハ泉南、泉北、北河内郡ニ現存ス

兵 庫 縣

所在地三原郡

(1) 貯池ヨリ用水ノ分配ヲ爲サントスルトキハ豫メ表旗ヲ各人ノ見易キ一定ノ場所ニ立テ貯水池ノ用水分配中ナルコトヲ知ラシメ此間水引人夫ヲ附シ田毎ニ用水ノ灌漑ヲナシ水引人夫ノ外一切何人モ引水ニ手ヲ下スコト能ハサル慣習ニシテ固ヨリ之ノ制度ヲ守ラス背ク者ハ其部落ニ於テ相當ノ制裁ヲ加ヘラル、コト、ナレリ

(2) 各耕地反歩ニヨリ灌漑時間ヲ附シ其部落中央ニ一定ノ時計ヲ設置シ灌水時刻ヲ定メ所定ノ時間來レハ次ニ灌漑スヘキ作人ト立會ノ上水口ヲ開閉シ灌漑スルノ方法ナリ

長 崎 縣

一 北松浦郡福島村ニ於テハ溜池ニ依リ灌溉スルモノハ明治三十年頃ヨリ其灌溉區域内ニ一名乃至三名ノ水番ヲ選任シテ稻植付ヨリ秋彼岸迄田地水量ノ加減ヲナサシム其ノ結果良好ニシテ熱心ナル水番ヲ得タル區域ニ於テハ灌溉ヲハ毫モ心配ノ點ナク且水利ニ關スル爭論生シタルコトナシ水番ハ毎年選舉シ日給又ハ年手當ヲ給ス

二 東彼杵郡上彼佐見村ニ於テハ舊藩時代ヨリ藩主ノ精密ナル調査ノ下ニ溜池堰等ヲ修築シ溝渠、切間、樋等ヲ設ケテ用水ノ分配排水ヲ適當ニシ現今ニ至ル迄テ故障ナク實行シツ、アリ其實例ヲ舉クレハ

(イ) 同村内折敷瀬田面灌水スルニハ井名郷ニ大ナル溜池ヲ築キ波佐見川ノ流水ト相俟テ灌溉水ヲ適當ニ行フ

(ロ) 村内宿郷田面ニ灌水スルニハ波佐見川流域折敷瀬郷ニ堰ヲ設ケ又同郷及村木郷ニ溜池ヲ築キ延長數十間ニ亘ル溝渠ニヨリ引水シ谷地區ニ數個ノ溝渠ヲ設ケテ灌排水ヲ便ナラシム

三 南高來郡ニ於テハ古來ノ慣行ニ依リ自然的ニ若ハ量石ヲ設定シ普通ノ分配ヲ爲シ、別段不適當ト認メス就中神代村ノ如キハ用水ノ灌挑甚タ宜シキヲ得タリ其ノ沿革概要及規程甲第七項ニ記載ス

新 潟 縣

佐 渡 郡

(1) 新穂村ニ於ケル新穂川ノ用水支配區域ハ約六百町歩ニシテ其ノ分配ハ瓜生屋、井内、北方、上新穂、下新穂、長畝、青木ノ諸部落耕地へ五日目毎ニ一巡シ大野川ニ依ル支配區域ハ約五百町歩ニシテ新穂村大字大野、皆川、舟下、武井、畑野村目黒町、新穂村下新穂、北方、下大野、根本等ノ諸部落耕地ニ九日目毎ニ一巡スルモノニシテ何レモ其ノ分配方法ハ用水源ノ水量ト支配反別トニヨリ打算シ適當ニ分配セラレタルモノト謂フヘシ又北蒲原郡佐々木村大字西簀口大字飯崎大字下興野ノ一部ニ於テハ乙見江用水路關係反別ニ依リ一巡三晝夜或ハ五晝夜トシ時間ニ制限ヲ定メ番水法ヲ以テ適當ニ分配ヲ爲シツ、アリ

埼 玉 縣

北 埼 玉 郡

一 下忍村大字下忍上分ノ一般用水ノ供給ハ持田村大字持田地内上忍川(元成田堰用水)ヨリ分配々水適當ナリ排水ハ本村大字袋ヲ經テ元荒川ニ排除ス是又適當ト認ム大字下忍下分一般用水ノ供給ハ持田村大字持田ノ排水路古川ヲ未ニシテ大字下忍上ト相對スル大字下忍字京田ニ堰梓ヲ設ケ分配灌溉スルモノニシテ適當ト認ム排水ハ大字袋地内ヲ經テ元荒川ニ濺ク一部ノ低地(面積九町)アリ排水困

難ナルモ他ニ好方法ナシ

二 大越村現ニ存スル用水ノ分配ニ付テハ稻子用水路ノ堀巾ヲ擴ケ同時ニ浚渫ヲナシ用水汎濫ノ個所ハ堤塘ノ修繕ヲナシ又村君村大字上村君地内ニ現存シ居ル(彌勤一口)以口ヲ是ニ要スル水田ノ支配面ニ相當ナル以口ニ縮少セハ從テ水量ノ放流ヲ増加シ得ルニ適當ナル方法ト思考セリ又排水ノ方法ニ就テハ殘餘ノ分ハ放流セリ

比 企 郡

三 八ツ保村ニ於テハ兩三年前ヨリ用水分配ニ關シ各大字重立者ハ役場員ト協議ヲ遂ケ最モ公平ニ分配ノ方法ヲ講シ個人ノ自由行動ヲ許サ、ルコト、シ湯水ノ際ハ役場ニ於テ指揮監督ノ上番水ノ法ヲ以テ其ノ分配ヲ行ヒ其結果甚タ良好ナリ此事タル古來行ハレ來リシモ近時個人主義ノ發達ニ伴ヒ何時トナク廢シタルモノ、如シ此ノ方法ニシテ圓滿ニ行ハル、時ハ用水ヲ節約シ均等ニ分配スルコトヲ得各自カ勞力ヲ徒費スルナク且謂所水論ヲナシ紛騷ヲ醸スカ如キ事ナク從テ民風ヲ醇良ナラシムル等効果大ナリト認ム但シ水路他村ニ涉ルトキハ其交渉容易ナラス又村内ニ於テモ役場吏員重立者ニシテ信用ナクシハ其ノ命令ニ反抗シ却テ騷擾ヲ來ス場合ナキヲ保セス故ニ之カ指揮監督者ニ適任者ヲ得ルコト最モ肝要ナリトス

大 里 郡

四 其他一般用水ノ分配及排水ノ方法ニ付テハ湧水ノ際ハ上流ヨリ下流ニ及シ平時ニ在テハ下流ノ水量ヲ標準トシ右堀筋ノ水量ヲ按排シ灌排共ニ下流ヲ標準トシテ樋管ノ按配ヲナスノ慣習多ク適當ナリト認ム

群 馬 縣

勢 多 郡

一 富士見村内ニ於ケル用水分配ノ方法ハ先ツ上流河川ヲ堰止メ之ヲ水田地積ニ比例シテ順次各方面ニ分水ス而シテ此ノ分配セラレタル用水ヲ各自ノ持田ニ灌漑スルニ際シテハ其ノ取入口ニ其ノ面積ニ比例シテ用水ノ通スヘキ凹所ヲ有スル徑五、六寸ノ丸太ヲ横ヘ以テ其ノ水量ノ公平ヲ保テリ此ノ丸太ハ各自ノ協議ニ依リ調製セラレタルモノニシテ之ヲ變更スルニ付テハ更ニ一同ノ協議ヲ要スヘキモノトス而シテ一朝用水ニ不足ヲ生シタル場合ハ下流持田ノ者順番ニ上流ヨリ水量ヲ集メ引水スルモノニシテ其ノ引水中(引水ノ爲メ集水中)中間ニ於ケル持田ノ者ハ決シテ自己ノ水田ニ引水セサル慣習ナリ

多 野 郡

二 美九里村ニ於テハ左ノ定書ニ依リ用水ヲ分配シ居レリ

定 書

第一條 分水路ヲ分チテ二類トス 第一田方用水 第二平素流水

第一 田方用水 阿保領外堰五分五厘ノ事

第二 平素流水ハ第一分水ト相違モ有之候得共阿保領外堰ハ吞用水多分ニ付 阿保領外堰七分ノ事

但兩堰ノ内一方不足ラ生シタルトキハ第九條ノ明文ニ依リ分水法ヲ更正シ分合増減可致事

第二條 湯水ノ節分水日限ハ最急務ニ付今日申出ノ翌日速ニ分水致スヘキ事

但分水場所ハ岩穴上ニ於テ年々便宜ノ場所ヲ見立分水可致岩穴上ノ義双方現ニ溝ヲ作り溝幅阿保領外堰四間五尺三寸九郷堰四

間同數ニ相定ムヘキ事

第三條 平素並ニ分水ノ節岩穴下五十間同數ノ致シ尤同數ニ掘立方不都分ノ節ハ本川及九郷堰ヲ不論双方協議ノ上深キ方ヘ石籠

或ハ適宜ノ物品ヲ以テ埋立同數ニ可致事

第四條 水量法ノ儀ハ前條五十間以內本末中央三ヶ所(九郷)堀數巾四間ノ場所左右共定杭二本宛長四尺但五寸容易ニ不動様可致

本川ノ義ハ變瀬モ度々有之故水量ノ際假標ヲ以テ右水量ニ準シ本川三ヶ所ヘ土俵ヲ以テ川數幅四間五尺三寸ニ補理可致事

附、岩穴上ノ義ハ築壩シ中土手ハ勿論凌立都テ双方立會ノ上取計一方ニテ自儘ノ手入決シテ致間數事

第五條 水量便宜ノ爲備岩外面ヘ水量實測ノ標的方二寸數ヶ所ヲ彫付置キ右標的ヨリ水繩ヲ以テ高低相量リ分水ノ際ノ便ニ可充

事

第六條 第四條附言中土手定杭入費ハ悉皆九郷堰ニテ出金ノ筈且本川入費ハ阿保領ニテ出金可致事

第七條 同數五十間以內ヨリ凌立ノ義ハ相互勝手可爲併分水申出日限ヨリ分水相濟候迄ハ相互ニ凌立致間數候事

第八條 岩穴幅員左ノ末紙圖面ノ如シ

但上口ニ限リ口枠ノ義ハ自然材木等打當リ破損シ安キニ付此害ヲ防クカ爲ナリ

右ノ外一切手入等致間數若シ欠崩シ又ハ押埋候義有之凌立等致度節者阿保領立會ノ上手入可致事

附、岩穴欠崩シ圖面ノ尺度ニ相違致候節者速ニ板張其ノ他適宜ノ物品ヲ以テ本形ニ修繕可致且入費ハ九郷堰ニテ一切出金ノ事

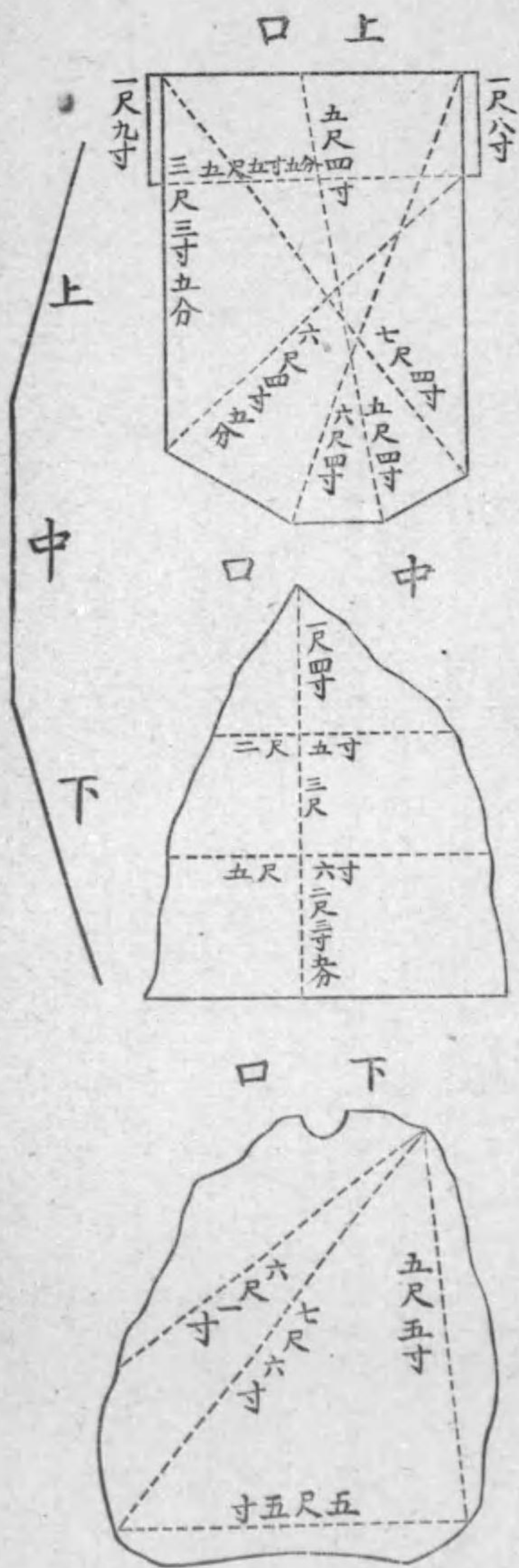
岩穴圖面

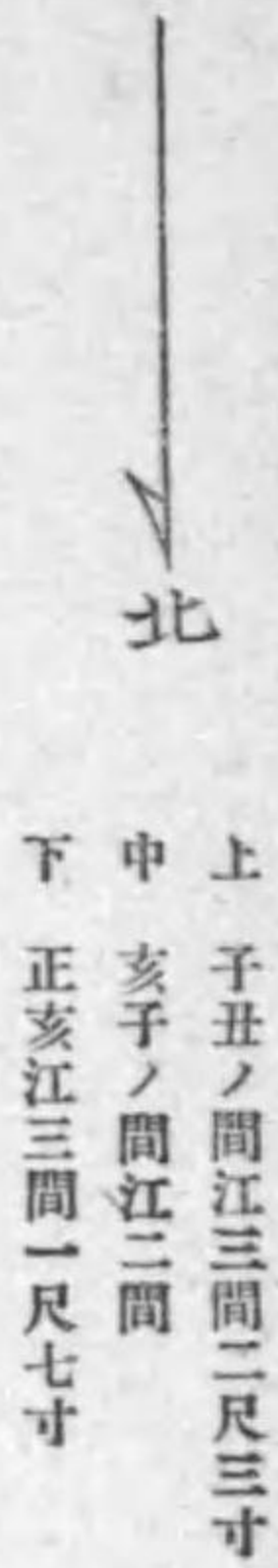
第九條 前條々相互ニ眞義ヲ旨トシ確守可致者勿論雖然右分水法ニ於テ非常湯水ノ節自然一方不幸ヲ生シ田方用水同一ニ潤澤不致節者速ニ分水法ヲ更正シ歩合増減致兩堰公平ニ配水相成候様改更ニ再約双方聊タリトモ損益無之様可致事

但本文定約ニ於テ尙又後日双方至當ヲ難得節ハ備岩下ニ於テ堰口水路相改メ總テ享保年間兩度ノ爲取換議定ニ歸戻可致事

右之通雙方再談行届候處相違無之依之連署捺印之上定約爲取換備後設置候也

明治十四年六月四日定





多野郡

三 矢場村外二ヶ村ニ於テハ左ノ定書ニ依リ用水ヲ分配シ居レリ

- 一、水利法ノ儀ハ從前取極ノ通苗代以前ハ矢場村東平井村兩村溜井水引入三本木村ニテハ居前筋又ハ原田耕地へ水引申問數候事
- 二、苗代時ヨリ三本木村ニハ水引入矢場村東平井村兩村溜井ニ水無之節ハ三本木村田方植付相濟ム上矢場村東平井村植付中晝ノ内ハ右兩村溜井中へ水引入夜分ノ儀ハ三本木村田方養水ニ引入可申右三ヶ村田方植付相濟ノ上ハ三本木村ニテ晝一日矢場村東平井村兩村ニテ晝一日夜分ノ儀ハ毎夜三本木村ニテ水引可申事

多野郡

四 多胡村大字鹽村、東谷村及大澤村聯合第三耕地整理地區ニ於テ耕地整理施行ノ爲大澤川ノ流水ヲ引用スルニ付下流大澤川關係神保堰及下長根堰ト協議スルコト左ノ如シ

- (一) 第三耕地整理地區ニ於テ現在ノ田及耕地整理ノ爲新ニ田トナリタルモノニハ耕地整理完了ノ後ハ大澤川ノ河水ヲ引用シ灌溉スル事
- (二) 第三耕地整理地區ニ於テ大澤川ノ河水ニヨリ灌溉スルモノハ毎年六月二十五日迄ニ必ス挿秧スルモノトス
- (三) 第三耕地整理地區ニ下流ニ於テ大澤川ニヨリ灌溉スル水田ニ用水缺乏ノ際ハ下流堰々ノ協議ヲ以テ第三耕地整理地區ノ用水

引入ヲ制限スルコトアルヘシ

- (四) 第三耕地整理地區ニ於テ引用ノ爲下流々堰ニ用水缺乏ノ事實明カナルヲ下流堰々ニ於テ認メタルトキハ第三耕地整理地區ハ其ノ負擔ヲ以テ補水ニ適スル溜池ヲ新設スルモノトス
- (五) 大澤川ノ河水ニ關係スル灌溉工事ヲ爲サントスルトキハ總テ下流關係者ノ協議ヲ要スルモノトス

利根郡

五 白澤村大字下古語父村及上古語父村ニアル實例

同郡川場村大字中野ヨリ引入白澤村大字下古語父村ニ於テ分水シ田ニ灌溉スルモノ數ヶ所アリ其ノ分水所ノ設備トシテハ水門ニ穴ヲ穿テ流水ヲ落スニアリ而シテ穴ノ寸法ハ關係者一同協議ノ上決定セラレタルモノニシテ之ヲ變更スルコトナシ從而旱魃ニ於テモ物議ヲ醸シタルコトナシ

新田郡

六 生品村内ニアル實例

用水分配口ニシテ待堰用水路ノ支流長堀ト稱スル水路ニ在リテ生品村ノ内大字小金井樋ト稱スルハ樋管ヲ水路底ニ伏込ミタルヲ以テ少量ノ水ハ全部流入シ其ノ下流ナル大字村田村大字市野村ハ灌溉上常ニ困難ヲ極メツ、アルモ從來ノ慣習上之ヲ改造ヲ爲スヲ得ス故ニ救濟ノ方便トシテ其ノ上流ニ於ケル數多ノ樋管ニ水棚(俗ニ矢來ト云ヒ樋管ニ流入ヲ制限スルモノ)ヲ施シテ水量ヲ増シ尙本樋口ニモ水棚ヲ設ケ旱魃部落(大字村田村、同市野井村)ノ潤澤ヲ圖レリ

千葉縣

一 君津郡小櫃村及久留里町ニ互ル水田四百餘町歩ニ對スル灌溉用水ハ小櫃村字長谷川及久留里町字大谷ノ二ヶ所ニ石造堰柵ヲ設置シ以テ用水ヲ引用セリ舊幕時代ハ時ノ領主管理經營セシカ明治初年ヨリ專ラ民營ニ移リタルカ爲メ永ク爭訟ノ斷ユルコトナカリシモ明治三十四年漸ク解決ヲ告ケ用水ノ分配ハ水量器ニ依リ最モ嚴正公平ニ配分セラレシカハ全區域ニ涉リ過不足等ノ不都合ナク最モ經濟的ニシテ至極圓滿ニ實行セラレツ、アリ

二 香取郡古城村ニ長熊溜池及大岡溜池ノ二アリ約百七十町歩ノ水田ニ灌溉セリ其ノ灌溉方法ハ毎年溜池ノ水量ヲ測定シ之ヲ耕地ニ按分配當セリ（甲區何尺何寸、乙區何尺何寸）其ノ實行上ノ狀態ヲ見ルニ何レモ過不及ナク至極公平ニ且ツ平穩ニ執行セララル

茨城縣

一 江連用水普通水利組合ノ管理ニ屬スル江連用水ハ栃木縣芳賀郡長沼村大字西大島地先ニ於テ鬼怒川ヨリ夏季毎秒時百立方尺ヲ引入レ結城郡石下町外八ヶ村千六百五十町歩ヲ灌溉スルノ目的ヲ以テ經營セラレタルモノニシテ又取入口ヨリ下流約六里眞壁郡下妻町地ニ在ル砂沼ハ同町外二ヶ村約三

百町歩ニ對スル水源ナリ然ルニ中古兩者ノ合意ヲ以テ水利使用權ヲ合同シ該水利組合管理ニ屬セシメタリ故ニ現今ニ於テハ鬼怒川ヨリ引キ入レタル江連用水ヲ一時砂沼ニ集容シ灌溉ニ際シ必要ニ應ジテ同沼ヨリ用水ヲ引キ出シ全用水區域千九百五十町歩ノ養水ニ供シツ、アリ而シテ砂沼ハ平面積七十一町歩最大貯水量三千万立方尺弱ニ對シ流域僅ニ五十町歩ニ過キス故ニ非灌溉期ノ集水量ハ全容積ノ八分ノ一ニ過キス假リニ満水シ得ルトスルモ漸ク七十町歩位ノ灌溉ノ用ニ供シ得ルニ過キサ

ルナリ然ルニ江連用水ヲ以テセハ三日餘ニテ満水スルコトヲ得ヘシ即チ水利使用權合同ノ結果用水期前ニ江連用水ニ依リ砂沼ヲ満水シ置キ灌溉期ニ於テハ江連用水ヲ以テ一般ノ養水ニ供シ砂沼ノ水量ハ最大用水期又ハ鬼怒川ノ濁水ニ際シ用水引キ入レ不可能等ノ場合ニ使用スル狀況ニシテ用水分配上適當ナリ

栃木縣

縣下ニ於ケル現ニ存スル用水ノ分配方法ニ關スル慣習ヲ調査スルニ多クハ自然ノ狀態ニ於テ用水ヲ引用スルノ現況ニ在ルカ故ニ同一水路ニ依リ支配セラルヘキ土地ニシテ或ハ水量ノ過剰ニ失スルモノ又ハ水量ノ不足ヲ來スモノ等在リ之レ一般ニ掛流灌溉ニ依ル慣習在ルカ故ナリ

一 芳賀郡水橋村大字西高橋

前記地内野元川ヨリ分水スル水路ハ芋ノ葉用水ト稱シ大内村大字上下大田和堀内及真岡町大字西郷臺町ノ五ヶ大字ノ耕地ヲ灌溉シ其ノ用水路筋ヨリ分岐スル支流ハ灌溉區域ノ廣狹ニ依リ水量ヲ分配スルノ例アリ其ノ區域約七百町歩ニシテ慣習上適當ナリト認ム

二 上都賀郡今市町及河内郡大澤村

森友用水ハ縣下上都賀郡今市町大字今市ニ於テ大谷川ヨリ疏水シ河内郡大澤村大字森友、水無及大室ノ三ヶ字ニ亘ル用水路ニシテ其ノ分水口ニ於テ分水ノ規定アルモ唯口傳ニ依ルモノナル故確實ナルコトハ不明ナルモ今ハ一ノ慣行トシテ一般ニ認定セララルモノナリ而シテ其ノ規定ハ第一分岐點ニ於テ大室三分、森友、水無七分、第二分岐點ニ於テ森友四分、水無三分、第三分岐點ニ於テ水無六分、大室四分トノコトナルモ其ノ歩合ハ果シテ水量ノ歩合ナルカ水路斷面ノ歩合ナルカ判明セサルモ一般ニ水量トシテ認メララルモノナリ
斯ク分水ノ規定ハ久シキ以前ヨリ認定セララル、モ實際ニ於テハ其ノ分水口ニ何等ノ設備ナク自然ニ放流セラル、モノナル故何等ノ効果ナシ尙分水ニ付テハ其ノ分水口ハ各何等ノ設備ヲ設ケス自然ノ流入ニ任スノ状態ナリ此ノ規定ハ初メ前記ノ規定ニ依リ實行ヲ期シタルモ早魃ニ際シ水量減少ノ場合ハ互ニ争フテ其ノ分水口ニ加工シ紛騷ヲ醸スノ因ヲ爲ス之カ解決策トシテ後ニ至リ協定セシモノノ如シ

三 河内郡横川村大字東川田

川田用水ハ縣下宇都宮市築瀨町ニ於テ田川ヲ引入レ河内郡横川村大字東川田ヲ中心トシテ宇都宮市築瀨町ノ一部ヨリ横川村ノ内東川田、下栗、屋板ノ各大字ニ亘ル用水路ニシテ水ノ分配量ヲ費用ノ賦課ニ一致セシメントスルモノニシテ其ノ歩合次ノ如シ

費用賦課ノ歩合		水量分配ノ歩合	
梁瀨町	一分五厘	梁瀨町	一分
下栗	一分	下栗	一分
東川田	五分	東川田	九分
屋板	二分五厘	屋板	五分
第一分岐點		東川田	八分五厘
第二分岐點		東川田	九分
第三分岐點		屋板	五分

(費用ノ歩合トハ少シク相違セリ)

斯ノ如キ不文ノ規定アルモ其ノ設備ニ付テハ何等ノ施設ナク用水缺乏シ分水ニ對シ紛騷ヲ生シタル場合ニ初メテ關係委員立會ノ上目測ニ依リ其ノ水量ヲ決定スルモノトス故ニ事實ハ規定ト一致セス最後ノ場合ニ委員ノ立會ニテ解決スルモノナルモ其ノ水量ハ支配面積ト比例セサル爲平常ニ於テハ

自然流入ニ任スルモノナリ

奈良縣

一 高市郡高取町地内ニ於ケル多クノ大字ハ用水ノ分配ハ假ヘハ何々掛リ又ハ何々井手ト稱スルモノニハ年番若クハ井司ナル名稱アル水利管理人ヲ置キ其用水路ニ關スル水利一切ヲ監督シ水上ヨリ水下ニ順次給水シ水量ノ減スルニ隨ヒ給水カ不足ヲ告クル場合ハ番水ト稱シ或ル時間ニ限リ反別ニ比例シ交互ニ給水スルノ慣例アリ溜池ノ用水ヲ分配スル場合ニアリテモ亦溜池管理者ヲ置キ年々其必要ニ應シ公平ナル方法ヲ以テ分配給水スルヲ例トス此方法ハ縣下ニ多ク行ハル、方法ニシテ南葛城郡櫛羅村、忍海村、山邊郡朝和村宇智郡五條町山邊郡都介野村甲岡等多クノ大字ニ行ハレ居レリ

二 宇智郡野原村大字野原ハ水利監守人ヲ置キ次ノ如キ規約ニ依リ水利監督ニ任ス

野原區養水監守人規則

第一條 本區養水監守人ハ分チテ左ノ二種トス

一 種	三宅 監守人	一人	三宅 堰監守人	一人
	上田池 監守人	一人	上田 堰監守人	一人
	畑田池 監守人	一人	藤ノ森 堰監守人	一人

畑田池注水監守人 一人

二 種

上田培養水監守人 三人

三宅培養水監守人 二人

畑田培養水監守人 二人

西島培養水監守人 一人

第二條 前條第一種ノ監守人ハ區會之ヲ選舉ス第二種監守人ハ管理者ノ告示ニヨリ其ノ區田地耕作者ニ於テ選舉スルモノトス

第三條 各監守人ハ其ノ任期ヲ三ヶ年トス

但シ前任者ヲ再選スルコトヲ得

第四條 監守人ノ給料ハ年々區會ノ議決ニヨリ之ヲ定ム

第五條 本則ハ明治二十五年四月ヨリ施行ス

三 山邊郡朝和村大字新泉ハ耕地整理施行前ニアリテハ舊來ノ慣習ニ依ル水利ノ方法ニテ用水ヲ分配シタリシカ其方法ハ用水ノ使用經濟的ナラサリシヲ以テ整理施行後次ノ規約ヲ設ケ之レヲ實行シツ、アリ爲メニ水利上大ニ有益トナレリ

耕地整理維持管理組規約

山邊郡朝和村新泉耕地整理組合

第一條 本組合ハ新泉耕地整理組合地區ヲ以テ其ノ區域トス

第二條 本組合ハ前條ノ地域ノ耕作者ヲ以テ組合員トス

第三條 本組合ハ耕地整理施行後ノ維持管理ヲ爲スヲ目的トス

第四條 本組合ニ組合長一名及評議員三名ヲ置ク

第五條 組合長及評議員ハ組合員ノ互選トス

第六條 組合長及評議員ノ任期ハ三ヶ年トス但シ再選ヲ妨ケス

第七條 組合長及評議員ハ名譽職トス

第八條 本組合ノ道路溝渠及堤塘ハ組合員ノ夫役ヲ以テ毎年四月及九月ノ二回ニ浚渫及修繕ヲ行フモノトス

第九條 暗渠排水工事ヲ施シタルモノニアリテハ灌漑期間中用水ノ缺乏ヲ來サ、ル限リ地下水ノ排除ヲナスヘシ其ノ時期ハ組合長ノ指揮ニ從ヒ少クモ稲作期間中十回以上トス

第十條 本組合用水源タル三箇ノ溜池ハ左ノ方法ニ依リ配水スルモノトス

- 一 新池ニ依リ灌漑スヘキ土地ハ字板屋垣内、字堂ノ芝ノ土地
- 二 南池ニ依リ灌漑スヘキ地域ハ字北ノゾヘ(下谷田ト稱スル分)、南ノゾヘ上、南ノゾヘ窪、字芝田、字南池邊、字柿田、字ツク田、字北池邊トス

三 北池ニ依ルモノハ字宮ノ道、字里ノ北、藤ノ木、南ノゾヘノ一部、但シ字宮ノ道、里ノ北ハ字界錯雜セルヲ以テ地形ノ順序ニ依ル尙又三溜池トモ放水ノ都合ニ依リ用水汎濫ノ場合ハ水路局所ニ於テ舊慣ノ如ク分水スルコトヲ得ルモ成ルヘク以上ノ順序ニ依ル

第十一條 前條ニ依リ灌漑方法ハ凡テ高位部ヨリ灌水シ始メ漸次低位部ニ及ホスモノトス

第十二條 溝渠ニ沿ヒタル堤塘若クハ水路ノ決潰破損ヲ生シタルトキハ復舊費ハ慣例ニ依リ大字ノ費用ヲ以テ支辨スルモノハ芝田川ノ兩岸ノミトシ其ノ他ハ修補ニ要スル材料ヲ大字ヨリ交付シ夫役ハ其ノ關係耕作人ノ負擔トス

第十三條 前條費用ノ負擔ハ大字區長又ハ管理組合長ニ於テ耕作者カ手入ヲ怠リタルカ爲メニ破損又ハ崩潰シタルモノト認ムルトキハ耕作者ニ於テ全部復舊スルモノトス

第十四條 前條耕作者ニ於テ行フヘキ浚渫若クハ修復ノ義務ヲ怠リタルトキハ管理組合長ニ於テ適宜修補シ其ノ費用ハ耕作者ヨリ徴收スルモノトス但シ耕作者カ小作人ナル場合ニ於テハ地主ヨリ徴收ス

第十五條 右條項ヲ履行スル爲メ左ニ組合員一同記名捺印ス

要スルニ本縣ハ用水源ノ主ナルモノハ溜池ニシテ河川ニ依ルモノ少キヲ以テ隨テ其水量少ク用水ニ關シテハ頗ル嚴格ナル制裁アリ適當ナル方法ハ前ニ述ヘタル如ク年番又ハ水番ナルモノ又ハ水利委員等ヲ選ヒテ其大字内ノ有力者之カ衝ニ當リ以テ水ノ分配費用ノ賦課等ヲ司トル故ニ水利組合ハ其費用徴收ノ機關以外ニ農業水利上何等ノ効果ヲ見ルニ至ラス尙町村内ノ各大字ニハ大字費ト稱シ徴收支出スル金額少カラズ其大部分ハ水利費ニシテ其反當經費ハ地方ニヨリ大差アリト雖モ一反歩當最大三十圓少キモ五六十錢ヲ下ラサルヘシ

三 重 縣

一、左記ノ諸村ニ於テハ水番ヲ設ケ之ニ用水分配ニ關スル絶對ノ權力ヲ附與シ終日各田區ヲ巡視シ給水ニ注意セシムルコト又用水取入口ニ於テ面積ニ應シ用水取入ヲ制限セリ

- 三重郡川島村
- 飯南郡粥見村
- 桑名郡城南村

愛知縣

本縣ニ於ケル農業水利ニ關シテ複雑ナル關係ヲ有シ且大地積ニ亘ル區域ハ灌溉、排水ノ事業大概各普通水利組合ニ依リ之ヲ經營セラル、ニ至リタルカ爲古來ノ慣習ニ左右セラル、コト尠キヲ以テ概シテ慣習ノ水利ニ及ホス影響乏シキカ如シト雖各慣習ニ就キ調査シタル結果左ノ如シ

- 一、東春日井郡篠木村大字八幡ニテ稻田用水ハ大字内ノ溜池ニ依リ灌溉ヲ爲スモノト大字下原地内ノ溜池ニ依リ灌溉ヲ爲スモノトニ區分セラレアルモ旱害ノ爲用水ニ缺乏ヲ告タル場合ハ大字八幡地内溜池ノ灌溉地域へ大字下原地内ノ溜池ノ用水ヲ三日間引用スルヲ慣例トセリ
- 二、知多郡河和町ニ於テハ溜池ニ水番ヲ置キ用水ノ供給ヲ掌ラシムル慣習ニシテ貯水灌溉シ終ラムトスルニ際シテハ貯水ノ容量ニ應ジ灌溉區域ノ下流ヨリ漸次分配ヲ爲ス慣例ナリ
- 三、渥美郡神戸村ニ於テ用水ハ主ニ溜池ニ依ルモノ多クシテ其分配方法ハ大字區長又ハ部落總代溜池ノ管理人ト爲リ坑守ヲ置キ灌溉區域内ニ平等ニ分配スルヲ以テ不平ノ聲ヲ放ツモノナキカ如シ
- 四、八名郡下川村ハ元河川及湧水ヲ水源ト爲スモ從來ハ區畫不整ノ水田ニシテ灌排水ノ設備全カラス用々水論ヲ惹起シタリシカ耕地整理施行後ハ相共同シテ灌排水擔當者ヲ設ケ之ヲ司ラシムルニ依リ用水ハ有無相通スルニ至レリ

靜岡縣

- 一、田方郡函南村平井地籍ニ通稱稻妻堰ナルモノアリテ函南村平井、柏谷、畑毛、仁田及葦山村長崎ノ五大字用水ノ分水箇所ナリ從來旱害ノ場合ニハ爭論絶ヘサリシカ大正二年用水路ヲ石造ニ改良シ各其分水量ヲ確定セリ其流末ニ於テ函南村柏谷地籍ニ通稱草堰ナルモノアリ葦山村長崎ト函南村、仁田、柏谷三大字用水ノ分水箇所ニテハ平時ハ堰板無ク植付十數日前關係者立會ノ上之レニ板ヲ差入レ其ノ板ニ方二寸ノ孔ヲ穿テ此ヨリ長崎ニ用水ヲ分ツ、毎日午前十一時ヨリ午後二時迄ノ間此ノ孔ヲ閉チテ仁田柏谷ノ用水トナス慣例アリ
- 二、同郡函南村大土肥地籍ニハツ溝堰ナルモノアリ函南村仁田、大土肥、間宮、塚本ノ四大字ノ用水分配所ニシテ往古大岡越前守ノ裁許ニ依リ時刻分水トシ明六ツヨリ日中迄間宮へ、日中ヨリ八ツ八分迄塚本へ、八ツ八分ヨリ暮六ツ迄仁田へ暮六ツヨリ明六ツ迄大土肥へ配水スルコト、シ今日ニ至ル迄此慣習ヲ確守セリ
- 三、駿東郡富士岡、富岡、深良、泉、小泉、長泉、ノ諸村ハ遠ク幕政時代ヨリ箱根芦湖水ヲ引用シ深良村外六ヶ村芦湖水利組合ヲ組織シ關係町村ノ田地ニ用水ヲ分配シツ、アリ其分配方法ハ各所ニ堰ヲ設ケ順次下流ニ分配ス分配ヲ受クル關係諸村ニ於テハ水配人ヲ設置シ水配人ハ各部落ヨリ人夫ヲ

引率シ分水口ヲ定ムルヲ常例トス然シテ旱魃ニ際シテハ末流各部落ニ於テ用水ニ缺乏ヲ來スヲ以テ區長ハ水配人ニ申出テ水配人ト共ニ上流分水口ヲ縮少シ以テ順次末流ニ至リ用水ノ缺乏ヲ補フ

四、庵原郡松野村地松野ニ在リテハ有無瀬川ヨリ引水シ字堀之内ニ於テ水榭ヲ据置キ用水ヲ三分シ三步ヲ字儘下岡成ニ一步ヲ堀之内ニ配水シ殘餘ハ更ニ第二水榭ニテ七歩ヲ山田岡成田中ケ原、尾屋敷ニ三步ヲ字岡成一ノ坪ニ分配スルヲ慣習トス是レ古來ヨリノ慣習ニシテ極メテ實地ニ適應セリ

五、榛原郡勝間田村ハ地形狹長ニシテ中央ヲ勝間田川縦貫シ其ノ西側ニ用水ヲ分配シ又惡水ヲ收容スルノ状態ナリ故ニ各字共適宜堰ヲ作りテ引水シツ、アリ一旦旱魃ニ遭遇スルトキハ必ス最終ノ田地ヨリ引水シ始メ漸次上流田地ニ及ホス慣習アリ何等支障ナシ

六、引佐郡龜玉村宮口ニアリテハ用水源ハ溜池ニシテ當時ハ拔樋スルコトナク自然ノ洩レ水ヲ以ツテ給水シ稍々缺乏ヲ告クル場合ニ於テ溜池世話係ニ申出拔樋給水ス、旱魃ニ際シ用水缺乏ノ場合ハ同係ニ於テ最モ用水ノ缺乏セル區域及溜池ヲ距ル遠隔地ニシテ普通ノ用水ニテハ灌溉シ得サル個所へ留メ水ト稱シ他へ引用ヲ禁シ許可區域へノミ供給ス其方法ハ世話係ヨリ許可證ヲ與へ分水ノ個所々々へ許可證ノ標札ヲ樹テ引用セシム此ノ留メ水ハ許可區域外ノモノハ引用スルコトヲ得サルモノニシテ若シ犯ス者アルトキハ罰則ニ照シ處分ヲ爲スモノナレトモ從來違反者ヲ出シタルコトナキ好慣例トナレリ尤モ留水數日ニ亘レハ許可區域外ノ用水大ニ缺乏スルコト當然ナルニ依リ此ノ場合ハ

一晝夜留メ水ヲ出セハ一晝夜ハ散リ水トシテ廣ク引用セシメ隔日ニ給水スルノ慣例ナリ

山 梨 縣

一、朝穂堰ハ北巨摩郡朝神、上手、小笠原、穂阪ノ四ケ村ヲ、楯無堰ハ同郡小笠原、穂阪、更科鹽崎、登美ノ五ケ村ヲ又徳島堰ハ北巨摩及中巨摩ノ二郡ニ亘リテ十數ケ村ヲ灌水シ何レモ其灌水地域延々トシテ約十里ニ及ヒ其幹線水路ヨリ支線ニ分水ヲナスニハ略其灌水用量ニ應シテ箱樋ノ大サヲ定メテ分水量ノ制限ヲ加へ又朝穂堰及楯無堰ハ用水ノ調節ヲ計ランカ爲稻作植付時期ノ制限ヲナシ廣大ナル面積ニ普ネク灌水ヲナシ得ルハ適當ナル方法トス唯タ其箱樋伏設ニ當リ勺配及水頭等ニ考慮ナキカ爲自然各部用水ノ過不足ヲ免レサルハ遺憾トス

滋 賀 縣

一 神崎郡御園村大字寺所在ノ駒井養水ハ愛知川支流ニシテ之ニ關係セルハ同村大字中小路、妙法寺、野ニシテ此末流ハ八日市町ノ中央ヲ貫通シテ之ヲ筏川ト稱シ南北二流ニ分派シ南ヲ表川北ヲ裏川ト稱ス表川ハ八日市町大字小脇蒲生郡中野村大字小脇市邊村大字糠塚及野口ヲ經テ平田村ニ放流ス裏川ハ八日市町大字小脇井野村大字小脇老蘇村大字内野市邊村大字糠塚等ニ分配シ餘水ハ老蘇村ニ放流

スル者ニシテ筏川下流ニ於ル通水期間ハ九月一日ヨリ四月末日迄ニシテ尙之レテ細別シ左ノ如ク限定ス
 毎月一日ヨリ十二日迄 市邊村大字野口
 同 十三日ヨリ二十一日迄 平田村大字柏木
 同 廿二日ヨリ廿三日迄 市邊村大字三津屋
 同 廿四日ヨリ 末日迄 老蘇村大字東老蘇、西老蘇、
 右用水ノ分配ハ組合會熟議ノ結果ナレハ適當ノ法ト認メテ
 因ニ當地方ニ於テハ冬期田面ニ水ヲ湛ヘルノ慣習アリ

- 駒井養水組合規約參考ノ爲メ左ニ掲ク
- 一 駒井取締村及關係各村ニ於テ水傾上ノ都合ナ生スルトキハ既定春夏ノ時期ヲ論セス其相互ニ援助シテ養育ニ妨ケナカラムコトニ盡カスヘシ
 - 一 駒井組合村ノ外他村ノ拔洩等ハ堅ク嚴禁ス
 - 一 從來駒井關係シタルノ外新ニ開墾シタル田地ニ對シテハ決シテ駒井養水ヲ引用スルコトヲ得ス
 - 一 井堰並ニ分水番等ハ駒井ノ養水ニ係ル現郷各村ヨリ出スモノトス
 - 一 各村引水ニ登ルトキハ從來仕來リノ如ク開流堰止ノ場所ニ居留ルコトナク其ノ水ノ流下スルト同時ニ通過スルモノトス
 - 一 駒井ニ係ル人夫及諸雜費ハ悉皆其ノ養水關係各村ノ田反別割ニ附スルモノトス
 - 一 井組各村ニ於テ新川路及新溜池其ノ他新事業ヲ起業セムトスルモ決シテ之ヲ許サス
 - 但シ本組合ニ對シ妨害トナラサル事業ニシテ各村評定ヲ經タル上ハ此ノ限ニアラス

- 一 駒井水源開門ニ於テ新事業ヲナサントスル時ハ其ノ都度井組各村ノ協議ヲ經テ其可決ヲ得始メテ其起工ニ着手ス
 - 一 本組合中タリトモ從來關係ナキ水路ヨリ溢リニ養水ヲ引用スルコトヲ許サス
 - 一 前各數ヶ條規則ニ違背スルモノアルトキハ井組取締及各村協議ノ上此ノ組合ヲ除退スヘシ
- 大字中小字外六ヶ村
- 各 村 總 代 團

沿 革

駒井、筏川ハ口碑ノ傳フル所ニヨレハ蒲生郡市邊村ノ人駒ノ長者此ノ川ヲ敷設シ上流愛知川ヨリ筏ヲ流シタルモノニシテ今ニ筏川ト稱ス元蒲生郡中野村大字小脇之ヲ取締リシカ明治十三年本村大字中小路養水組合之ヲ管理スルニ至ル一町四ヶ村ノ聯合ニテ頗ル圓滿ニ配水セラレツ、アリ關係部落ノ面積左ノ如シ

大字 中小路	二一七反
大字 妙法寺	三九九
大 字 野	五四四
大字 小脇	九七五
大字 糠塚	二六二
大字 野口	二〇〇

右ハ稍適當ノ方法ト認ムヘキモノニシテ他ニ適當ト認ムヘキモノナシ

岐 阜 縣

一、安八郡柿木戸普通水利組合ニ於テハ用水ノ分配ハ毎年植付前水利組合管理者ニ於テ時間割ヲ定メ

用水路堰埭及樋管ニハ番人ヲ附シ期限ノ時間ニ至ラハ直ニ順番割當ノ如ク灌溉スルヲ以テ慣例トナシ之ニ向ツテ何人ト雖モ異議ヲ挾ムコト能ハス之レ適當ナル慣習ナリト認ム

長野縣

番號	所在地	面積	事由
一	東筑摩郡波多村	二〇〇・〇〇〇	水利夫ヲ常置シ區域内水田ヲ見廻ラシメ用水供給ヲ公平ニ施行ス
二	同 廣丘村	三〇七・〇〇〇	早魁ノ際ハ水利夫若クハ水番人ヲ常置シ用水ノ供給ヲ適當ニ施行ス
三	同 東川手村字潮平	二五・二八〇	水利ニ關スル一切ヲ五年繼續ヲ以テ請負人ヲ定メ村役場及土木委員ノ指揮ヲ以テ用水ノ供給ヲ公平ニ施行ス
四	同 伊那郡富草村上梅田	四〇〇・〇〇〇	作人交互ニ水番ヲナシ水歩合ハ各持分ニ應ジ用水ノ供給ヲナス而シテ各持分ハ水路開鑿出資額ニヨル
五	上伊那郡美和村字非持	三九〇・〇〇〇	早魁ノ年各自ノ耕作反別割當夫役ヲ賦課シ毎月隔番ニ區域内水田ヲ見廻ラシメ用水ノ分配ヲ公平ニス
六	地科郡屋代町大字屋代	一〇三・三〇〇	水利夫ヲ四ヶ月間常置シ區域内全部ノ用水ノ供給ヲ公平ナラシム
七	下内郡永田村北永江耕地整理地區	二五・四六〇	六、七、八ノ三ヶ月水利夫ヲ置キ區域内ノ灌溉ヲ具ラシメ水利夫ニハ一ヶ月給料百十七圓ヲ支給ス一反歩ニ付五十二錢八厘ニ當ル
八	同郡同村南永江耕地整理地區	二五・〇〇〇	用水掛長一名用水掛十一名ヲ置キ用水ノ管理ハ勿論分水ニ立會用各用排水路ノ使用者同置シテ用水又ハ排水路組合ヲ設ケ其組合員ハ水路工事、浚渫等ヲ行ヒ灌溉共ニ公平ニ施行ス
九	同郡柳原村旭	二四六・三〇〇	本村ハ普通水利組合ヲ設置シアルカ故ニ常設委員ニ於テ實地見廻
一〇	上高井郡日野村大字鹽川	四三・六九〇	古來ヨリ石高ニ應ジ分水口ヲ分チ早魁ノ際ハ双方申合セ水番ヲ附シ
一一	北佐久郡鹽田村(中尾區ヲ除ク)	二二四・二〇〇	公平ニ供給セシム
一二	同郡大里村瀧原	八〇〇・〇〇〇	

宮城縣

一 本吉郡柳津大、溜池水利組合ニ於ケル灌溉慣習ハ番水灌溉法ニ基キ用水ノ濫用ヲ防キ水下耕地ヨリ順次日數ヲ限定シ灌溉スル慣行ナリ

二 栗原郡玉澤村ニ於テハ水上耕地ハ夜間水下耕地ハ晝間ニ於テ灌水スル慣習ニシテ稍々適當トス

福島縣

一 石城郡ニ小川江筋ト稱スル用水溝アリ本江筋ハ小川村大字關場地内夏井川ヨリ分岐シテ同村及平窪村、神谷村、草野村、大浦村、大野村、四ツ倉町等ヲ蜿蜒ニ迂回シ六里八町ノ間約一千百町歩ノ灌溉ヲ全フシツ、アルモノニシテ關係水下ニ於テハ毎年一回乃至二回ニ亘リ江筋ニ對シ灌排兩溝ノ浚渫修繕等ニ努メ多クハ夫役ヲ以テ之ヲ爲シ或ハ費用ヲ反別割ニ賦課スルヲ例トセリ灌溉ノ方法トシテハ水量常ニ充分ナルカ故ニ關係各部落ハ一時灌溉シ得ルモ分水ノ同一區域内ニ於テハ水上ヨリ漸次水下ニ及ホスヲ常トス而カモ引水ノ爭論等起リシコト稀ニ水利組合條例發布セラル、ト共ニ組合ヲ組織シ現ニ水利組合法ニ依リ管理シツ、アリ

由來本江筋ハ慶安年中ニ於テ開鑿セラレタルモノニシテ開鑿當時ノ奉行澤村勘兵衛勝爲ハ現ニ草野

村大字下神谷ニ勝爲靈神トシテ奉祠セラレ同村社タリ

澤村勘兵衛ハ平ノ城主内藤左馬亮武門ノ臣ナリ慶安三年六月ノ大旱ニ際シ勘兵衛郡宰ヲ以テ領内ヲ見聞巡視シ慘狀見ルニ忍ヒサルモノアルヲ慨ク偶々草野村泉崎地内光明寺ニ憩ヒ住持歡順師カ和歌ニ意ヲ寄セ關場ヨリ江筋ヲ引クヘキ旨德憑スルニ及ヒ意ヲ決スル所アリ主君ニ請フニ知行五百石ノ内三百石ヲ奉還シ二百石ヲ以テ郡奉行トシテ江筋ヲ開鑿シ農民ノ困厄ヲ除キタキ希望ヲ以テス家中評議ノ上上聞ニ達シ其願允サル茲ニ於テ慶安五年二月十五日ヲトシ吉日トシテ工ヲ起シ下小川關場ヨリ四ツ倉迄六里八丁ノ間ヨリ夫役ヲ督シ備ニ辛酸ヲ嘗メ三年三ヶ月ヲ費ヤシテ初メテ工ヲ竣ヘ萬世不易ノ基ヲ樹テタルトモ當時ニ於テハ其工事ノ困難ナル實ニ想像外ナルヘク從テ夫役ヲ督スルコト嚴ニ過キ怠惰其他苟クモ法ヲ漫ルモノハ繩笞死罪嚴罰ヲ極メタルト平久保ノ横山ニ於テ岩石ヲ切通シ得タルヲ大日如來ノ靈夢ニ依ルモノトシテ如來ヲ歡請シテ一字ヲ立テ(今ノ利安寺)恣ニ除地五石ヲ寄進シタルトハカ・ル事業ニ伴フ反影トシテ怨嗟ヲ來スト共ニ家中ノ忌諱ニ觸レ明歴元年七月十四日切腹被仰付、歡順之ヲ聞キ是レ己ノ德憑ニ出ツル結果ナリト觀シ追吊頗ル努ム神谷ヨリ四ツ倉迄十ヶ村即チ江筋ノ惠澤ニ浴スル農民老弱ノ分チナク悼惜措カス相約束シテ念佛講ヲ初メ厚ク菩提ヲ吊ス今ニ傳ヘテ是レ此ノ地方ニ於ケル念佛講ノ初メナリト稱ス明治八年下神谷ノ人金賀源三郎事跡ノ煙滅ヲ憂ヒ自カラ創メテ社祠ヲ建テ田壹反九畝歩ヲ以テ永續ノ資トシ現ニ村社トシテ地

方ノ崇敬ヲ享ケツ、アリ

岩 手 縣

一 縣下西磐井郡金澤村字管ノ平ニ大溜平ト稱スル金澤及花泉ノ兩村共有ノ溜池アリ此ノ溜池ヨリ用水ヲ引ク方法ハ藩政時代ハ何等ノ管理方法ナキヲ以テ用水分配ニ際シテハ互ニ紛擾ヲ醸シテ爭鬪敢テ珍シカラサリシモ維新後融和シ管理者ヲ金澤村長トシ用水分配時ニ當リテハ管理者ヨリ開樋票ヲ交付シ金澤村二日ニ對シ花泉村一日間トスル不文律ヲ設ケ今尙圓滿ニ本契約ヲ實行シツ、アリ

青 森 縣

一 北津輕郡梅澤村

同村ニ於テハ定盤ヲ設ケ谷田ノ都合ト旱田トヲ巡視シ用水ヲ分配シツ、アリ

二 同郡三好村大字鶴ヶ岡字鈴方

同村田地面積十三町歩ハ高地ナルヲ以テ普通灌水ノ方法ニテハ困難ナルニ付特ニ該田地ヘ灌水ノ爲メ水門ヲ建設シ其留上時間ヲ一日二回トシ午前五時頃ヨリ同七時頃迄及午後四時頃ヨリ同七時頃迄トス他ハ放水シテ其以外ノ田地ニ灌水セシム但シ時間ヲ勵行セサル場合アルヲ以テ多少ノ爭論ヲ免

レス

三 同郡三好村大字鶴ヶ岡字福田

同村田地面積四十四町歩へ灌水ノ爲メ水門八個ヲ建設シ抽籤法ニ依リ留上順番ヲ定ムルモノトス此輪番法ハ水利用上經濟ニシテ夫レカ爲メ水車ヲ用ユルカ如キ勞力ヲ省クノ便アルモ旱魃ノ場合ハ輪番協議ヲ纏ムル際多少ノ爭論ヲ來タスコトアリ

四 南津輕郡大光寺村

同村小阿彌堰ノ分水口ニ於ケル分配ノ公平ヲ保ツテ爭論ノ煩ヲ避クル爲メ近年分水口ヲ石造ニ改築スルノ方針ヲ執ルニ至レリ同水門ハ工事費金六百四十四圓ヲ投シ明治四十四年竣工セリ

五 東津輕郡

郡内一般用水ノ充分ナル間ハ各自ノ自由ニ放任スルモ一旦水量不足ヲ來ス時ハ用水口ニ定盤ヲ据付ケ反別ニ相應スル水量ヲ分配スル方法ナリ

六 中津輕郡清水村大字下湯口字扇田新堰

本堰ハ羽内川ヨリ分水ノ一ヶ所ハ相馬村大字湯口へ水量ノ三分清水村大字下湯口字扇田村元青柳大字悪戸字村元中野ニ全水量ノ七分ヲ分チ分水圓滿ニ行ハレ居レリ

七 中津輕郡西目屋村

同村ニ於ケル用水ノ分水方法ハ其灌溉スル田地面積ニヨリ其ノ水入口ニ定盤ヲ据付ケテ相當ニ分配シ各所ニ引水シ居レリ

秋 田 縣

一 仙北郡豊岡村大字栗澤部落ハ用水ノ分配ニ付從來ヨリ田反別及地價ヲ參酌シ分水口ヲ設ケ灌溉スルヲ以テ増水又ハ旱害等アルモ毫モ紛擾ナシ

二 山本郡澤目村水澤字大槻野東又及大槻野西又ハ貯水池ヨリ通スル幹渠ヨリ支渠小渠ト漸次反別ニ應シ分水場ヲ設ケ旱天ニ際シテハ適當ノ時間ヲ定メ交番ニ灌溉スル慣習アリ適當ノ方法ト認ム

福 井 縣

一 南條郡下ニ於テ普通水利組合ニアリテハ組合委員立會ノ上配水セルニ依リ用水ノ過、不足ナシ

石 川 縣

一 石川郡手取川七箇用水
此ノ郡ニ於ケル灌溉水ノ大部分(灌溉面積約七千町歩)ハ手取川ヨリ引用スルモノニシテ從前ハ其ノ

沿川右岸ニ於テ七ヶ所ノ取入口ヲ設ケアリシヲ以テ一朝旱魃スルトキハ下流ノモノハ上流ノモノヲ
 饜應シ分水ヲ請フナト種々ノ弊害少ナカラザリシヲ明治三十一年度ヨリ明治三十四年度ニ涉リ縣事
 業トシテ(手取川堤塘保護ノ爲)工事費十七萬圓ヲ投シ七箇用水ヲ合併シテ一箇所ヨリ取入レ一ノ大
 幹川ヲ設ケ其ノ幹川中ニ於テ各用水ノ灌溉面積ニ應シ配水量ヲ決定シ各別ニ水門ヲ設ケテ分水セル
 ヨリ以來從前ノ弊害全ク除去セラル而シテ右用水ノ管理ハ合同取入水門及幹川ニアリテハ手取川七
 箇用水普通水利組合ヲ設ケ石川郡長之ヲ管理シ其ノ幹川ヨリ取入ル、七箇ノ用水ハ又各普通水利組
 合ヲ設ケ組合内ノ町村長一人ヲシテ之ヲ管理セシムルヲ以テ分水ノ方法適當ニ行ハレツ、アリ
 二 以上ノ外江沼郡ニ在リテハ鹿ケ鼻用水、一ノ瀬用水、御水道用水、能美郡ニ在リテハ輕海用水、
 御茶ノ用水、宮竹用水石川郡ニ在リテハ辰巳用水、鞍月用水、大野庄用水、泉用水等何レモ普通水
 利組合ヲ設ケ管理シ居ルヲ以テ各用水其分水適當ニ行ハレツ、アレハ特ニ記載スヘキ事項ナシ

富山縣

一 中新川郡中加積村、東三郷村ノ上條村ハ何レモ用水ノ取入口ニ一定ノ閘門又ハ堰ヲ設ケ灌溉面積
 ニ應シテ分水シ南加積村、相ノ木村、宮川村、上市町、香杉村ハ用水管理者及配水委員ヲ設ケアリ
 テ用水取入ノ際ハ取入口ニ立會シ舊來ノ石高ニ依リ分水セリ

二 下新川郡ニ於ケル分水方法トシテハ一般水門、堰等ノ分水法ニ據ルカ或ハ分水ヲ設置シ灌溉面積
 及水路ノ遠近ヲ計リ均等ニ分配シ尙各用水ニ分水委員ヲ置キ給水ノ公平ヲ謀ル爲メ實地ニ出張スル
 モノトス而シテ水路長キカ爲メ流末ニ於ケル土地ニ灌水困難ナル箇所ニ在テハ現在反別ニ對シ其一
 割乃至二割ヲ見込ミシ水量ヲ増補スル方法ヲ取り其下流ニ於テハ一般開墾ヲ中止スルヲ例トス

鳥取縣

一 用水量平時ナルトキハ一般ニ灌溉面積ニ應シ水門又ハ井堰ノ廣狹及高底ヲ制限シ其分水ノ平等ヲ
 期スルニ止マレリ東伯郡下郷村、以西村及ヒ逢東村等ニ於テハ插秧期ニ際シ毎年灌溉用水ニ不足シ
 關係者ト流末村民立會ノ上其上流分岐點ニ於ケル井手口ヲ堰止メ毎日日没ヨリ各用水路中ノ井堰ノ
 幾部ヲ放流セシメ翌朝日出ニ至ルマテ流下セシム而シテ各用水路ニ於ケル流末關係者ハ一定ノ時間
 ヲ限リ各自交代スルノ例稀レニアリ
 二 又用水缺乏シタル場合ハ一般ニ番水ト唱へ時間ヲ限リ甲乙用水路ニ交互ニ放流灌溉スルヲ常トセ
 リ
 三 稀ニ關係地主ノ協定ニ依リ分水ノ法ヲ定メ灌溉セシムルノ例東伯郡花見村内及西伯郡富益村内等
 ノ二三地方ニ此ノ例ヲ見ル

島根縣

一 八東郡朝配村大字西尾

溜池貯水灌溉ノ方法ハ從來開樋ノ當日ハ給水區域ノ作人總出ニテ各自適宜ニ引水スルノ慣習ニシテ用水ノ取扱自然亂雜不經濟ナルヲ免レサリシカ近來ハ分水世話人數名ヲ設ケ區域内全般ノ給水權ヲ一任シ開樋中ハ始終見廻ラシメ公平ニ分配セシメツ、アルカ其ノ成績良好ナリ

二 能義郡廣瀨、飯梨、能義、荒島、赤江、安來、六町村組合水利關係六ヶ町村ニ及フヲ以テ組合ヲ設ケ適當ノ解決ヲ爲シツ、アリ其ノ規定左ノ如シ

會議組織

- 第一條 各町村會互選テ以テ委員二名ツ、ヲ出シ其人員十二名ヲ以テ本會ノ員トシ議長ハ管理町長ヲ以テ之ニ充ツ但シ議員ノ任期ハ各町村會各自ノ任期ニ從フ
- 第二條 本會ノ議決スヘキ事件左ノ如シ
 - 一 廣瀨町地内ニ設置スル梨木、梅檀兩樋關ニ係ル一切ノ事件
 - 二 用水分配法
 - 三 組合費歳入出豫算ヲ定メ豫算外ノ支出及豫算超過ヲ認定スルコト
 - 四 組合費決算報告ヲ認定スルコト

事務管理

第三條 當組合ノ事務ハ廣瀨町長之ヲ管理シ其會計ハ同町收入役之ヲ管掌ス
管理町長ハ事務ヲ處理スル爲メ事務員ヲ置クモノトス

費用支辨

第四條 本組合費ハ左ノ歩合ニ依リ各町村ヘ分賦スルモノトス但シ天變ニ依リ著シク地價額減少シタルトキハ當該町村ノ請求ニヨリ組合會議ノ決議ヲ以テ地價復舊マテ年々歩合ヲ變更スルコトヲ得

安來町	千分ノ七十三
荒島村	千分ノ百七十二
赤江村	千分ノ三百七十二
能義村	千分ノ二百七十六
飯梨村	千分ノ八十二
廣瀨町	千分ノ二十五

第五條 議員會議ニ出席スルトキハ日當及車馬賃ヲ支給ス其金額左ノ如シ
一日 當 一日金八十錢
一車馬賃 每一里金十五錢

第六條 毎年度管理町長ニ報酬金七圓收入役及事務員ニ手當金十圓ヲ贈與シ樋守ニ金三圓五十錢ヲ支給ス

第七條 管理町長以下關係職員本組合事務ノ爲メ廣瀨町外ヘ出張スルトキハ第五條ニヨリ旅費ヲ支給ス

第八條 本組合費項目ノ豫算流用ハ管理町長ニ於テ執行スルモノトス

附則

岡山縣

一 旱歲ニ際シ穩當ナル處置ヲナスモノ

(イ) 勝田郡飯岡村大字飯岡王子ノ用水源タル谷口堰ハ上流七八丁ノ所ニ英田郡福本村大字福本所在堂ヶ瀬井堰アリ從テ旱歲ニハ直ニ枯渴スルニ至ル此場合ハ兩井堰總代協議ノ上兩井堰共用ユ共通ニシ順次水上ヨリ灌溉スルノ習慣アリ

(ロ) 邑久郡長濱村字奥ノ下字天塲等ニテハ插秧當時降雨少ク溜池ノ水ヲ插秧水トシテ引用スル場合ノ如キハ其關係總代熟議ノ上其池水ノ支配得ル面積期間等ヲ決定シ以テ插秧ヲナセル地主ハ之ヲナサ、ル地主ヘ協議ノ上自己ノ收穫物ノ何割カラ分與スルカ若ハ其幾割ヲ溜池修築費用ニ提供スルノ慣習アリ

二 協議ニ依リ用水ノ分配ヲ公平ナラシムルモノ

上房郡川面村ニテハ溜池ニ各池總代人及池番人ナルモノアリテ池總代人ハ灌溉ニ適當ノ時期ヲ評定シ之ヲ池番人ニ傳ヘ池番人ハ其灌溉區域内ノ枯渴セル箇所ヨリ順次給水ス若シ旱歲ニテ池水ノミニテ區域内ノ全面積ニ充分給水シ能ハサル見込アルトキハ切流シト稱シ一時田面ニ給水シ直ニ

切落シテ順次上位部ノ田ヨリ下部ニ及ホシ全部ニ灌溉スルノ慣習アリ
此種ノ類例極メテ多シ

三 一定ノ分水方法ヲ定メ如何ナル場合ニテモ動カシ能ハサルモノ此方法ハ理論上ヨリ見ルトキハ多少ノ非難ナキニ非サルモ事實ニ於テ支障ナキモノニ付二三ヲ表示スルコト、ス

(イ) 洞水分水 用水幹線ニ一定ノ大サノ洞木ヲ横ハ之ニ所定ノ大サノ天然石ヲ立テ掛ケテ水位ヲ高メ分水ス

事例 (一) 都窪郡常盤村大字溝口ニ在ル上洞木(直徑五尺二寸天然石十一個)

同郡同村大字眞壁及溝口ニ配水ノ目的

(二) 同所ニ吉備郡方面ニ分水スル下洞木(鑄物師洞木)(直徑四尺八寸石十個)ト稱シ分水設備アリ

上記ノ例ニ依ルニ湧水ノ場合ハ適當ニ配水サル、如キモ然ラサル場合ハ却テ支障トナルカ如シ

(ロ) 勾配調節ニ依ル分水

勾配急ナラサル場合ニ川底ヲ一定ノ深(高サ)ニ保タシメ浚渫セシメス水勢ヲ遲緩ナラシメテ配水ノ目的ヲ達スルモノナリ

都窪郡撫川町大内田水路ハ其事例ニシテ明治四十四年二月以來分水上關係ヲ有セル同郡妹尾町及福田村トノ間ニ其ノ部分ヲ浚渫スルノ習慣ノ有無ニ關シ訟訴ヲ生シ漸ク大正二年三町村長立會解決ヲ見ルニ至リタリ

(ハ) 時間分水

本縣ニ於ケル主ナル導水渠ノ主要分岐點ニ於ケル分水方法ハ多クハ此時間分水ノ方法ニ依ルヲ例トス而シテ其當初ハ其面積ヲ基礎トセルモノナリシナランモ其間多少領主ノ勢力如何ニ依リ或ハ地勢ノ變遷ニ依リ地域ニ廣狹ヲ生シ從テ分水時間ニ對支配面積及其負擔歩合共ニ比例セス今主ナルモノニ付例示セハ

都窪郡八ヶ郷番水

番號	支配地域名	時	間	割	費用負擔歩合	灌溉反別
一	庄村大字松島	同上	第一日ノ午前六時ヨリ	四十八時間	一・〇〇	六六・六六〇〇
二	中庄村大字徳芳	同上	第三日ノ午前六時迄	同上	一・〇〇	二五・六〇〇〇
三	同村大字中庄	同上	第五日ノ午前六時ヨリ	四十八時間	一・〇〇	一〇〇・八〇〇〇
四	同村大字鳥羽	同上	同上	同上	一・〇〇	二二・〇〇〇〇
五	菅生村大字三田	同上	第七日ノ午前六時ヨリ	四十八時間	一・〇〇	三三・九九二二
六	庄村大字二子	同上	同上	同上	一・〇〇	六〇・八四〇〇
七	菅生村大字西坂	同上	第七日ノ午前六時ヨリ	三十六時間	一・〇〇	四六・五六〇九
八	同村大字生坂	同上	第八日ノ午前六時迄	同上	一・〇〇	九一・一六一〇
九	同村大字子位庄	同上	第九日ノ午前六時迄	十二時間	一・〇〇	二七・二〇〇〇

廣島縣

安藝郡

一 用水ノ分配ニ付郡内一般ニ行ハル、方法ニテ適當ト認ムルモノハ灌溉面積ニ應シ時間割ヲ以テスルモノ是ナリ之ヲ番水ト稱ス此方法ハ用水ノ不充分ヲ告クルニ至リ始メテ行フモノナリ之カ所在地ハ府中村其他殆ント各町村ニ亘レリ

一〇	萬壽村大字平田	同上	第九日ノ午前六時ヨリ	六十時間	一・五〇	八一・六二一七
一一	同村大字大島	同上	同上	同上	一・五〇	二九・六五二二
一二	同村大字福島	同上	同上	同上	一・五〇	四九・三七一一
一三	豊洲村大字五日市	同上	第十一日ノ午後六時ヨリ	二十四時間	一・五〇	四一・二〇〇〇
一四	帶江村大字二日市	同上	第十二日ノ午後六時迄	二十四時間	一・五〇	三三・五〇〇〇
一五	豊洲村大字中帶江	同上	第十三日ノ午後六時迄	十二時間	一・五〇	四五・三二〇〇
一六	早島町大字早島	同上	第十四日ノ午前六時迄	三十六時間	一・五〇	一三四・一〇〇〇

備考 (一) 八ヶ郷組合ハ八ヶ郷番水ハ八ヶ郷定水ノ二組合ニ分レ八ヶ郷番水ハ山根中川、三番川、ノ三組合ニ分ル此番水表ハ八ヶ郷番水組合ニ屬ス

(二) 根付六月十五日(十日許)ニカケ流シト稱シ底水ヲ取ル
(三) 番水割ハ根付一回ニシテ以後ハ掛流シ非常湯水ニ際シテハ打合ニ依リ配水ス

二 石内村ニ於テハ用水ノ分配ニ關シ概ネ灌溉面積ノ多寡ニ時間ヲ對照シテ順番ヲ定ムルモノアリ又線香番トテ或ル一定ノ時間線香ノ燻燒ニヨリ配水ヲナスモノアリ其一ニ例ヲ舉クレハ左ノ如シ
 古來ノ慣習上晝夜ヲ四口ニ分チ晝間日ノ出ヨリ正午迄ヲ一口正午ヨリ日ノ入迄ヲ一口日ノ入りヨリ夜中迄ヲ一口夜中ヨリ翌日日出迄ヲ一口(約十ヶ年前ヨリ六時間宛ニ分テリ)トス其一口ノ配水反別八畝乃至一反三畝歩トス之ハ古人ノ鑑定ヲ以テ滲透力ノ強弱ヲ見計ヒ定メタルモノニシテ今尙ホ一ノ苦情ナクシテ灌水シツ、アルモノアリ

三 河内村字野登路部落ニ於ケル田反別約十町歩ニ對シテハ灌溉用水ニ乏シク昨年ノ如キ旱魃ニ際シテハ隨意ニ灌溉ヲ爲ス能ハサルヲ以テ作人相互ニ交替シテ上地ヨリ順次分配スルノ法ヲ定メ以テ適當ニ之ヲ實行シタル例アリ

四 地御前村字大神我迫用水ハ總テ溜池ニ近キ上ノ田ヨリ之ヲ取り順次下ノ田ニ及フ但シ旱魃ノ場合溜池ノ水ヲ出シタルトキハ村勸業委員監督ヲナシ其田ノ狀況ニ依リテ隨意之ヲ供給ス

賀茂郡

五 川上村ニ現存スル用水ノ分配方ハ灌溉水ノ潤澤ナル山田村ハ然ラサルモ旱魃ノ場合ハ自己ノ田地ト雖モ勝手ニ水ヲ引クコトヲ得サルノ慣習アリ例ヘハ甲ノ池ノ水掛リ田一町歩トスレハ其「水子」ノ

内ヨリ毎日交代水當夫役二人ヲ雇入レ兩派ニ水ヲ流シ之ヲ乾キタル田ニ第一位ニ給水シ他ハ漸次之ニ準シテ分配ス然ルトキハ水ノ節約ト各地主ノ水當時間ヲ多ク要セサル等適當ナル水分配ノ慣習ナリト認ム

蘆品郡

六 府中町字羽中溜池掛リノモノハ總反別ニ對シ均一ニ分配シ且ツ費用ハ平等ニ負擔スルノ慣習アリテ適當ナリト認ム

七 出口町字蘆高耕地、神田耕地、川骨平、尾後瀬、辻砂場、羽中ノ一部、二本木、赤岩ノ下堂ノ久保等ニシテ用水ハ平等ニ之レヲ分配引用シ旱魃ニ際シテハ河水及池水ニ水番ヲ附シ反別ニ依リテ平等ニ分配セリ出口川ノ流域ハ千七百間ニシテ其源ヲ荒谷ニ發シ九箇ノ谿流ヨリ注クモノヲ合シテ稻田ニ引用セルモ其流源ノ淺キヲ以テ古來旱魃ニ苦メリ故ニ大小數個ノ池ヲ設ケテ旱魃ニ備フル外治水工事ニ深キ注意ヲ拂ヘルハ先人ノ遺ス所ニシテ用水ノ分配方法ニ於テハ其慣習ヲ適當ナリト認ム池水ノ引用ニ對シテハ各耕地ノ流域ニ設置セル堰ノ數ニ相當セル竹筒ヲ以テ水ノ分配ヲ行ヘリ此ノ竹筒ハ古來墓地ノ花筒ヲ利用セルモ近時直徑寸法ノ同シキ竹ヲ以テセリ

甲奴郡

八 分配ノ適當ナリト認ムルモノハ用水缺乏ノ場合ニ於テ井堰又ハ溜池ヨリ分水スルニ當リ關係者一

同協議シ最寄田區ヨリ順次灌溉シテ其普及ヲ圖リ亂用ヲ嚴禁シ水車等ヲ使用セシメサルモノ又ハ新開及地目變換等ニ依リ田トナシタル場合ニ於テ契約又ハ承認ヲ得テ灌溉スルモノナリ

双三郡

九 用水ノ分配ハ井堰又ハ溜池掛ニヨリ其方法異ナルヘシト雖モ本郡ハ溉シテ溜池掛ニアリテハ水路ノ分岐點ニ分木ヲ据ヘ分配シ又井堰掛ニアリテハ自由ニ引用スル慣習ナリ而シテ一朝旱魃ノ場合ハ井堰ニ於テモ分木ヲ据ヘ之ニ番人ヲ附シテ分配シ各耕作者ハ協議ノ上灌溉セリ又愈々渴水トナリ分配スル事能ハサルトキハ旱害ノ程度ヲ調査シ用水ヲ何レカ一方ノ水路ニ經メ引水シ「切り落シ」ト稱シ水路ノ順序如何ニ拘ラス田ノ上部ヨリ灌溉シ田ノ全面ヲ浸スヲ程度トシ畦畔ヲ切り漸次下部ニ灌溉スル慣習ニシテ適當ノ方法ト認ム

一〇 山内東村下原下宇津田以外ニ池反別九反七畝歩ノ瀦水字中原耕地反別二十一町歩ニ灌溉スルニ當リ内八町歩ノ田地ニ灌溉スルハ頗ル困難ナリ故ニ二年ニヨリテハ此全耕地ニ供給ノ充分ナラサル事アリ斯ルトキハ插秧後水下關係者ハ日々順番ニ二人以上出夫シ灌溉水ノ權衡ヲ失セサル様監督スルノ例ナリ尙此外本村溜池八十一箇所ハ尙此例ニ據ル其方法至當ト認ム

一一 同村大字上原所在官有國兼瀦水池八十九町餘歩ノ瀦水大字上原ノ内五十八町三反歩ニ對シ主トシテ給水スルノ例ナルニモ不拘矢張り此ノ水下地ノ内大字上原小深田反別二町餘歩ヘ對シテハ插秧

後ハ日ヲ限リ一日當該地ヨリ日々出水量ノ約十分ノ二ヲ分配シ其上ハ旱魃ニ苦シムモ給水ヲナサス又三日市四町歩ニ對シテハ毎年五月二十日ヨリ九月一日マテ該池日々ノ出水量全量ノ約十分ノ一二足ラサルモノヲ給水シソレ以上ハ如何缺乏スルモ分配セス之等ハ舊慣ニヨル適當ナル方法ト認メラ

山口縣

番號	郡名	所在	事項
一	玖	到郡日積村	河水及溜池ニ依リ用水ノ引用チナスモノハ關係者ヲ分チ晝夜二回番水トシ且ツ所有土地ノ廣狹ニ依リ水針ト稱シ其ノ溝中ニ應シ木材ヲ以テ山形ノモノヲ作リ之ヲ据付ケ用水ノ分配チナス如キハ全村各部落ニアリ
二	吉	數郡秋穗村	本村用水源ハ主トシテ溜池ニシテ最初ハ作主自由ニ水ヲ注グテ例トシタルモ過半減シテ凡テ二度位分配シテ後貯水ノ盡ル見込ノ頃ヨリハ水上ノ田地ヨリ順次ニ瀦水スルコトハシ愈々旱天永ク續グトキハ作主交互ニ出テ、水ヲ注キ其ノ人以外ノモノハ灌溉ニ手ヲ下スコトヲナサシメサル例ナリ

和歌山縣

海草郡内各町村

一 町村内又ハ一 大字又ハ數大字ヲ以テ區域トセル溜池灌溉地ニ於テハ用水期中回水係ヲ置キ灌溉ヲ

司ラシメ目々受持區域ヲ巡視シ最モ必要ト調ムル水田ヨリ順次ニ灌溉シ作主ヲシテ關與セシメス又旱魃ノ際ハ特ニ回水係ノ外ニ若干名ノ水利委員ヲ設ケ日夜回水係ヲ指揮監督スルヲ以テ萬事公平ニ行ハル

二 日高郡早蘇村

本村大字玄子一町一反歩、大字早藤八反歩此兩字用水分配ノ方法ハ灌溉反別ヲ標準トシ井堰口ニ計量石ヲ据エ付ケ兩字ニ分配ス

三 西牟婁郡西ノ谷村、富里村及中芳養村

古來全村ニ亘リ關係耕作人互選ヲ以テ年々二人乃至三人ノ水守ナル者ヲ定メ灌溉一切ノ責ヲ委任シ水守ハ最モ公平ニ配水スル習慣アリ

四 同郡稻成村

全村ヲ三區域ニ分チ申合規約ヲ作り水利委員ヲ選ヒ公平ニ配水ス其ノ委員ニ對スル手當ハ年反當玄米一升ノ割ニ支給ス

五 同郡佐本村

本村灌溉區域内ハ水田及反別ニ應シ水路ノ各分岐點ニ灌溉反別ニ相當スル分水板(例ヘハ反當用水路幅何寸何分ノ割トスルカ如シ)ヲ設置シ以テ全區域内ノ用水供給量ヲ反別割ニ按分ス

六 同郡有田村ノ内地積約十二町五反歩

村内一般ニ各小字若ハ二三小字毎ニ井堰ヲ設ケ上流ノ田ヨリ順序正シク灌溉シ旱魃ノ年ニ於テモ此ノ順序ヲ亂スコトナク行ハル

香 川 縣

用水ノ分配ハ大要現反別、公儀面(改租前面積)、及舊石高(藩制)ニヨリ日割、時割又ハ池尻、用水路ニ於テ一定分岐堰ヲ設ケ配水方法ヲ定ムルト雖其割當ニ付灌溉反別ニ比例セサルノ甚タシク又水路途中ニ於ケル種々舊慣ヲ口實トセル盜水アリテ常ニ不公平ト認ムルモノ不尠今其ノ一、ニヲ列記シ尙四ヶ池(縣下第二ノ大池)ニ就キテハ別冊下調書ヲ添付セリ

一 川田池

大川郡譽水村大字西村池敷面積十三町五歩、池ノ灌溉面積ハ舊石高千三百石二斗六升八合ナリシヲ明治九年現反別百三十町九反二畝十二歩ニ改正セリ今其ノ區域ヲ分割セハ譽水村大字西村九十五町一反九畝五歩(舊九百二十三石一斗一升三合)、字横内内二町八反四畝十八歩(舊二十七石一斗五升五合)字水主三十八町三反三畝十五歩(舊四十石)丹生村大字小磯十一町九畝十歩(舊百五十石)落合十七町九反五畝二十四歩(舊百六十石)

池ノ水分配ニ就キ重ナル事項ハ水掛惣代一名、土工係一名、及立會人トシテ大地主、大人列席合議ニヨリ決定シ各部落ノ配水ニ就テハ前記役員監督ノ下ニ水引十二名ヲ雇備シ灌溉期間各受持區域ヲ定メ地面ヲ巡視シ配水ノ公平ヲ持續セリ尙水引キニツキ不正、不公平ノ處置アラハ何時ナリトモ解雇シ適當ノ人ヲ交代セシムル事トセル爲メ常ニ平均公内ノ配水ヲ得區民ニ於テ不滿ノ聲ヲ聞キ事ナシ、減水ノ場合ハ前述ノ役員及立會人池堤ニ協議シ時刻ニヨルカ加減抜キニヨルカ等應變ノ處置ヲ決定ス之ニ要スル費用ハ現反別割ニナスモノニシテ特ニ水引キ費用ハ小作人ヨリ一反ニ付キ玄米一升七合ヲ支出シ十二人ニ分配シ惣代ハ年額四圓ヲ池守土工係ハ出日ニヨルモノニシテ地主ノ負擔トシ年二回ニ徴收スルモノトセリ一ヶ年平均四、五十錢内外ナリ

愛媛縣

- 一 宇摩郡金生、金田、三島、中之庄、土居村
右各村ニ於テハ河川ニ井堰ヲ設ケ水路ヲ通シテ上部ヨリ順次ニ引用灌溉シ又用水係ニシテ溜池ナルトキハ關係者協議ノ上池樋ヲ拔キ水路ヲ通シ古來ノ慣習ニ依リ時間ヲ定メテ各筆ニ分配ス此際ニ於テハ若干名ノ監督者ヲ水路及面積ニ應ジテ數名ノ人夫ヲ付シ灌溉セシメ公平ヲ缺クコトナカラシム
- 二 上浮穴郡久萬町大字久萬町上野尻、下野尻

左記方法ニ依リ水利係ニ於テ分水ヲ大別シ各田ノ分水ハ關係作人ニ於テ引水ス
分岐點及支分岐點ニハ各水田反別ニ應ジ形ノ分水木ヲ埋メ之ニ依リ分水ヲ大別シ各移植田ヘ相當分配ス

三 新居郡中萩村大字中村

國領川ノ水ヲ使用スル箇所ニ在リテハ毎年六月中旬迄隨意ニ灌水シ番水トナルヤ六日間一晝夜(新居濱一日金子二日角野一日大字中村一日ノ割)ノ分配ヲ受ケ中村字松木ヘ三分三厘字本郷ヘ六分七厘ノ割ヲ以テ灌水シ右二字地所ヘ二回灌水ヲ了シタルトキハ字横水ノ田面ニ一面灌水ス故ニ之ヲ半掛ケト稱ス以上ノ方法ヲ以テ稻作生育中反覆ス

高知縣

- 一 安藝郡佐喜ノ濱村、入木、根丸、舟場、浦、尾崎、部落及高岡郡與津村六川、兩島田、松尾地、神子ヶ谷、元谷、本村部落ニ於テハ給水期間前者ハ各部落ニ一名若ハ二名後者ハ全區域ニ四名ノ引水係ヲ設ケ配水ニ關スル一切ノ全權ヲ委任シ適當ニ給水スルヲ以テ物議ヲ惹起スル等ノコトナシ報酬トシテ前者ハ一反步當リ米二升五合後者ハ一人ニ對シ米一石ヲ給ス
- 二 高岡郡高岡町鎌田井筋ニ於テハ各分水點毎ニ分水標準木ヲ入レ如何ナル理由アリトモ動カスヘカ

ラサルコト、ナリ居レリ之野中兼山開鑿ノ當時埋没セシモノヲ標準トシタルモノニシテ之ヲ分木ト稱ス

福岡縣

- 一 筑紫郡太宰府町大字奥園幸ノ堰ニテハ引水擔當者一名ヲ常置シ個人任意ニ灌溉スルヲ許サス擔當者ハ絶ヘス用水不足ノ水田ニ注意シ客年ノ如キ旱魃ニ際シテハ水田反別ニ比例シテ配水セリ
- 又同郡三宅村ニ於テハ關係各區協議ノ上其年ノ水量ニ應シ或ハ各區任意ノ引水ニ委ネ或ハ交互時間ヲ協定シテ引水セリ昨年ノ如キ旱魃ニ際シテハ水田反別及水田ト水源地トノ距離ヲ考査シ各區ノ灌溉時間及順序ヲ定メタルカ配水能ク下流ノ水田ニ及ヘリ
- 二 八女郡川崎村大字北田形區及柳島區ハ同一水路ヨリ灌溉シツ、アルカ用水ノ分配ハ往時ヨリ特定ノ岩石ヲ目標トシ流水ノ分配ヲナスノ慣習ニシテ水路修繕費ハ水田反別ニ應シテ四分六分ノ割合ヲ以テ負擔セリ
- 三 三潞郡荒木村大字荒木北部及白口ノ一部下荒木ノ一部二十町四反歩ハ三井郡上津荒木村ヨリ七分七厘ノ割合ヲ以テ分水ヲ受クル慣例ナリ

大分縣

- 一 大野郡白山村ニ於テハ用水ノ分配ヲ公平トナラシムル爲メ水引時期ハ關係者中ヨリ水引當番ヲ置キ公平ニ分配シ其當番ハ關係者ノ順序ヲ以テスルノ慣習アリ用水ノ分配ニ付テハ同郡數多ノ町村ハ此方法ニ依ル
- 二 同郡緒方村ニ於テハ用水分配ノ方法トシテ各反別ニ割り當テ樋管ヲ裝置シ公平ニ分配ス
- 三 同郡金岡村ニ於テハ全村ニ通シ用水分配ノ方法トシテ潜水法トテ例ヘハ甲田ニ滿水スレハ乙田ニ漑キ乙田ニ滿水スレハ丙田ニ漑キ以テ公平分配ヲナス
- 四 同郡長谷村ニ於テハ用水ノ分配點ニハ反別ニ應シ形ノ分水器ヲ据付ケ分水シ居レリ何レモ適當ナリト認ム

佐賀縣

- 一 西松浦郡南波多村大字府招ノ新井堰ハ大字府招及大字小麥原ノ共同井堰ニシテ分水樋ヲ設ケ其一半ヲ大字府招ノ耕地ニ漑キ他ノ一半ヲ大字小麥原ノ耕地ニ灌ク而シテ該井堰ノ修繕改築費等モ折半シテ之ヲ負擔シ兩字間圓滿ニ事ヲ行ヘルハ適當ナル用水ノ分配法ト認メラル

熊本縣

- 一 飽託郡池田村字長迫反別五町歩ノ用水分配ハ水番一人ヲ置キ配水ニ關シ全權ヲ委ネ各耕作者ニハ絶對ニ干涉セシメス番人ニ對スル報酬トシテ一ケ年玄米七斗四升ヲ給ス
- 二 鹿本郡稻田村地内ニ於ケル津袋堰ハ其灌溉區域來民町大字來民同御宇多稻田村大字津袋ニ亘リ左記ノ如キ時間分水ヲ行ヒ平和ニ灌溉シツ、アリ
 - 午前午後共四時ヨリ六時迄 稻田村津袋
 - 午前六時ヨリ午後四時迄 來民町御宇多
 - 午後六時ヨリ午前四時迄 同 來 民
- 以上三區域ノ内津袋ハ用水路ノ首位ニアリテ其堰所及水路ノ敷地ヲ提供シ又井堰監視ノ任ニ當ル爲井堰及水路ノ修理保存ニ對シ何等ノ負擔ヲナサス
- 三 阿蘇郡久木野村水利組合ニ於テ舊藩時代(年月不詳)ヨリ樋管帳ヲ設ケ灌溉ノ量ヲ定メテ分水シ旱害ニ際シテハ上流ノ樋管口ヲ歩合ニ依リ縮少シ分配シツ、アリ
- 四 同郡錦野村、長陽村、黒山村ニ於テハ分水木ヲ設ケ分水量ヲ定メ分水シツ、アリ又錦野村長陽村ニ於テハ旱害ニ際シテハ廻掛ト稱シ輪番ニ灌水シツ、アリ

宮崎縣

郡	名	所	在	附	記
宮崎	木花	加熊江野	正蓮寺 新正蓮寺		

本地區ハ水源ヲ清武川ニ取リテ其用水分配又ハ排水ノ方法トシテ昔ヨリ井手守、土堤守等ノ役目ヲ置キ井手守ハ井手ノ修繕及改設等ヨリ各所用水ノ分配ヲナシ土堤守ハ悪水ノ排防ヲ爲ス是等役員ニ對シテハ給地トシテ二反歩、乃至一反五畝歩ヲ在職中無代貸與ス

鹿兒島縣

一 用水ノ分配ヲ均等ナラシムル爲メニ關係地主中ヨリ水守役ヲ選任シ用水分配ハ凡テ之ニ一任シ各自ニ於テ勝手ニ引水ヒシメサルカ故ニ紛擾ヲ來スコト少シ水守役ノ報酬ハ關係土地ヨリ金錢或ハ玄米ヲ徵收シテ之ニ充ツ此ノ方法ハ縣下一般ニ行ハル、モノニシテ適當ナル方法ト認ム用水分配不適當ト認ムルモノ及排水ニ關スル慣習ニ付テハ記載スヘキモノナシ

第三 用水ノ分配ニ關スル慣習ニシテ不適當ナリト認ムル實例

北海道

一 上川支廳管内上川郡劍淵村サクルーシユケネブケ川ヲ水源トシテ和寒原野十九線二十一線間ニ掘鑿セル灌溉溝ハ少數ナル關係地主ノ共同事業トシテ掘鑿セラレ目下二十町歩餘ノ水田ヲ灌溉シアル然ルニ其ノ後同地方ニ於テ水田經營希望者甚タ多ク又同川ノ水量ハ尙多ク面積ヲ灌溉シ得ヘキモ未タ水利權ヲ得ルニ至ラス爲メニ全水量ヲ利用スル事能ハサル状態ニシテ之等ハ用水ノ分配適當ナラサルモノナリ

二 札幌支廳管内 甲第一項ノ五六七八ノ加入料ハ何レモ私設組合ニ於テ徵收スルヲ以テ其金額高價ナリ斯ノ如キハ極メテ不適當ト認ムルヲ以テ新ニ土功組合ヲ組織シ一定ノ標準ノ下ニ此等新加入者ニ對シ其維持管理ニ要スル費用ヲ賦課スルト同時ニ少許ノ加入料ヲ徵セシムル見込ニテ夫々勸誘中ナリ

京 都 府

一 愛宕郡下鴨村 鴨川筋上流ニ大宮村二個所上賀茂村四個所ノ井堰アリ從來石高割ノ舊慣アルモ近年行ハサルカ如ク水論絶ヘス

高野川筋ハ上流ニ修學院村、田中村、松ヶ崎村ノ井堰四ヶ所アリ何レモ舊石高割ノ慣習アルモ松ヶ崎ハ引水ヲ自由ニセルカ爲旱魃ニ當リ常ニ困難ヲ感ス石高割分水方法舊奉行ヨリ裁決書アリ

二 與謝郡加悦町 加悦町大字加悦小字上ヶ石ニ存在スル溜池ハ古來上ヶ石灌溉用水ノ名義ニシテ之レカ敷地料其他一切ノ費用ハ區費ヲ以テ支辨シアルニ拘ラス用水使用ニ際シテハ小字上ヶ石ノ農民所有田ノ専用ニシテ他字ノ所有スル耕地カ此溜池ニ接近シアルトモ一切使用ヲ禁セラレ居ル惡習慣アリ

大 阪 府

一 南河内郡狹山池法下ニアリテハ用水潤澤ナラサルヲ以テ用水分配上惡弊多シ即チ用水ハ水利組合ノ規約ノ定ムル所ニ依リ檢量標ヲ以テ一定ノ時間各村ニ分水シツ、アルモ上流村ニアリテハ自村ノ割當量ノミニテ不足ナルヲ以テ下流村引用ノ際ニ方リ水路沿堤塘又ハ畦畔ニ穴ヲ穿テ盜水ヲ行フ又水路ハ所屬村ニ於テ常ニ之レヲ管理修繕スルノ舊慣ナルヲ以テ水路崩壞等ノ爲下流村カ引水ノ場合ニ方リ通水困難ナリト雖所屬村ノ同意ヲ經ルニ非サレハ浚渫スルコトヲ得サルノ不便アル如斯ナルヲ以テ下流各村ハ上流村ニ對シ常ニ其歡心ヲ買フ爲金品ヲ贈呈シ又下流部落ノ番水ナルトキハ各農民ハ老若ヲ問ハス舉テ盜水ノ豫防ニ從事シ夜間ニ及フトキハ焚火シ嚴重ニ警戒ヲ加フル等年々莫大ノ勞費ヲ費消ヒリ

二 北河内郡寢屋川村所屬北河内郡二十ヶ用水普通水利組合字猪ノ鼻ノ樋管ハ古來ヨリ灌溉ノ緊要期

間ニ於テ開放シ組合區域外ニ用水ヲ供給シテ下流ノ組合區域内ニ屬スル中河内郡北江、西六郷、東六郷、英田玉川各村ノ困難ヲ顧ミサル惡弊アリ從テ下流諸村ニ於テハ相當組合ノ經費ヲ負擔セルニ拘ラス尙上流ノ部落民ニ對シテハ常ニ禮ヲ厚クシ其感情ヲ害セサルコトヲ努ムルノ狀況ナリ

三 泉北郡八田莊村所屬上神谷川筋ニ庄田湯井堰アリテ同郡鳳村大字大鳥(三十三町)濱寺村大字船尾(五十五町)ハ同一ノ溝渠ニ引水シ平時ニアリテハ水上タル大字大鳥ヨリ水下ナル大字船尾ニ順次灌溉スルノ例ナルモ旱魃ニ際シテハ大鳥領ニ獨占シ字船尾領ニ一滴ノ水ヲモ供給セサル爲下流ノ部落ハ實ニ慘狀ヲ見ルニ至ル然トモ樋管修繕、溝渠深掘人夫等灌溉ニ要スル費用ノ負擔ハ全部平時等反別割トナスハ不當ナリトス

神奈川縣

一 鎌倉郡中和田村下飯田ハ村内他部落ニ比シ最優等ナル水田ナリシニ今ヲ去ル凡ソ三十年前高座郡澁谷村高倉ニ二ヶ所ノ水車設置ノ計畫アリ該水車ハ境川ニ堰止ヲナシ其用水ヲ以テ運轉セントスルモノナルニ依リ當時該設置者ニ對シ再三交渉ヲ重ネシモ應セス今日ニ至リ繼續運轉セル爲メ年々用水不足シ水車設置以來二十町歩ノ水田ハ充分ナル收穫ヲ得ル能ハス右二ヶ所ノ水車ハ農業水利上ヨリ見ル時ハ用水分配上適當ナラスト認ム

兵庫縣

現ニ水利組合若クハ耕地整理組合ニ於テ分水又ハ排水ノ方法ヲ講シタルモノハ先ツ公平且ツ適當ナリトスル方法ヲ擇フヘキモ古來ヨリノ習慣ニ依ルモノハ其分水方法ニ於テ公正ナラサルモノ尠ナカラス其方法素ヨリ千差萬別ナリト雖モ中ニ就キ二三ノ事例ヲ摘記セムニ

一 飾摩郡御國野村 水源ハ花田村所屬市川幹流花田井堰ニシテ水源ヨリ御國野村ニ至ル最近距離約四十丁其間ニ於テ重ナル用水溝上郷下郷ノ二線アリ御國野村最下流村ニ達スル途中上郷二十四ヶ所下郷ニ七ヶ所ノ分水ノ設備ナキ不完全ナル分岐アリ平水中ハ分岐ノ全部開放セルモ濁水ノ場合ハ上流ニ於テ必要トスル分岐ヲ閉塞ス下流ニ於テハ之ヲ開放スヘキ權利ヲ有スル溝ト權利ナキ溝トアルモ自然何レモ上流ノ自由ヲ免レス

前記ノ理由ニ依リ濁水ノ場合ハ下流村ハ灌溉不可能ナルヲ以テ明治三十年七月上流花田村ノ内小川村、敕旨村ヲ相手取り下流村花田村ノ内上原田村、加納原田村、及御國野村ノ内深志野村、國分寺村、御着村ノ五ヶ村ヨリ花田井番水法行使權確認ノ訴訟ヲ提起シ姫路支部ニ於テ下流村ノ勝訴トナリシカ上流村ハ之ヲ不服トシ控訴セシモ再ヒ下流ノ勝訴ニ歸シ更ニ上流村ハ大審院ニ上告シタルモ第一審判決ノ通り井郷中一區タリトモ番水ノ必要ヲ認メタルトキハ何時タリトモ番水法ヲ實行スハ

キ權利ヲ得タリシモ實際ニ當リテハ上流下流ノ意見一致セズ自然上流ニ壓セララル、状態ニシテ昨年ノ如キハ紛争ヲ惹起セムトセリ

二 城南村ノ内阿保村

水源ハ市川ニシテ井堰關係區域ハ姫路市東郷町、及市ノ郷村(新耕地六十町歩)城南村ノ内阿保村(耕地二十五町歩)ナリ是ニ要スル費用ハ阿保村ニ於テ其二分ノ一ヲ負擔ス然ルニ用水一朝缺乏ノ時ハ阿保村ノ地域ヘハ通水セサルヲ以テ水上ナル姫路市東郷町ヘ番水ヲ申込ミ其承諾ヲ待チテ東郷町及市ノ郷ニ一晝夜供給スレハ阿保村ハ一日若クハ一夜即チ三分ノ一ヲ受クルニ止マリ剩ヘ水番交替ノ前後ノ間ハ東郷町、市ノ郷村ニ引水ヲ爲ス慣習アリ

三 加西郡富田村ノ内西上野旗指池灌溉面積ハ北條町ノ内黒駒村所屬十七町歩富田村ノ内市村所屬十九町歩ニシテ該池ニ關スル經費ハ黒駒市村各半ニ負擔スルニアルモ其用水ノ分配ハ底樋一本ノ分ハ兩村隔日ニ引水シテ平等ナルモ上樋ハ兩村之レヲ異ニシ其樋穴ノ直徑黒駒ノ分三寸市村ノ分三寸五分尙其穴ノ位置市村ヨリ黒駒ノ方七寸高部ニアレハ其穴ノ程度ヲ同一トスルトモ水ノ壓力ニヨリ排水量ニ自ラ差異アルヘキ筈ニシテ頗ル不適當ナル分配方法ト云ハサルヲ得サルヘシ此外之ニ類スル不適當ナル分配方法ノ習慣ハ各村ニ在リト云フ

四 赤穂郡鞍居村

同村ノ内尾長谷村本井掛リ下流ノ耕地ハ用水潤澤ナル歳ニアリテハ各耕作人自由ニ灌水シ得ルモ一朝旱魃ニ際セムカ番水ト稱シ各耕作人順番ニ番ヲナシ適當ニ用水ヲ灌クヲ常トス而シテ旱魃ノ甚シキニ及ンテハ香番ト稱シ線香ヲ燒キ以テ田反別ニ應シテ時間ヲ計リ灌水シ來レリ此等ノ方法ハ他ノ耕地ト大抵同様ナリトスルモ只茲ニ異ナル點ハ普通耕地ニ灌水スルニハ先ツ水上ノ耕地ヨリ用水ヲ入レ初メ次第ニ下流ニ及ホスヲ常トスルニ本井掛リヨリ下流ノ井堰ハ是ト反對ニテ其井堰掛リノ最モ下流ノ耕地ヨリ用水ヲ入レ初メ次第ニ上流ニ灌水スルノ習慣ナレハ用水使用上甚タ不便ナルノミナラス自然多量ノ用水ヲ要シ偶昨年ノ如キ長期ノ旱魃ニ際セムカ一層其度ヲ高メ現ニ本村中ニ於テモ旱害ノ甚シキハ該井堰ヲ以テ最ナリシト云フ

五 神崎郡大井堰

中寺村ノ内溝口、土師岩部村、香呂村ノ中廣瀬、香呂、中屋、中仁野、犬飼、田野ノ九部落耕地ニ灌溉スル大井堰ニテハ明和七年ニ於ケル大旱魃ノ際紛擾ヲ生シタルヲ以テ姫路藩ヨリ代官出張ノ上双方調停ヲ遂ケ自後番水トナスコト、シ即チ田反別一町歩ニ付其當時火繩三寸五分當リニテ水ヲ使用スヘキコト、ナシ明和七年七月十八日ニ各關係村組頭並庄屋ノ連署セル定證文ヲ締結シ將來旱害ヲ場合ニハ之ニ依ルヘキ慣習トナリタルモ爾來數回ノ旱害ニ當リ之カ實行困難ニシテ屢紛擾ヲ醸シタルコトアリシカ適々大正二年ニ於ケル大旱魃ノ場合ニ香呂村ヨリ曩ノ明和年間ニ締結セル定證文

ノ取行ヲ爲サムトセルモ中寺村ニ於テハ頑トシテ應セス双方紛擾ヲ重ネタリ

長 崎 縣

一 壹岐郡ニ於ケル灌溉用水ハ河川又ハ溜池ニ依ルモノ多シ然ルニ溜池法下ニシテ在昔用水ノ分配ヲナセシモノ改租ノ當時溜池ノ所有者連名中法下ノ田地全部ヲ加ヘス溜池附近田地所有者若干名ヲ以テ持主トシタル爲メ今日ニ至リ旱魃ノ際ハ配水ヲ拒ムモノ鯨伏村ニ三ヶ所反別二町二反歩アリ

新 潟 縣

一 中蒲原郡新津町附近耕地一帯千百有餘町歩ノ用水源タル能代川一堰及二堰ノベ切ヲ舊慣ニヨリテ年々一定ノ時期ニ於テ行ヒ用水ヲ取入ルルモ此ノ方法ハ適當ナラサルモノナリ兩堰ハ共ニ新津町大字田家地先ニ在リ前者ハ五百二十一町九反九畝二十五歩後者ハ六百〇五町二反七畝十九歩ノ廣大ナル灌溉區域ヲ有スルモノニシテ何レモ往昔ヨリ八十八夜二十日目ヲ以テ水戸留ヲ爲シ始メテ用水ヲ引用スル慣習ニシテ其時日ヲ伸縮スルコト能ハサルカ爲メ之レカ灌溉田地ハ插秧ノ時期ヲ失シ早冷ノ年ニアリテハ意外ニ凶作スルコト屢々アリ故ニ右兩堰トモ舊慣ニ依ルベ切日ヲ繰上ケ八十八夜以前ニ水戸留ヲナシ以テ灌水ノ時期ヲ早ムルヲ適當ナリトスルモ容易ニ改ムルコトヲ得ス落堰ハ從前

ノ例ニ依リ二百十日ヲ以テ適當ナリトス

埼 玉 縣

一 北葛飾郡 靜村ニ於ケル用水ノ分配ハ一回ヲ十五日間ト定メ一町十二ヶ大字ノ總反別ニ配當シ各大字毎ニ使用スルノ習慣ナルカ田反別僅少ナル靜村大字伊坂ノ如キハ引用時間僅少ナレハ漸ク水路ニ滿タスニ止マリ田面ニ灌溉スル能ハサル状態ナリ

二 同郡庄内領(櫻井村、富多村、南櫻井村等ヲ含ム)用水組合ノ内中用水ト稱スル一線ハ其沿線ノ地勢ニ從ヒ流下スルヲ以テ自然ニ放流スルニ於テハ下流ノ低場ハ十分ニ灌溉スヘキモ途中ノ高地ニハ灌溉スル能ハス是ヲ以テ途中ニ幾多ノ堰埵ヲ設ケ水位ヲ高メテ引用スルノ慣習ナリトス故ニ一朝旱魃ニ際スル時ハ用水ヲ途中ニ遮斷スルヲ以テ下流ハ全然缺乏ヲ告クルニ至ル其下流區域ハ南櫻井村大字上柳反別八十町六反餘歩ナリ

三 北埼玉郡 星河村大字齊條地内上下垵樋ノ兩所ハ上郷ヲ南河原村ノ内大字大塚、馬見塚、中江袋ノ三大字及星宮村ノ内大字池上、下川守、下池上、下池守ノ四大字ト星河村ノ内大字和田トシ下郷ヲ荒木村ノ内大字荒木、小見ノ二大字及太田村ノ内大字須戸、小針、若小玉ノ三大字トシテ即チ舊十三ヶ村組合ヲナシ其費用負擔額ハ俗ニ草高ト稱シ各大字總反別ニ課シ其率上郷四分五厘下郷五分

五厘ノ舊規ナリト稱スルモ確證スルモノナク目下上以樋ノ如キハ大破ニ及ヒタルモ費用徴收困難ニシテ放任シアリ此慣習ハ從來適當ナル用水分配法ナリシカ今ハ荒木村及太田村ノ各大字共見沼用水ヲ利用スルニ至リタルヲ以テ適當ヲ缺クニ至レリ

四 北埼玉郡 村君村大字上村君北方用水ニ設置セル一口以樋ハ分水路ノ狭小ナルニ拘ハラズ口徑擴大ナル爲早魃ノ際開放シテ流水スルトキハ水路ノ沿道ニ溢シテ多大ノ迷惑ヲ來シ其レニ反シ用水ノ下流民ハ水引ニ非常ノ困難ヲ生スル場合アリ而シテ右ハ古昔(百年前)水利上ヨリ三田ヶ谷村大字彌勤(當時彌勤村)ト抗爭ヲ生シ遂ニ彌勤ニ以樋ノ左右權ヲ奪ハレ爾來本村ニ於テ改築ノ權能ナキ故今日ニ至ル迄不便ヲ感シツ、放任セリ

五 北埼玉郡 下忍村大字鎌塚一般ノ用水供給ハ大里郡佐谷田村地内不動堂組合ニシテ同堰ヨリ分水供給シ來ルモ流末ニシテ毫モ其用ヲ爲サス爲メニ從來ヨリ太井村大字門井惡水路ヨリ配水シ來ルモ字北裏、東裏ニ耕地面積廿二町三反三畝廿五歩ニ灌漑スルモ字一ノ中、二ノ中、西裏三耕地三十四町二反五畝廿九歩ハ井水ヲ以テ灌漑シ爲ニ供給不足ヲ告クルコト甚シト雖トモ他ニ適法ナシ

六 南埼玉郡 八條大用水ノ分流タル中井堀モ又常ニ用水不足ナルヲ以テ潮止村及八條村、八幡村ノ一部タル關係區域ニテ申合セ用水引用上番水ノ日割ヲ定メテ分配引用シツ、アリ其ノ關係ハ潮止村大字二丁目同大字木曾根、八條大字鶴ヶ會根、小作田、八幡村大字上馬場、中馬場トス

以上八條用水ハ延長約四里ニシテ耕地ノ中央ヲ貫流シ水路ノ兩側ニアル各大字ノ耕地ニ引用スルモノニシテ其ノ分水口ニ制水ノ設備ナキヲ以テ元以開放セハ用水不用ナル耕地ニモ入水スルヲ以テ排水ニ努ムル所アルニ反シ下流ニアリテハ用水不足ヲ告ケ居ルノ状態ニシテ要スルニ分配ノ方法適當ナラサル爲メ上流ニ過剰シ下流ニ不足スルノ状態ニアリ

七 比企郡 大岡村大字岡ノ一部ハ大里郡吉見村ニ導クヘキ吉見用水路ヨリ分配ヲ受ルモノナルモ吉見用水組合ト連絡ナキ爲メ往々紛擾ヲ醸スコトアリ而シテ同用水ハ大字岡地内ヨリ和田吉野川ヲ導キ同地内ヲ通過シテ大里郡吉見村ニ至ルモノニシテ從來ノ慣習上吉見用水組合ニ於テ晝間使用シ夜間支障ナキ限リ大字岡ニ於テ使用スルヲ得ル事トナリ居レトモ時々意見ノ衝突ヲ來スヲ認ム之カ改善ノ方法トシテハ組合ト用水引用者ト協商ヲ遂ケシメ圓滿ナル分配方法ヲ協定スルノ外ナシ勿論組合員外ノ引用者タルヲ以テ組合ニ對シ相當ノ金銭又ハ勞力ノ寄附ヲナスハ又當然ナラン

八 北足立郡 片柳村大字片柳字東耕地(加田屋分用水)ノ田用水ヲ同所ヨリ三室村大字三室、宿、馬場、宮本ノ三字田約十三町歩ノ用水ニ竊ニ使用スルノ惡慣習アリ是レハ昔日ヨリノ惡例ナリ

九 大里郡 幡羅村大字東方地内ハ水引堀ナク爲メニ他人ノ所有地タル隣田ヲ經過シテ灌水シ又排水ノ場合同様下流ノ他人ノ所有田ヘ排水ヲ爲ス所アリ甚敷ニ至リテハ丁ノ田ニ灌水スルニ當リ甲乙丙ヲ順次經由シテ之ヲ爲スカ如キアリ排水又同シ而モ灌排水共ニ各自任意ニ隣接所有者ニ對シ無斷

之ヲ爲スノ慣習アリ之レカ根本的改良方法トシテハ耕地整理ヲ施行シ水路堀鑿スルニアリ

一〇 入間郡 越生町大字上野地内字青木堰ハ同大字ノ中央ヲ貫流スル小河ニ張立テタル堰ナルモ上流石田堰トノ間僅ニ二十間内外ナルヲ以テ石田堰ニ於テ嚴重ニ用水ノ張込ヲ爲ストキハ青木堰ノ用水不足トナリ同堰下ノ水田ハ旱害ヲ被ルコト尠カラズ而カモ石田堰ハ用水充分ナルニ拘ハラズ青木堰ニ供給セサル惡習アリ

一一 入間郡 入間川町ニ於ケル水田ハ入間川ノ水流ヲ引入レテ灌漑ニ供スル慣習ナルモ上流地タル水富村大字笹井地先ノ笹井堰並豊岡町大字黒須地先久保田堰ハ何レモ入間川流域ヲ全部要塞セルト瀬年出水ノ結果河身ノ變化セルトニ依リテ入間川町ニ於ケル水田ハ用水ノ供給ニ苦シムコト多シ
一二 北埼玉郡、南埼玉郡及ヒ東京府下ニ亘リ面積九千六百餘町歩ニ灌漑スル葛西用水ハ北埼玉郡川俣村地先利根川ヨリ引入レ同郡南端大桑村地内(此間約五里)ニ於テ北葛飾郡最北部ニ灌漑スル水路ヲ分テ本流ハ北葛飾郡ト南埼玉郡トノ界ヲ南流シテ(此間約一里半)北葛飾郡上高野村地先琵琶溜井ニテ北葛飾郡方面ニ二大用水路ヲ分水シ本流ハ更ニ南流スルコト約六里半ニシテ同郡松伏領村地先松伏溜井ニヨリ北葛飾方面ニ入り二大用水路トナリ逆川ヲ通シテ元荒川ニ入り更ニ瓦曾根溜井ニヨリ數條ノ用水路トナリ其一部ハ東京府ニ入り灌漑スル者ナリ而シテ琵琶溜井ニ於ケル前記二大用水分配方法ハ十日間ノ内三日間丈ク本流ヲ遮斷シテ用水ヲ分水シ殘三日間ハ本流ヲ開放ス故ニ分水

引入樋管ハ僅カニ通水スルノミニテ殆ント斷水ト等シキ状態ナリ依リテ關係區域ノ末流ニ位スル耕地ハ常ニ用水量不足ニ苦シミ番外水ト稱シテ特ニ末流區域ノ爲メ引用スルコトナトアリシカ其レスラ充分ナラサルヲ以テ到底如斯不完全ナル用水路ニ信賴スルコト能ハス遂ニ耕地區域内耕地百二十町歩ハ揚水機ヲ設置シ耕地整理ヲ施行シタル處アリ是レ水源ノ豊富ナルニモ不拘揚水機ヲ設置スルカ如キハ用水分配ノ適當ナラサルニ因ルモノナリ

群馬縣

一 佐波郡 八坂堰普通水利組合ハ同郡内三鄉村、伊勢崎町及茂呂村ノ一町ニケ村關係者ノ組合ニ成ルモノナルモ之カ灌漑水ハ其ノ通路ニ當ル勢多郡木瀬村地内笥井、上増田、下増田、二ノ宮ニ於テ組合費ヲ負擔スルコト無ク多大ノ水量ヲ放流使用セラレ其ノ插秧終了ノ後ニアラサレハ此ノ組合員ノ用ニ供スル能ハサルノ有様ナリ爲ニ組合地區ニ於ケル插秧ハ概ネ其ノ時期ヲ失シ收穫ヲ減スルコト少シトセス

千葉縣

一 千潟新川ト稱スル一河流ハ源ヲ香取郡ニ發シ匝瑛、海上ノ郡界ヲ迂曲シテ海ニ注ク用排兼用ノ水

路ナリ延長凡ソ三里幅約三十間ニシテ寛文十年總稱椿新田即チ干潟十八ヶ村(舊村)ノ堀鑿セシ所ナリトス此ノ河川ノ爲メニ利害ノ關係ヲ有スル地域ハ前記三郡ニ亘リ左ノ一町十三ヶ村ニ及ヘリ

香取郡 萬歳村、中和村、古城村、東城村、豊和村

海上郡 嚶鳴村、瀧郷村、鶴巻村、旭町、富浦村

匝瑳郡 豊畑村、共興村、共和村、椿海村

内

匝瑳郡 豊畑村、共興村、共和村及海上郡旭町、富浦村ノ一町四ヶ村ハ下流町村ニシテ毎年年用水ノ不足ヲ訴ヘ他ノ各村ハ上流地域ニ屬シ常ニ灌水ノ爲メニ苦ミツ、アリ故ニ上流村落ハ灌水排除ノ爲メニ新川下流ノ浚渫ニ腐心シ下流村落ハ河川ノ浚渫ハ水位ヲ低下セシメ灌漑ヲシテ益々困難ニ陥ラシムルノ虞アルヲ以テ極力之レニ反對セリスノ如ク相互ノ利害相反スルヲ以テ此ノ爭議ヲ解決スルニハ双方ノ利益ヲ尊重保護スルノ方法ヲ講スルニアラサレハ圓滿ナル協定ヲ見ルコト蓋シ難カルヘシ

明治四十三年上流七ヶ村ハ新川治水ノ目的ヲ以テ水利組合ノ設置ヲ計劃セシニ下流村落ハ之ニ反對シ双方協議ノ結果略ホ妥協ノ途ヲ講シ本年二月水利組合ノ區域ヲ指定シ關係三郡長ヲ創立委員ニ指定シ目下同委員ノ調査攻究中ニ屬ス

二 長生郡

一ツ松、白潟、南白龜、關ノ四ヶ村ニ亘ル約二千町歩ハ南白龜川ヲ擁シテ九十九里海岸ニ沿ヘル一大耕地ニシテ排水灌漑共ニ適當ナラサル地域ナリトス

一ツ松、白潟ノ二村ハ概シテ砂質壤土ニシテ海岸ニ向テ緩漫ナル傾斜ヲナシ用水源トシテハ不完全ナル貯溜池アリト雖トモ兩村ノ耕地全部ニ對シ灌漑スルニ足ラス多クハ雨水ヲ俟ツノ外ナキ状態ナリトス且ツ排水及用水溝ノ設備ナキカ爲メ雨量少ナキトキハ忽チ旱魃ノ厄ニ遭フモ一朝豪雨ニ際會セハ耕地一帯ニ惡水漲溢シテ水害ヲ被ルヲ常トス之レ寔ニ本地方ニ於ケル通患ナリト雖トモ豫メ之レニ對スル施設ヲナスニ於テハ此ノ患害ヲ除去スルコト敢テ難キニアラサルヘシ

南白龜、關ノ二ヶ村ハ其ノ一部南白龜川ニ沿ヒ毎年河川漲溢スルトキハ忽チ惡水沿岸耕地ニ氾濫シ水害ヲ被ルコト少カラス故ニ此ノ地方ハ差シタル灌漑ノ要ナシト雖トモ排水ノ設備ハ目下ノ急務ナリトス

斯ル不自然ナル缺陷ヲ救済スルノ方法ハ耕地整理ノ施設ニ俟タサルヘカラサルヲ以テ昨大正二年町村長其他有方家ノ申請ニ基キ基本調査ヲ了シタレハ遠カラス耕地整理ヲ施行シテ此ノ災厄ヲ免ル、コトヲ得ヘシ

三 山武郡

豊海村字藤下耕地ハ從來同郡東金町字堀上ノ餘水ヲ水源トセシカ享保十三年其ノ餘水ノ經過地タル同郡正氣村ノ廣瀬、家徳ノ二部落開發ノ爲排水路ヲ海岸迄開鑿セシカハ藤下耕地ハ全ク

其ノ水路ヲ遮斷セラレ現今正氣村山林中ノ溜水ヲ引用シツ、アルモ溝渠ハ漸次缺壞荒廢シテ淺少トナリ從テ水ノ流通甚シク阻害セラレ、ヲ以テ用水常ニ缺乏セリ然レトモ溝渠ノ底ハ之ヲ浚深シ得ルモ兩側ハ一鋤モ加ヘ得サルノ協約アルヲ以テ本村藤下耕地約三十町歩ハ旱魃ノ慘禍ヲ免ル、コト能ハサルノ状態ナリトス之レカ救済策ハ耕地整理施行ノ外他ニ途ナキモノト信ス

三 君津郡 清川村字長須賀ノ水田凡二百七町歩ハ古來同村祇園地先小櫃川ヲ堰留メ灌漑用水源トナシタリシカ更ニ寛永四年頃ヨリ同郡真舟村字太田ハ水神森地先ニ堰留メ工事ヲ施シ用水ノ補給ヲナセリ然ルニ該用水ハ獨リ長須賀部落ノミノ用水ニ充ツルノミナラス真舟村字太田ノ水田ニ灌漑スルニモ拘ラス其ノ維持管理費ハ勿論水路敷地費共總テ長須賀部落ニ於テ處辨スルノ慣習ナリトス其ノ經費毎年金百五十圓ヲ下ラサルナリ之レ用水分配費負擔ノ均衡ナラサル實例ナリトス

茨 城 縣

一 結城郡 關本町地内百二十町歩ハ江連用水ヨリ用水ヲ仰キ其對價ヲ支拂フ事ハ甲第一項ニ記載ノ如クナルカ同地方ハ從來用水源ノ設備ナク全ク天水ニ委スルノ状態ニシテ江連用水路ハ其最高位部ヲ南流スルカ故ニ再三同用水組合ニ加入ノ運動ヲナシタルモ同組合ニ於テハ水量不足ノ故ヲ以テ其都度加入ヲ拒絶スルカ故ニ止ムナク左記ノ如キ規約ヲ定メテ年々二百七十五圓ヲ支拂ヒ用水ノ分與

ヲ受ケツツアリ而シテ年々分水期ニ於ケル内情ヲ見ルニ規約第六條但書ノ如キハ頗ル曖昧ナルカ故ニ分水時間ノ長短ニ關シ種々ノ運動ヲナシ之カ爲メ其ノ費用年々千圓ヲ降ラス規約第四條ノ分水量ハ殆ント外部ヲ飾ルニ過キサレ有様ナリ而シテ同方面ノ分水過度ヲ失センカ江連用水組合約千六百五十町歩中下流ニ屬スル部分ニ於テ用水ノ不足ヲ告ケ又分水ニ際シ規約第六條ノ本文ノミヲ確守セシカ分水區域約百二十町歩ハ用水ノ不足ヲ來シテ豫期ノ收穫ヲ得ル能ハサルノ状態ナリ如斯ハ決シテ好慣例ト言フヲ得ス故ニ分水區域ヲ本組合ニ加入セシメ之ニ對スル相當流量ヲ取入口ニ於テ増加スルカ又ハ從來ノ關係ヲ廢シ其ノ西方ヲ南流スル鬼怒川ニ水源ヲ求ムルカ其一途ヲ撰フハ目下ノ急務ナラン

指令第 號

眞壁郡關本町大字關本 分水委員 島 田 清 藏

大正二年十月三十日願、同三年度餘水分與之件許可候條左記事項ヲ遵守シ請書差出ス可シ

大正二年十二月十八日

江連用水普通水利組合管理者

結 城 郡 長 氏 名 印

事 項

第一 本組合ニ於テ餘水アル場合ニ限リ分水スルモノトス

但、分水中ト雖モ水利組合區域内ニ於テ用水ニ不足ヲ生シタル場合ハ直ニ中止スル事アル可シ

第二 分水引入口ハ關本町大字船玉字源次郎及同町大字關本中字北盤ノ二個所ト定メ左ノ樋管ヲ設置シ常ニ鎖鑰ヲ施シ閉閉ヲ禁ス但樋管伏込ノ高低ハ本組合管理者之ヲ定ム

一 字源次郎ノ樋管ハ高一尺横一尺五寸長三間

二 字北盤ノ樋管ハ高五寸横七寸長三間

第三 前項ノ設計工事ハ總テ本組合之ヲ成シ其費用ハ分水委員ノ負擔トス修繕費用モ亦同シ但シ該費用ハ管理者ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ完納ス可シ

第四 分水料ハ金二百七十五圓トシ大正三年四月十五日限リ完納ス可シ但シ分水料ハ何等ノ事故アルモ還付セズ

第五 分水ヲ請フ時ハ書面ヲ以テ申出ツ可シ

第六 分水ハ六回以内トシ其ノ一回ヲ三十六時間以内トス但シ本項ノ時間後尙灌溉不足ノ耕地アリテ特ニ延長ヲ請フ時ハ本組合内灌溉ノ狀況ニ依リ許否ヲ定ム

第七 分水ノ場合ハ係員ヲ派出シ監視セシメ樋管ヲ閉閉スルモノトス

第八 分水委員ハ保證金トシテ金百圓ヲ分水期節中(五月ヨリ八月マテ)完納シ置ク可シ但シ保證金ハ季節後之ヲ還付スルモノトス

第九 二個ノ分水樋管及關本町内ニ在ル堤塘ハ障害ヲ受ケサル様分水委員ニ於テ當ニ注意ス可シ若シ不注意ノ爲メ樋管及樋管ノ鎖鑰又ハ其周圍ノ堤塘等ヲ破壊シ漏水セシムルモノハ勿論其他水路ニ妨害ヲ爲ス等ノ事アルトキハ何人ノ所爲タルヲ問ハス其損害ノ大小ヲ論セス本組合ハ第九項ノ保證金ヲ沒收スルモノトス

第十 前項ノ場合ハ勿論前各項中ノ指定ニ違背シタル時ハ樋管ヲ除去シ堤塘トナシ分水ヲ停止スルモノトス

第十一 本指令ノ効力ハ大正三年十二月限リトス

二 岡堰普通水利組合ハ北相馬郡山王村外二町六ヶ村二十九大字ヲ區域トシ田面積千九百十四町步畑

面積千二十四町步アリ而シテ其用水ハ表郷、裡郷ノ二大水路ニ分配サレ表郷用水路ノ分水口ハ杭洗堰又ハ數多ノ角樋土管等ヲ伏設シ裡郷用水路ハ多ク堰柵ニ依リ分水セリ而シテ洗堰及堰柵等ノ建造物ニ就テハ古來ヨリ一定ノ標ヲ設ケ角樋土管等又構造寸法ヲ限定セリト雖モ其水路ニ至テハ開鑿以來數百年間首尾通シテ浚渫セシコトナキカ如シ故ニ斷面ノ廣狭一ナラス且ツ路面凸凹ヲ極メ水草繁茂シテ流水ヲ阻害スルコト甚大ナリ從ツテ各水路ノ流末ニ位スル方面ハ年々濁水ノ被害ヲ見サルコトナシ故ニ各被害地ハ組合及水路支配區域ノ認諾ヲ得テ各分水口ヲ閉鎖シ水源ヨリ被害地間二里餘ニ亘リ看守人ヲ派シ晝夜努力ノ下ニ導水ヲ圖リ漸ク稻作ノ枯死ヲ防キツ、アルノ狀況ナリ(之ヲ番水ト稱セリ)之レ畢竟水路及分水方法ノ欠點ニ基クモノナリ

三 舊四ヶ村堰普通水利組合ハ西茨城郡西那珂村大字岩瀬ノ大部及東那珂村大字青柳ノ一部地積六十八町步餘ヲ區域トスルモノニシテ其用水ハ櫻川ヨリ引入ス而シテ櫻川ハ流域狹小ナルヲ以テ往々濁濁スルコトアルニ搗テ加ヘテ堰ノ構造不完全ナル爲メ所要水量ヲ得ルコト能ハサル時アリ故ニ普通時ニアリテハ連續灌溉ヲナスト雖旱天ニ際シ櫻川ノ濁水スル時ハ古來ヨリ番水ヲナス慣習アリ其大要左ノ如シ

先ツ最困難ヲ感スル最下流ノ區域ヨリ番水セシムルコトヲ組合常設委員ニ申告スルヲ常例トス、該委員ハ其要求ヲ受ケタル時ハ番水ヲ爲サントスル二日前ニ組合區域内耕作者一般ニ通知ス(最下流

ヨリ番水ノ要求アリタル時ハ委員之ヲ即諾シ未タ曾テ要求ヲ拒ミ又ハ他ノ區域ヨリ異議ヲ挿ミタル等ノ爲メ紛擾ヲ生シタルカ如キコトナシト謂フ)番水順序ハ最初青柳區ニ對シ一晝夜ヲ與ヘ次ニ岩瀨區ニ及フ岩瀨ハ九區ニ分チ最下流ナル第一區ヨリ第九區ニ及ヒ一分區ニ對シ十二時間ヲ與フ而シテ各分區ノ見込面積ニ大小アルニ拘ラス灌水時間同一ナルヲ以テ留水ヲナスト雖モ平等ニ用水ヲ分配スルコト能ハス下流ノ一區二區ノ如キハ區域一圓ニ用水行渡ラサルニ既ニ灌水時限ニ至ルノ狀況ナリ

四 西茨城郡 南川根村大字土師大堰ハ灌溉面積三十七町八反歩ニシテ櫻川ヨリ取入ル櫻川ハ流域狹小ナルヲ以テ往々涸渴スル爲メ所要水量ヲ得ルコト能ハサルコトアリ故ニ櫻川ノ流量富豊ナル時期ニアリテハ全區域ニ對シ連續的灌溉ナセトモ旱天ニ際シ渴水スル時ハ古來ヨリ慣習トシテ番水法ヲ爲ス其大要ハ左ノ如シ

渴水時ニ際シ一般ニ番水ノ必要ヲ認ムルニ至リタル時ハ大字區長及大字委員十二名ニテ番水センコトヲ協議決定ス番水時間ハ晝前(午前五時乃至翌日午前五時)トス而シテ分區ハ普通ノ渴水ニアリテハ三丁場(分區區域ヲ三分區トナスヲ三丁場、五分區トナスヲ五丁場ト稱ス)トナスヲ常例トシ渴水ノ程度ニヨリ五丁場、七丁場或ハ九丁場ト漸次分區數ヲ増加ス甚シキ年ニ於テハ實ニ十數丁場ニ分チタルコトアリト云フ、丁場決定スレハ灌水時間ヲ記シタル立札ヲ立テ委員常ニ巡視シテ公平ヲ期

ス而シテ灌水順序ハ最下流ヨリ始ム然レトモ分區ト灌水時間ト往々適當ヲ欠ク

五 小場江堰普通水利組合ハ那珂郡戸田村外四ヶ村十三大字ヲ區域トシ灌溉田面積四百九十一町餘歩ヲ有ス而シテ取入口以下ノ狀況ハ灌溉區域上部ニ於テ用水路幹線ヨリ分水シテ用水ニ供シタル餘水ハ直ニ那珂川ニ落下シ再ヒ用水ニ供スルヲ得サルヲ以テ自然上部ニテハ用水ヲ比較的多量ニ引水スル事トナリ幹線ノ末流及幹線ヲ距ツル耕地ハ用水不足ヲ告クルノ状態ニ在リ之ヲ救済スルニハ流量頗ル豊富ナル那珂川ノ水ヲ引用スル目的ヲ以テ用水路幹線ヲ改良スルト同時ニ灌溉組織ノ改善ヲ行フ時ハ組合外畑地及其他ノ土地ヲ田ニ變換シ得ヘキ土地五百餘町歩ヲ得ヘキ見込アリ

六 那珂郡柳河村大字青柳村貯水池

本溜池ハ青柳專有用水池ニシテ同字ハ小場江堰水利組合内最下流ニ在リ組合用水路不完全ナル爲メ用水ノ供給極メテ少ク本溜池ニ依リ漸ク補給セラル然ルニ明治廿六年ニ至リ隣村五臺村大字中臺ヨリ溜池貯水位ニ對シ爭論ヲ起シ惡水浸害排除ノ名ヲ以テ訴訟ヲ提起シ争フコト數年後青柳ノ敗訴トナリ已ムナク從來ノ水位ヲ下クルコト五六尺爾來用水ノ不足ヲ生シ年々旱害ヲ被リツ、アリ然ルニ先年土地有志ノ計ル所アリ耕地整理ヲ企圖シ貯水池ノ改善ヲ爲サンカ爲メ自然水位ノ變更ヲ要シ隣接地中臺地ニ浸水ヲ及ホス地ハ悉ク相當ノ價格ヲ以テ買入ルヘク諮リタレトモ絶對ニ之ニ應セス遂ニ協商調ハサルニ至レリ

栃 木 縣

一 那須郡金田村高橋川用水
高橋川ハ金田村大字練貫、乙連澤等ヨリ湧出水相集リ小川ヲ成シ往古ヨリ灌漑水トシテ金田村大字乙連澤、川西町大字餘瀨、峰巢ノ三大字ニテ使用シ明治三十七八年迄ハ水田僅ニ五六十町歩ニ過キス常ニ水量ノ不足ヲ感セサリシ爲メ之カ分配甚タ不適當ニシテ一定ノ分水場ナク灌漑堀モ僅カノ水田ニ引用スル爲メ之ヲ設ク其ノ末流カ本流ニ戻ラサルモノ在リテ其ノ利用法甚タ不完全ナリ近年山林原野等ヲ開墾シ田ニ變換シタルモノ頗ル多ク近年水量ノ不足ヲ來シツ、アルモ依然トシテ舊慣ニ依ル爲メ渴水ノ年ニ當リテハ上流下流トノ爭論絶エサルナリ

奈 良 縣

一 山邊郡丹波市町大字田村ハ從來ヨリ水利事項ニ付テハ頗ル至大ノ權利アル土地ニシテ其村内ノ灌漑水ニ供スル水源地ハ絶對ニ同村ノ權利内ニアルノ觀アリ若シ此集水地域内ニ於テ溜池ヲ新設セントシ若クハ新ニ地目變換又ハ開墾ヲナサントスル者アルトキハ其地域ノ大小ニ論ナク直ニ之ニ異議ノ申立ヲナシ相手方カ反省セス或ハ水代等ヲ提供セサレハ忽チニ法廷ニ爭フノ氣勢ヲ示スヲ以テ關

係者ハ止ムナク對價ヲ提供シ又ハ水代ヲ支拂フカ如シ然ルニ其田村ニ於ケル用水量ハ現今ニ於テ不足アリヤト云フニ大正二年度ノ旱害ニ於テモ多大ノ過剩アリテ他村又ハ他大字ニ用水ヲ賣渡シタルコトアリ同地ノ附近ハ特ニ用水不足ヲ訴フル箇所ナルヲ以テ平年ニ於テモ田村ニ用水ノ供給ヲ受クル大字少カラス其ノ收受スル水代ナルモノハ蓋シ多大ノ額ニ達スヘシ右ノ如ク其用水豊富ニシテ而モ他ニ賣却スル程ナルニ拘ラス上流下流共其用水使用ニ付田村ノ指揮ニ待ツカ如キ状態ニアルハ本縣下ニ於テモ尤モ適當ナラサルモノ、特別ナル例ナルヘシ然トモ對價授受ニ付テハ頗ル秘密ニ附シ其真相ヲ發表セサルヲ以テ詳細ヲ盡ス能ハス尙本縣下水利ノ關係ニ就キテハ絶對ノ權利義務アリト稱スヘク諸種ノ選舉權ヲ行使スル上ニ於テモ用水ノ供給ヲ仰ク地方ヨリ依頼ヲ受クルトキハ殆ント之ヲ否ムコト能ハス若シ之ヲ拒ムトキハ其水利ニ妨害ヲ加エラル、爲メ止ムナク命之レ從フコト、ナル斯クノ如キハ本縣ハ他縣ニ比シ水利ノ困難ナルコト甚タシキ結果其弊害ハ亦少カラサルカ如シ是等ノ事情ハ之ヲ調査スルモ其真相ヲ公表スルコトナキハ無論ナリ

三 重 縣

水利組合ヲ設ケサル場合ハ勿論水利組合ヲ設立スル場合ト雖用水路ノ上流ニ接スル土地所有者ハ水利權ノ有無ヲ論セス民法ニ所謂舊慣習ナル語ヲ亂用シ擅ニ其用水ヲ利用スル爲メ下流ノ水利權者ハ用水

ノ不足ヲ訴フルコト屢々アリ
前者ノ一例
多氣郡黒部井普通水利組合
飯南郡四郷井普通水利組合

愛 知 縣

用水ノ分配ニ付最適當ナラスト認メラル、慣習ハ上流ニ於テ獨專的ニ之ヲ引用スルニアリ而シテ此ノ結果上流ハ用水豊富ナリト雖下流ハ著敷枯渴シ農作物ノ被害尠カラサルモノアリ左ニ特殊ノモノノミヲ記スレハ左ノ如シ
一 名古屋市ニ於ケル庄内川用水普通水利組合區域中南區熱田新田東組及同區前新田灌漑井筋ニシテ愛知郡八幡村地内ヲ通スル井路敷ヲ熱田新田東組ニテ購入セシヲ以テ同新田ノ下流ニ依ル前新田ニ於テハ熱田新田東組ニ比シ二分ノ一ノ灌漑水ヲ得ルニ過キサル慣習トナリタリ
二 愛知郡小碓村ニ於テハ庄内川用水普通水利組合ノ區域ナルモ各井筋共其下流ニ屬シ區域内平均ノ配水時間ナルヲ以テ充分ナル灌漑ヲ爲ス能ハサル狀況ナリ
三 西春日井郡川中村ハ庄内川ノ末流ニ位シ旱魃ノ爲庄内河水ノ缺乏ヲ來ス場合ニ於テ庄内川用水普通

水利組合カ元以口前ニ井堰ヲ設ケ河水ヲ引用シ且配水口構造ノ規定アルモ分水水量ノ規定ナキヲ以テ流末ニ於ケル旱害甚シ
四 丹羽郡入鹿用水普通水利組合ニ屬スル用水路中羽黒村大字前原中ニ於テ三ヶ所浚渫ヲ拒ム慣習アルヲ以テ下流ノ犬山町ニ於テ多少ノ旱害ヲ被ムル狀況ナリ
五 知多郡西浦村大字刈屋、古塙ノ共有溜池全部ハ旱魃ノ後ニアラサレハ同大字ハ分水セス又如何ナル場合ニ於テモ同池ノ水ハ三分水ヲ殘スヲ慣例トス而シテ此ノ慣例ハ大字松原ノ火防用及灌漑用ノ爲存スルモノナリト云フ此ノ慣例アルカ爲大字松原ハ三分水ヨリハ古塙、苧屋ニ分水セスト云ヒ苧屋、古塙ハ全部ヲ引用セムトシ時々紛擾ヲ醸スコトアリ
六 渥美郡赤羽根村ニ於ケル用水ハ溜池ニ依ルモノ多ク其分配方法ニ至リテハ相當ノ申合口約アリト雖旱天ニ際スレハ優勝劣敗概シテ溜池附近ノ耕地ハ水量豊富ナルモ溜池ヲ去ル遠キニ從テ水量ノ缺乏ヲ訴ヘ往々口論ヲ爲ス等用水ノ不經濟ナル例尠カラス
七 八名郡石卷村大字西川ニ於テハ川水ヲ水源ト爲スモ用水減少スルトキハ上流水口ノモノニ於テ之ヲ獨占シ下流へ少シモ引用セシメス此時期ニ至レハ作人ハ晝夜水ノ爭奪ヲ之レ事トシ甚シキハ腕力行爲ニ及フコトアリ

静岡縣

一 田方郡三島町上岩崎ヨリ下岩崎ニ通スル用水ハ古來ヨリ適當ノ配水方法ヲ以テ下岩崎ノ田反別四町七反餘歩ニ灌漑シ來リタルモ一朝旱魃ノ際ハ上流配水堰北上村幸原ニ設置シタルヲ以テ他村ノ關係上適當ノ分水ヲ得ル能ハス屢々葛藤ヲ惹起スルコトアルヲ以テ將來相當ノ分水方法ヲ設クル必要アリ

山梨縣

一 荒川ノ左右沿岸即チ中巨摩郡福岡、松島、池田、及西山梨郡大宮、千塚ノ二郡五ヶ村ハ灌漑飲用水共ニ大部分ヲ荒川流水ヨリ供給ヲ仰キテ取入口九ヶ所ヲ有シ往昔ハ其取入方法ヲ定メ恣ニ其水利ヲ壟斷スルコトナカリシカ年ヲ經ルト共ニ漸次其慣例薄弱トナリ且今ニ至リテハ各取入口用水引入ノ方法殆ント任意ノ状態トナリ殊ニ近年上流村ニ於テ精米水業者増加シ全川ヲ緋切リ多量ノ流水ヲ引用スルカ爲上流地ハ常ニ水量豊富ニシテ下流池田村ノ如キハ少ナカラサル不足ヲ告ケルニ至レリ
二 南都留郡明見村及福地村ノ用水ハ同郡中野村山中湖及忍野村地内ノ湧水トニ發源スル桂川ノ流水ヲ福地村大字上吉田字鐘山ニ於テ寛政年中ヨリ引續キ嘉永五年五月兩村對談議定書ニ依リ右兩村ハ

毎年春冬二回一定ノ標準ヲ以テ分水ヲナス即チ春季分水ハ土用六十日前ニ於テ明見村ハ七分福地村ハ三分冬季分水ハ寒三十日前ニ於テ明見村ハ三分福地村ハ七分ノ割合ヲ於テ明見村ハ桂川本流ヘ福地村ハ小佐野川ヘ分水シ兩村共飲料ノ外明見村ハ主トシテ水稻ニ福地村ハ麥作地ヘ肥培灌漑ニ供スルモノナリ而シテ右分水方法ハ古來ヨリ定メタル箇所ニ於テ兩村水配人并ニ關係者立會松粗朶石礫等ヲ用ヒ毎年二回ツ、堰止メ分水ヲ行フモノナルモ福地村ハ稻作面積増耕セント欲シ明見村ハ該水質肥培ノ効アルニ依リ引用ノ多量ヲ欲スル結果毎回多少ノ爭論ヲ免レス是レ畢竟分水設備不完全ニ基因スルモノナリ
三 西山梨郡住吉村ノ内田約二百町歩ハ用水ヲ荒川千秋橋附近ヨリ取入レ灌漑ニ供用シツ、アレトモ往々旱害ヲ被ルコトアリ而シテ其用水不足ヲ告ケルハ主トシテ上流數町ニシテ三ツ水門(取入口)アリ其位置最モ適當樋門大ニシテ用水ノ不足ヲ訴ヘサルモ恣ニ全河水ノ取入レヲナスニ因ル

滋賀縣

一 滋賀郡堅田町所屬ノ天神川ト稱スルハ同町大字衣川ヲ通過シテ湖水ニ注クモノナルカ從來同衣川部落ニテハ飲用水ト稱シ自由ニ此ノ流水ヲ使用シ隣リ部落ナル大字本堅田ニ於テ灌漑水缺乏セルトキニ於テモ分水セサル慣習アリ

- 二 滋賀郡伊香立村大字上在地部落ニテハ近來下流ノ部落ヨリ餘水ヲ灌溉用トシテ請求スル場合上流部落タル上在地ニ於テハ一日幾何ヲ出金スヘシ等ト要求スル慣習アリ
- 三 甲賀郡石部町所屬地先ニ水源ヲ發スル一ノ井養水ト稱スルハ栗太郡葉山村大字伊勢落、林、六地藏、小野、手原、大橋、高野ノ七大字ヲ灌溉シ其ノ分水起點ヨリ下郷終點ヘ達スル迄殆ント一里餘アルカ爲自然水上上流ニ位スヲ伊勢落、林、六地藏、三大字ハ權利以上ノ用水ヲ引用シ下流ノ小野、手原、大橋、高野ノ如キハ權利アル分ヲ引用スルヲ得サルノ慣習ニシテ分水上非常ニ均衡ヲ失スルノ傾アルヲ以テ下流ノ大字ニ於テ種々將來ノ改善方法ヲ企畫シツ、アリ
- 四 栗太郡志津村大字追分地先ナル伯母川筋鑿突門樋ニ係ル養水ハ同郡草津町大字草津及志津村大字追分田地ニ灌溉セルモノナルニ之カ門樋修繕並ニ改築費ハ全部大字草津ノ負担ニシテ其用水ノ分配ハ日出ヨリ日没マテ志津村大字追分ノ灌溉シ草津ハ日没ヨリ日出迄灌溉スルコトトナリ尙通水料トシテ玄米貳斗壹升及井酒トシテ壹斗五升ノ酒及肴料ノ二分ノ一ヲ提供スルノ慣習ナリ
- 五 神崎郡山上村大字山上及蒲生郡市原村トノ共同養水ノ水源ニ於テ市原村大字甲津畑ノ第一水路(通稱宮井)山上村大字和南第一水路(通稱役人井)ノ二水路ハ僅少ナル田地(各二十町歩内外)ニ灌溉スルカ爲任意堰止ヲ爲シ多量ノ養水ヲ引用シ如何ナル旱害ニ遭遇スルモ曾テ被害ヲ蒙リタルコトナキノミナラス其餘水ハ悉皆下流ヘ放流セラレ一方蒲生郡市原村各大字及山上村大字山上(山上ノ面積六十町歩)ハ年々旱害ヲ蒙リツ、アリ用水供給方法適當ナラス

尤モ萬止ムヲ得サル場合ニハ自由ニ該堰止ヲ破壊シ相當引水ヲ爲スヘキ慣習アリト雖到底全面ニ灌溉スルニ足ラス

前記ノ如ク舊來ノ慣習ヲ改善セハ兩村共幾部ノ不足ヲ補フニ足ルト雖到底全部ニ及ハス今後ニ於ケル救済方法ハ溜池設置ニアルモ適當ノ位置ナク苦心シツ、アリ

- 六 阪田郡北郷里ノ内大字西上阪、東上阪、堀部、春近、保多、垣籠、千草ノ各部落ハ郡内有名ノ旱魃地ニシテ之レカ田養水ハ同村大字東上阪ノ地先小字龍ヶ鼻ト稱スル姉川筋ニ井堰ヲ設ケ引水スト雖モ暫ク旱天打續キ河水減少スルトキハ忽チ灌溉不足ヲ告グルヲ以テ舊彦根藩主ハ之カ救済策トシテ巨額ノ費用ヲ投シ右龍ヶ鼻及山根ト稱スル二ヶ所ニ於テ姉川底ニ樋管ヲ敷設セラレシモ灌溉區域廣漠タル爲何レノ年ニ於テモ多少ノ旱害ハ免レサルナリ而シテ之カ用水分配ニ付テハ大字垣籠保多堀部ノ三部落ニ引用スルハ堀部川ト稱シ尤モ上流ノ處ニテ分水シ次テ西上阪、千草、春近ノ各部落ハ大字東上阪ノ地先ヲ通スル岡、中井、豆、春近ノ四ヶ川ニ分レ引用スルノミニシテ河水潤澤ナル間ハ其ノ下流南郷里村大字七條、新榮、加納榎木ノ各部落ニ流下スト雖少シク旱天打續キ灌水稍々困難ナル時期ニ至レハ掛ヶ落シト稱シ下流南郷里村ヘハ一滴ノ水モ流下セス前記四川カ分岐點ニ於テ互ニ堰止メヲ爲シ即チ甲川ノモノ乙川ヲ止メ灌溉終レハ乙川ノモノ甲川分岐點ヲ堰止メ乙川ニ引

水スル等交々止合ヲ爲シテ灌水ス而シテ旱魃益劇甚ニ隨ヒ河水缺乏セル時期ニ至レハ樽ノ水ト稱シ右四川ノ分水點ニ於テ樽ニ水ヲ容レ底部ニ微細ナル穴ヲ設ケ之ヨリ水ノ洩出ツル時間(約一時間)ヲ限度トシ甲乙兩川互ニ止替ヲ爲シ灌水スルヲ例トス而シテ茲ニ一ノ惡慣アルハ右四箇ノ引用川ハ何レモ大字東上坂ノ地先ヲ貫通スルモノナルヲ以テ該大字ニ於テハ前記樽水切替ノ際ハ垂レ切リト稱シ假令田面ニ灌水アル場合ト雖下流灌水缺乏ヲ省ミス必ス殘水ヲ吸水スル例アリ之カ爲往々紛擾ヲ醸スコトアリ

岐 阜 縣

一 加茂郡蜂屋村ニ於テハ中蜂屋區字作リ洞ニアル溜池ハ其灌溉區域中蜂屋區、下蜂屋區ノ兩區ニ亘リ水田約四十町歩ニシテ其水量ノ分配ハ中蜂屋區四分、下蜂屋區六分ノ割合ナリ而シテ此池水ヲ引用スルニ當リ中蜂屋區ハ水源ニ近ク灌溉ニ便ナルニヨリ池水ノ落チ切レサルニ既ニ田面ハ十分ノ水量ヲ貯ヘ落水ヲ中止セントスルヲ常トス之レニ反シ其下水地ナル下蜂屋區ハ未タ灌溉區域ノ半ニモ達セスシテ落水ノ繼續ヲ欲シ茲ニ兩區ノ意見相反スルヲ以テ屢々紛擾ヲ起スコトアルモ舊慣ニヨリ落水ヲ中止シ結局下蜂屋區ノ意見ハ容レラレスシテ其灌溉區域ナルニモ拘ラス利益ヲ享受スル能ハス然ルニ池水ヲ落スニ際シテハ相當ノ費用ヲ要スルヲ以テ其負擔ハ均一ニ受ケ居リ利害不均衡ナ

長 野 縣

番 號	所 在	反 別	記 事
一	上伊那郡富縣村員沼外三字	六六・三五〇〇	幹線用水路ニハ水利夫アルモ各支川ニハ完全ナル分度ノ設ケ無ク從テ不公平ヲ生ス
二	埴科郡五加村大字上徳間	二八・七二二七	區長區會議員ノ監督ノ下ニ水利夫ヲ常置シアルモ戸倉用水ノ末流故植付後時々用水不足ヲ來シ收穫減少ヲ來スコトアリ
三	上水内郡朝陽村四區外三區	一一五・一六二一	上流古牧村地籍トノ用水分配不公平ノタメ用水不足ヲ生スルコト多シ
四	長野市大字西長野	七・五〇〇〇	用水ハ稻花川ヨリ揚水セル鑛鑛川ニ依リ供給スルモノナレトモ同下流ニテ揚水スルハ鑛川流域地主ヨリ水量ニ付キ反對アリ爲ニ夜間ノミ通水スル習慣ナルヲ以テ冷水ヲ灌溉セサルヘカラス爲ニ稻ノ生育甚ク不長ナリ
五	南佐久郡穗積村	三〇・〇〇〇〇	用水分配上一定ノ定規ナキタメ各自不用ノ水ヲ徒ニ引用スルタメ下流ノ耕作者ハ不絶用水不足ヲ生ス
六	同郡野澤町外十一ヶ町村	一、〇〇〇・〇〇〇〇	用水及悪水路ノ設備不完全ナルタメ水上ノ稻田ヨリ順次掛流シテ要スルタメ灌溉頗ル不便ニシテ稻作上損失大ナルモ一般ハ敢テ意トセサル狀況ナリ

宮 城 縣

一 宮城郡七郷、高砂、原町一町二ヶ村内二千三百町歩ノ灌溉ニ供スル七郷堰ノ灌溉慣習ハ水上ヨリ

漸次灌水スル習慣ニシテ用水不足ニ際セハ水下耕地ノ利害ヲ顧ミス堰止メ各自灌水ノ便ヲ計ルヲ以テ往々紛争ヲ見ルノミナラス下流ノ區域ハ早植ヲ勵行スルコト能ハサルハ勿論旱魃ノ時ハ挿秧期ヲ失シ不適當ノ慣習ナリ

二 遠田郡ノ東南端ニ位スル名鑄沼ハ志田、遠田二郡ニ於ケル悪水貯水池ニシテ又桃生、牡鹿二郡ノ耕地ヲ支配スル灌溉貯水池ナル廣淵沼ノ水源ナリ故ニ沼ノ東部江合川ニ疏通スル所ニ明治水門ト稱スル制水門ヲ設ケ沼ノ水位ヲ規定シ所要水量ヲ貯溜セシメ其ノ導水路ハ鳥屋坂下二條ノ水抜隧道ニヨリ廣淵沼ニ引水スルモノト一ハ鳥屋坂潜穴及同山麓ヲ巡リテ前各地和淵ノ内四百四十五町歩ヲ灌溉スルモノトアリ而シテ沼ノ面積ハ二百四十四町歩ヲ有ス低水位ハ鹽釜水準基面上十五尺二寸(明治水門開放ノトキ)最深箇所ハ一小部ニシテ水深三尺六寸ヲ有スルモ平均水深二尺五寸トス現時水門水害豫防組合管理ヲ屬ス

廣淵沼ハ桃生郡ノ西北部ニ位シ水源ヲ名鑄沼ニ仰キ其面積七百七十四町歩ヲ有ス貯水面位鹽釜水準ニ基面上十三尺二寸水深六尺三寸ヲ保タシメ其ノ灌溉反別二千三百町歩ヲ有ス目下廣淵大溜池前各地江和淵江普通水利組合維持管理セリ

水利關係斯ノ如クナルヲ以テ名鑄沼沿岸耕地ニ位スル涌谷町南鄉村ニ屬スル耕地九百町歩ハ年々氾濫冠水シ水腐ノ慘害ヲ蒙ル状態ナル故其關係區域ニ於テ排出口ナル青木川ノ浚渫工事ヲ施シ排水ヲ

計ルニ反シ廣淵沼ノ灌溉區域ニ於テハ名鑄沼ノ水位ヲ充分保タシムルヲ希望シ相互利害關係相反スルヲ以テ常ニ融和ヲ缺キ其慣習甚不適當ナリ

福 島 縣

一 摺上川ヲ以テ用水トスル信夫郡餘目村、鎌田村、瀬上町ニ於テハ古來ヨリ餘目村ノ北端伊達郡湯野村界ニ石堰ヲ設ケ灌溉シツ、アルモノナルカ距今十數年前伊達郡上下堰水利組合ニ於テ其上流飯坂町地内十綱橋下ニ堅牢ナル堰堤ヲ設置シタル爲メ平常ニ於テハ堰上一二尺ノ超越水ニ依リ其用ヲ辨シツ、アルモ一旦旱魃ニ際會セハ水量減少シ堰堤ヲ以テ割セラル、カ爲メ下流ニ點滴タモ見ル能ハサルコトアリ是ヲ以テ上下堰水利組合ニ對シ分水方法ヲ交渉シ又夫々其手段ヲ講シタルコトナキニアラサルモ今尙ホ解決スルコト能ハス十數年前旱魃ノ際ノ如キハ農民大ニ狂奔シ遂ニ大舉シテ該堰堤ノ破壊ヲ企テ紛擾争鬭ノ慘劇ヲ演出シタルコトアリ

二 耶麻郡岩月村下臺堰及西中山堰ハ共ニ田付川ヲ堰揚ケ灌溉ノ用ニ供スルモノナルカ西中山堰ハ天保七年中下臺堰ト紛争ノ當時會津藩ニ於テ下臺堰ノ用水中其三分ノ一ヲ取入ル、コト、ナシタルモ兎角論争絶ヘス爲メニ明治五年若松縣ニ於テ之レカ調査ヲ爲シ分水標準木ヲ設ケ協定書ヲ作製シテ之ヲ實行シ來リタルモ是亦完全ナラサル爲メ近來又々紛議ヲ生スルコト少カラス大正二年中雨堰ノ

管理者及關係總代者等立會シ其上協定書ヲ作り分水木ヲ改造シタルモ是ノ事西中山堰下ノ關係民ニ商ラス管理者ノ專斷ニ出テタル不法ノ處置ニシテ却テ益々西中山堰ノ不利ヲ増スモノトシ現ニ紛議ヲ重ネツ、アリ

三 石城郡内郷村ニ於ケル灌漑用水ハ村ノ中央ヲ流ル、新川ヲ堰上ケ給水スルモノニシテ白水堰、御厩堰、境堰等ヲ其主ナルモノトス而シテ是等ハ皆降雨ノ際河水汎濫稻田ニ浸水スルヲ虞レ年々容易ニ崩壞流失シ得ヘキ材料ノミヲ以テ築造スル習慣トセリ故ニ減水ノ場合ハ河水漏洩シテ用水ヲ減シ殊ニ容易ニ流失スルヲ以テ降雨後ニ於テハ數日若クハ十數日ニ亘リ灌漑スルコト能ハサル爲メ田面一般ニ龜裂ヲ生シ浸水ヨリモ寧ロ困難ナル場合少カラス

右ノ習慣ヲ打破シテ完全ナル堰止ヲ爲シ而シテ水害ヲ除カムニハ堰ノ位置ヲ從來ヨリモ上流ニ移シ水門ヲ設ケテ洪水ノ場合ニ備フルヲ最モ適當ト認ムレトモ之ニ伴フ溝渠ノ新設ニ多大ノ工費ヲ要スルヲ以テ一般ニ其可ナルヲ知リツ、實現シ能ハサル状態ニ在リ

四 石城郡山田村ニ於テハ同村大字井上地内ニ井上外三大字水利組合用水堰アリ其用水供給ノ順序ハ從來ノ習慣トシテ山田村大字井上、小山田、大林及鮫川村大字仁井田、堰順ニ從ヒ上流ノ地域植付完了後ニアラサレハ假令用水ニ餘リアルモ下流ニ於テ使用セサルコト、ナシ居ル爲メ大字大林及仁井田方面ノ如キハ毎年插秧期ヲ失シ充分ナル收穫ヲ見ルコト能ハサル状態ニアリ

是等ニ對シテハ水量又ハ期日ヲ定メ上流下流共給期ノ差ヲ減少セシメ時期ニ晚レサラシムル方法ヲ講シ得ハ其利益蓋シ大ナルモノアルヲ信ス

五 石城郡玉川村ニ於テハ同村大字島ハ磐崎村大字岩ヶ岡及同村大字馬玉ニ接續シ其地積約五十町歩ニ對シ明治四十年中耕地整理ヲ施行シ灌排兩溝共ニ完備シタルモ隣村泉村大字本谷字岩井澤ニ於テハ從來ノ習慣ナリト稱シ十町歩内外ノ耕地ニ灌漑センカ爲メ前記島及馬玉等ノ排水尻ヲ堰止ムル爲メ常ニ惡水ノ停滯ヲ免レサルノミナラス僅カノ降雨ニ於テモ稻田一帶ニ浸水シ減收ヲ來スコト幾ント毎年ノ觀アリ蓋シ岩井澤ノ地積ハ僅カニ十町歩内外ニ過キササルヲ以テ往昔ニ於テハ岩井澤堰ニ用水標準木ヲ立テ水量ヲ一定シ人爲ヲ以テ溜水ヲ汲ミ揚ケ灌漑ニ供シ上流ノ耕地ニ障害ヲ及ボサル程度ヲ守リタルモノ、如クナルモ時代ノ變遷ト共ニ其制度自然ニ廢シ漸次堰止メヲ定メ遂ニ今日ノ状態ニ至リ屢次紛爭ヲ重ネタルモ未タ解決ヲ見ルコト能ハス

岩 手 縣

一 東磐井郡奥玉村ニ於テ使用スル主ナル用水ハ奥玉川ヨリ引用シ而シテ上水量並ニ勞費ニ甚タ不經濟ナルヲ認メ之レカ合併整理ヲ要スルモ慣習上關係者ノ一名ニテモ異議アル場合ハ如何ニ有利ナリト雖トモ之レカ改廢ヲ爲シ得サルノ不便アリ

二 稗貫郡龜ヶ森村地内大澤川ヨリ取入ル水量ハ大體ニ於テ不足ヲ告ケツ、アルニモ不拘何等設備ヲ爲スナク追年徒ニ水田ヲ増加スルヲ以テ插秧後ハ番水ト稱シテ上流ヨリ順次日時ヲ定メ灌溉スルヲ以テ旱天打續クトキハ上流ノミニ灌溉セラル、ヲ以テ遂ニ下流ニ及ハスシテ稻禾ヲ枯死セシムル状態ヲ呈スルハ水理ニ暗キト一面水利關係者ニ於テ何等制限ヲ設ケスシテ徒ニ水田ヲ増加セシムル慣行ナリトス

青 森 縣

一 北津輕郡

郡内一般上掛堰ノモノハ自由勝手ニ引水スル慣習アリ

二 南津輕郡猿賀堰

淺瀬石川ヨリ上水スル猿賀堰ハ淺瀬石村大字高架野字獅子ヶ倉ノ下ニアリ同川下流ニ於ケル小阿彌堰、枝川三堰、藤崎堰トナルヘキ分岐點ニシテ之レカ分配方法ハ猿賀堰三分ノ一大川筋三分ノ二ト定マレルモ早魃ノ際ハ互ニ用水ノ多量ヲ望ミ潜カニ分水口ノ附近ヲ浚深シ又ハ腕止ヲ延長シ遂ニ爭論ノ端ヲ開キ頗ル騷擾セシコト屢々ナリ明治四十四年以來小阿彌堰ニ於テ水分口ノ現場維持ヲ護ラシムヘク請願巡查ヲ置クト雖トモ早魃ノ場合ハ全ク競争ヲ絶ツ能ハサル狀況ナリ

三 中津輕郡高杉村堰山(小杉澤堰)

小杉澤堰ハ源ヲ小杉澤ヨリ發シ岩木山裾野原野ヲ經テ大字高杉字糠坪ニ於ケル田地ノ大部分ヲ灌溉シテ其用水分配法ハ一定セサレトモ從來水上ヨリ順次下流ニ至ルヲ以テ大字高杉全部ノ灌溉ヲ殆ト終了セサレハ糠坪ハ絶對灌溉スルヲ得ス依テ例年大字糠坪ハ約二十日以上插秧ヲ遅ル、ヲ常トス元來水源ニ近キ所ハ遠キ所ヨリ先ニスルハ勿論ナルモ此ノ如キハ稀ナリ

山 形 縣

一 南置賜郡南原村地内ニシテ御入水ト稱スル水路ハ主トシテ米澤市ノ用水専用ノモノナリ其ノ取入口ヲ改修スルニ於テハ常ニ多量ノ水ヲ導キ得ヘキモ經費ノ關係上改修スルヲ得ス然ルニ本水路ヨリ分水シ同郡南原村大字芳泉町及ヒ米澤市大字福田方面約二十町步ヲ灌溉スル窪倉堰ハ僅カニ三寸方徑ノ孔口ナルヲ以テ一朝早魃ニ遭遇スルカ或ハ蒸發盛シナル時期又ハ植付等ノ際ハ忽チ水量不足ヲ告クルヲ常トス此ノ慣習ハ舊來ヨリノ慣習ニシテ容易ニ打破スルコトヲ得ス之カ根本的改良トシテハ灌溉面積ニ應シテ所要ノ水量ヲ定メ之レニ對スル分水堰ヲ設ケ得ル様法ノ力ニ依ルニアラサレハ到底改良ノ見込立タサルモノトス

二 前例ノ正反對ニ西田川郡大寶寺村大道堰ヨリ分水シ大字新形地内ニ灌溉スル分水口ハ従前五寸方

徑ノ定メナルニ現時六寸餘ノ口徑ニ切り廣メラレタルカ爲下流關係者ノ苦情絶ユルコトナシ之レ全ク灌溉面積ニ對スル用水量ヲ基礎トセス單ニ分水口ノ大サニヨリテ分水ヲ定メタルタメニ外ナラス

三 東田川郡中川堰中最下流ニ位スル押切、廣野ノ兩村約千三百町歩ヲ支配スル押切廣野堰アリ本堰ノ上流ニ於テ即チ横山村舊土橋郷ト稱スル地内ニ於テ毎日午後二時ヨリ翌朝六時迄十八時間ノ長キニ亘リ嚴重ニ堰止メ僅カニ七十町歩ヲ灌溉スル土橋堰アリ故ニ押切廣野堰ハ常ニ水量不足ヲ告クルモ舊來ノ慣習ニシテ之ヲ打破スルコトヲ得ス之カ根本的改良トシテハ其ノ七十町歩ニ要スル水量ヲ定メ一定ノ分水堰ヲ定ムルノ外良策ナキモ法ノ力ニ依ルニアラサレハ到底得ヘカラス

四 東置賜郡四ヶ村堰普通水利組合灌溉區域中上郷村大字淺川地内ヲ灌溉スル分水ハ支配面積ニヨリ分水スルニアラテシテ從來ノ慣習上十六水道ト稱スル十六ヶ所ノ底樋ヨリ通水スルヲ以テ其ノ水量何程ナルカヲ知り能ハサルハ勿論常ニ過量ノ水ヲ導キ餘水ヲ再ヒ利用シ得サル地勢ナルカ爲下流ハ常ニ用水ノ不足ヲ告ケツ、アリ之カ改良方策トシテハ耕地整理ヲ施行シ支配區域ニヨリ用水量ヲ定メ分水堰ヲ設クルノ外ナカルヘシ以上ノ外從來ノ慣習上水路ノ水量ヲ分水スルニ七分三分或ハ四分六分ト稱シ分水口ヲ定メツ、アル所少カラス然ルニ此ク定メタル水量ハ支配面積ニ比例セサルモノ多々之レアリ爲ニ一方ハ水量不足ヲ告クルコトナキモ他方ハ年々不足ヲ告クル狀態ノ所少カラス

秋 田 縣

一 南秋田郡飯島村字飯田部落ニ於ケル田反別七十七町一反四畝歩餘ノ用水ハ下新城村ト組合ヲ爲シ其用水ノ四分ハ飯田部落ニ六分ハ下新城村ニ分水スルノ契約ナルニ拘ハラヌ下新城村ノ分水口ハ上流ナルノ故ヲ以テ分水境界ヲ壓迫シ爲メニ飯田部落ハ揚水ニ困難スルコト多ク旱天ニ際シテハ忽チ涸渴スルノミナラス又排水ノ施設ナキヲ以テ一朝降雨ニ會スルトキハ水害ヲ被ムルコト少ナカラス

二 平鹿郡小勝田川ハ淺舞町字下鍋倉ヲ水源トシ里見、田根森、館合ノ四ヶ村ニ亘リ面積約二千五百町歩ノ灌溉用水ニシテ水量豊富ナラサルノミナラス慣習ニ依ル分配方法亦不良ナルヲ以テ本年ノ如キ旱天ニ際シテ下流ニ於テ甚キ被害ヲ被ルニ至ル其概況ヲ述フレハ同川ニ於テハ取入ノ方法種々アリ一般用水路ニ於ケルカ如ク一定ノ定木ヲ取付ケ分水スルモノ定木ヲ取付ケスシテ分水スルモノ又ハ草堰ヲ以テ揚水取入スルモノ或ハ一定ノ時間ニ依リ堰揚スル者等アリテ一樣ナラスト雖モ是等ノ内最モ改善ノ必要アルヲ認ムルハ時間ニヨリ堰揚スルモノニシテ之ハ一定ノ定木ヲ取付ケ分水スル装置トナスノ必要アルヲ認ム尙草堰ヲ以テ揚水取入スルモノニアリテハ旱魃時期ニ至リ一晝夜間幾回通水スヘキ事ト關係者相互ニ協議ヲ纏メ下流關係者ハ約定ノ通り草堰ヲ開放シテ川ヨリ上陸スルハ間モナク上流ノ關係者ハ對岸ヨリ出テ、堰留ヲナス其開放ヨリ堰留スル迄ノ間僅ニ三分時ヲ出テ

ス其間ノ通水量果シテ幾何ナルヤ測定スル事ヲ得スト雖モ引水人夫ニ要スル報酬ノ一端ヲモ償フニ値スル水量ヲ得ルコト難カル可シ之等ハ大ニ改善ノ必要アルモノト認ム

福井縣

一 吉田郡河合春近普通水利組合區域ハ千二百餘町歩ニシテ用水本溝ノ延長約三里ニ涉リ殊ニ水路ハ迂回屈折甚シキ爲メ通水上支障尠カラズ
上流地域ニ於テハ用水豊富ナリト雖モ下流ハ之ニ反シ用水ノ缺乏ヲ呈シツ、アリ

石川縣

一 河北郡河原市用水
本用水ハ同郡三谷村字河原市外二十四字面積約一千五百町歩ノ灌溉區域ヲ有シ今ハ河原市普通水利組合ヲ設ケ其區域内花園村長之ヲ管理シツ、アルモ其設備不完全ニシテ給水閘ノ如キ灌溉面積ニ依リ確然配水スルコトナク唯慣習トシテ上流ノ者擅ニ引用シ僅ニ其ノ餘水ヲ放流スルニ過キササルヲ以テ下流ハ平時ニアリテモ四日毎ニ漸ク少量ノ灌溉ヲ爲シ得ルニ過キス而シテ組合費賦課ノ方法モ亦甚不完全ト認メラル、モノアリ之カ改良ニ付テハ目下講究中ニアリ

富山縣

一 中新川郡早月加積村及北加積村ヲ灌溉セル用水ハ早月川ヨリ引用シ平時ニ於テハ支障ナキモ分水分方ニ付テハ何等ノ制限ナキヲ以テ一朝旱魃減水ノ際ハ上流灌溉村ニ於テ隨意ニ堰ヲ設ケ採入給水スルヲ以テ下流灌溉ノ用水不足ヲ生ス

島根縣

一 美濃郡匹見下村大字澄川字三出原
三出原堰ハ古來該地開墾ヲ目的トシテ設置セシモノナルニ後年同堰ニヨリテ字土井ノ原ノ地目變換ヲ爲スモ敢テ用水ニ不足ヲ訴フル事ナカルヘキヲ認メ三出原關係者ト協議ノ上支配下ニ屬セシメタルモ先ノ水利權者(三出原地區)ハ同部落ノ植付後ニアラサレハ土井原ニ用水ヲ引用セシメサル爲挿堰ヲ遲延スルコト甚シク極メテ不都合ヲ感シツツアリ

岡山縣

一 苫田郡田邑村大字上田邑ノ一部及大字下田邑字平尾ニ對シ香々美南村大字沖字岡山ヨリ給水スル

布原筋ノ分水ヨリ用水ヲ仰キツ、アリ同分水點ニハ樋ヲ設ケアルモ其樋底ハ本井筋タル布原井堰ノ道木ノ上面ヨリモ高キカ故ニ濁水ニ際シ親水減量ノ場合ハ分水井筋へ用水ノ越へサルヲ以テ本堰ノ道木ノ上ニ小石又ハ蘆芥等ヲ載セ漸ク分水シ能フコト、ナリ居レリ爲ニ濁水ノ際ハ布原部落民ト本部落民トノ争水紛議ヲ惹起スルコト屢々アリ早晚分水法ノ改定ヲ協議スルノ要アリ

二 吉備郡福谷村内足守川上流ニ堰塘ヲ設クルモノニシテ最上流ニ在リテ左側ニノミ引用スルヲ以テ右側ノ耕地ハ左側堰塘ノ漏水ヲ以テ漸ク灌水シ甚タ用水ノ不自由ヲ感セリ之レ古來ノ慣例ニシテ動カスヘカラサルモノトセリ嘗テ右側ニ於テ左側ノ堰塘ノ設置ヨリ遙ニ上流ニ於テ右側ニ引用スヘク堰塘ヲ設ケントシタリシモ忽チ左側ノ關係者ヨリ苦情百出シ遂ニ中止スルノ止ナキニ至レリ

三 同郡同村 溜池支配區域四町歩ノ内池掛ト非池掛ト混在セルモノアリ一旦溜池ヲ放水スルヤ田越灌溉ナルニ依リ田毎ニ現在貯水點ヲ査定シ置キ而シテ後池水ヲ通シ灌溉スルモノナレハ其不便甚タシ然レトモ非池掛ハ池費ヲ厭ヒ池掛リニ加入スルヲ肯セス依然此惡例ヲ存セリ

四 同郡同村 三大字ニ灌溉スル溜池ヨリ上流一大字ハ溜池修繕費及用水量等毫モ負擔セス用水ハ上位ニ在ルヲ以テ自然ニ引入レ下流ニケ大字ハ田三十五町歩ニテ一切ノ費用ヲ負擔セリ本年ノ如キ最終ノ放水期ニ於ケルヤ上流ノ一大字ノミ引入レ其他ハ一滴ノ用水ヲ得スシテ終レリ斯ル不適當ナル用水分配ハ是レ溜池新設當時溜池ノ新設ニ飽迄反對セシ結果ト思料セラル

五 吉井川ヨリ引入レ邑久郡平坦地十數ケ村ノ耕地ヲ灌養シツ、同郡幸島村ニ至ル是レ本郡水田ノ一大命脈タル大用水トス其中間ニ位セル豊原村大字長沼地内一定ノ地積ニ夏季田養水ニ引用セリ此處關係田面ニ充分灌溉シテ尙餘水アルニ拘ラス十六穴口ヲ閉塞セス放流シ爲ニ大用水下流ノ水量ヲ減ス一方千町川下流ノ排水ヲ妨クルノ習慣アリ

六 眞庭郡湯原村大字小川釘貫地方ハ現ニ存スル用水ノ分配ニ付井手費ノ負擔ヲ受ケサルノ地ニシテ旱魃ノ際猥リニ水ヲ落シ水尻ノ旱魃スルモ顧ミサル者又ハ旱魃時ニ用水路ヨリ水ヲ落シ水車ヲ使用スルモノアルハ適當ナラサル慣習ト認ム

七 同郡勝山町大字本郷ノ田ハ面積四町歩餘ニシテ後呂井手ヨリ灌溉セシニ上流約百間ノ處ニ乗改井手ヲ新設シ大字三田字片山畑ニ反歩ヲ變換シ田トナシタル以來普通平年ハ毎年旱害ヲ受ケサルコトナシ是レ僅少ニ反歩ノ田ニ水ヲ分配スル爲メ四町餘ノ田地ノ害ヲ見ルハ用水ノ分配不適當ナリト認ム

八 吉備郡清音村字古地高梁川分岐點以下ヨリ用水ヲ取入レ灌溉シツ、アル關係地域都窪淺口兩郡ノ町村カ夏季ニ於テ用水缺乏ヲ來シ困難セルハ毎年ノ事例ニシテ其原因ハ上流吉備郡總社町湛井ニ在ル所謂湛井井堰ニ於テ舊慣ト唱へ或ハ妹尾兼康カ築造セルトカ或ハ太閤秀吉ノ朱印アリトカノ口實ノ許ニ高梁川ヲ横斷シ堅牢ナル石卷水ヲ築造シ流水ヲ悉皆該堰へ取入レ河水ノ流下ヲ防止スルニ依

ルモノニシテ下流關係町村ノ苦痛トスル所ナリ

九 御津郡上建部村大字品田ノ内字久具ノ一部ハ從來建部用水ヲ使用シツ、アルモ水路ノ源タルノ口實ノ下ニ用水費ヲ負擔セス適當ナラスト認ム

一〇 同郡建部村大字西原ハ同郡上建部建部南村ノ主要水源タル大井手用水路ノ支配ヲ受ケツ、アルモ水下ニ位セルヲ以テ同用水各分岐點ノ樋管ヲ嚴重ニ監督スルニ非サレハ用水ヲ引用スルコト能ハサルニ依リ同大字ヨリ人夫ヲ出シ之ヲ監督スル習慣アリ之ニ關シ明治八年地租改正前ハ他大字ヨリ舊石高ニ對スル(公租)免下ケアリシ爲メ西原ニ於テ水引夫全部ヲ負擔スルモ公課負擔ノ不權衡ナカリシモ改租當時掛員ノ不注意ヨリ地租改正後ハ地價反當他大字同等ノ地價ヲ附セラレ水引夫ノ習慣習殘リ僅カニ二十五町歩餘ノ所有者ヨリ年々五百人乃至千人ノ出夫ヲナシ大字西原ノミ他ノ用水費以外ニ負擔ヲ拂ヒツ、アリ

定 水

一一 番水ト併セテ時間ヲ限定セス終始流下セシメテ灌溉スル方法ナリ用水潤澤ナラサルニ定水ニ依リ用水ヲ分配スルハ(1)勾配比較的急ニシテ用水ヲ貯溜セシメ得サル爲ナルコト(2)徳川領ナルカ爲メニ設ケラレアルモノナルカ如シ

八ヶ郷定水井組ハ都窪郡萬壽村大字濱及富久並倉敷町ナル古地ヲ灌溉ス其關係區域狭小ナルニ不拘

番水井組ト殆ト同等ニ配水セラル、ハ前記大字カ舊徳川領ナリシニ基クカ如シ而シテ其水量ノ豊富ナルハ之カ餘水ヲ水源トシテ六百四十三町六反歩ノ地積ヲ有スル濱川用水組合ヲナスヲ以テ想像シ得シ其他西一郷組合ノ西尾、日畑、西組ノ用水亦同シ

樋 門

一二 一定ノ樋門ヲ設置シ用水ヲ取入ル、モノニシテ例ヘバ都窪郡四ヶ郷組合ニ於テ庄村大字日畑西組字西山ニテ足守川ニ井堰ヲ設ケ西一郷半組合ハ足守川西堤ニ内法高サ三尺一寸巾四尺二寸ノ樋ヲ設ケ妹尾郷組合ハ井堰ヲ足守川西堤トノ間ニ内法高サ三尺二寸巾二尺五寸ノ樋ヲ設ケ東一郷半組合ハ足守川東堤ニ内法高サ三尺二寸五分巾三尺七寸五分ノ樋ヲ設ケテ用水ヲ分配スルカ如シ
此方法ニ於テハ唯樋門ノ内法寸法ヲ確守スルノミニテ堰門ノ高底用水路ノ浚渫等用水ノ引入量ニ多大ノ影響ヲ及スヘキ諸點ニ就テハ何等定ムル所ナキヲ缺點トス

廣 島 縣

高 田 郡

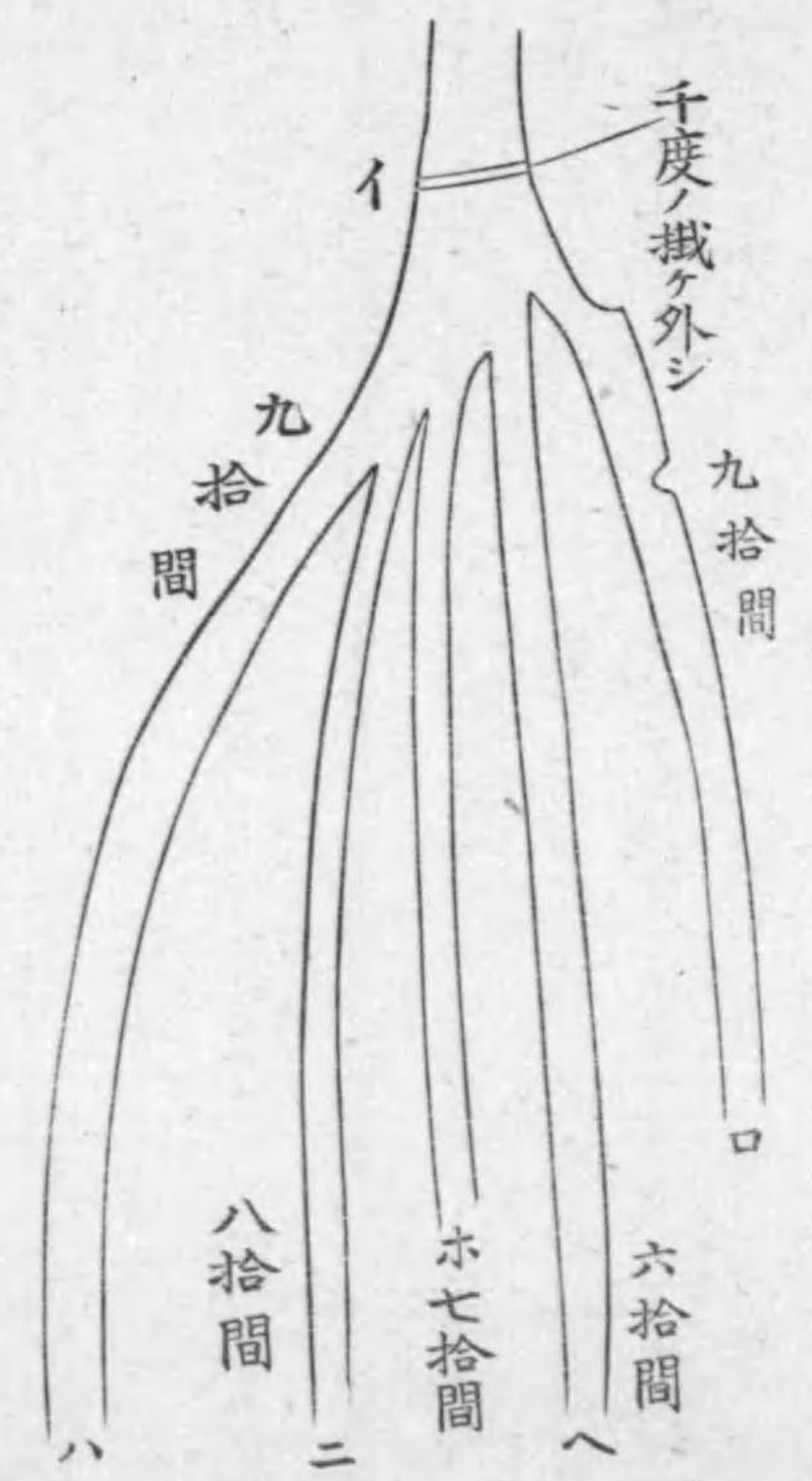
一 丹比村ニテハ旱害ノ場合用水ノ供給ヲ止ムルノ箇所アリ同村大字多治比小字八幡原ニ設置シツ、アル大黒井手ト種スル井堰掛リノ内面積凡一町歩ニ對シ普通用水ノ供給ヲナス此レ全ク習慣ニヨ

ル實例ナリト申立ツルニヨリ他ニ工夫ナク其當時降雨ナキ時ハ右面積ニ植付ケタル稻ハ全部枯死スルニ至ルコトアリ

賀茂郡

二 川上村大字飯田清瀧山ヨリ流岐スル清瀧川ノ引水左記略圖ニ示セルイノケ所ヲ「千度ノ掛ケ外シ」ト稱シテ其方法ニ異様ナル慣習アリ先イヨリ「ロ」ニ通スル距離九拾間ニシテ引水田約一町歩餘人員八名イヨリ「ハ」ノ距離九拾間イヨリ「ニ」ハ八拾間「ホ」ハ七拾間「ヘ」ハ六拾間ニシテ合計引水田約拾町餘歩ニシテ人員參拾人ヲ算シ「ロ」ハ掛水ニシテ「ハ」以下ハ外レ水ナリ「ロ」ヨリ掛水ニ行水ヲ引キ歸ラントスル際「ハ」ヨリ外シニ登リタルトキ「ハ」ハ直ニ之ヲ外スモ「ロ」ハ之ヲ拒ム事能ハス「ロ」ノ點マア歸リ引返シ登リタルトキ「ハ」ハ「ニ」ハ「ホ」ハ「ヘ」ハ「何レ」ニテモ外シ引水シツ、アルモ「ロ」ハ躊躇セス之ヲ掛水ヲナスモ是又「ホ」ハ「ヘ」ハ「何レ」モ苦情ヲ申立ツルコト能ハス各々ノ點マテ歸ラサレハ之ヲ外スコト能ハス「ロ」ハ「ニ」ハ「ホ」ハ「ヘ」ハ「何レ」ニテモ即時掛ケ又ハ外シタル時ハ其場ニテ假令殺サレタリトモ苦シカラス云々ノ古キ定約書互ニ取交シアル由ニ爲ニ永年何等爭論モナク各其定約ヲ履行シツ、アルモ互ニ不便實ニ夥シク大正二年ノ如キ「ハ」ハ「ニ」ハ「ホ」ハ「ヘ」各組合ノ總引水ノ夫役千幾百人(晝夜ヲ通シ)費シタル由實ニ異様ノ慣習アリ右惡習慣ヲ改廢セン爲メ大正二年八月耕地整理法ニ依リ溜池ヲ築カント既ニ測量設計ノ實行ヲ終ヘタリ

豊田郡



番號	所在地名	適當ナラスト認ムル事項
三	本郷村字大坪三反田伊賀張	從來引水ノ慣習アル用水路アルモ頗ル迂回シ居ル爲メ遠クシテ供給地ニ達シ難ク故ニ適切ナル水路ヲ設ケルノ要アリ
四	同村 字曲リ三太刀崎	從來引水ノ慣習アル用水路アルモ土地ヲ埋揚シタルモノアル爲メ用水ノ供給ト排水ト困難ヲ生スルニ至レリ

八南	七川	六上	五極
方	源村	北	實
村	大字	方	石
	安宿	方	風
	字	村	呂
	妙見	村	久
			保
			田
			上
			北
			方
			村
			字
			國
			上
			谷
			今
			井
			谷

單ニ從來ノ慣習ノミニ依リ用水ノ供給ヲ受ケサルモノニ付テハ用水ノ過利アレニ拘ラス用水ノ供給ヲ爲ササルモノナリ

一、二番、三番ノ井堰アリテ旱害ノ節ハ一番井堰ヲ殆ント澆水ナキ迄ニ堰キ止メ田ヲ通シテ二番、三番井堰ニ供給スルノ慣習アリテ不自然ナリ

溜池ヨリ用水ヲ灌クモノナレトモ其溜池ヨリ該字ニ途スル中途ニ於テ幾多ノ井堰ニ堰キ止メラレ其井堰ヨリ洩レ出ツルモノチ小溝ニ受ケテ漸ク妙見地區内ニ灌水シ得ル慣習ナルヲ以テ旱害ノ際ハ溜池ニ近キ田區ニアリテハ完全ナル灌水ヲ爲シ得ルモ獨リ妙見地區内ニ於テハ其餘水ヲ受クル止マルヲ以テ旱害時ニ甚シト云フ

用水ノ分配ニ關シ明治九年改租ノ際現ニ田ニアリシモノハミニ溜池用水ヲ分配シ其後開墾又ハ畑ヲ田ニ地目變換セシモノニハ更ニ分配セサル慣習アリ而シテ其溜池ノ營繕費ハ村費ヨリ支出セリト云フ

(根本的改善意見トシテ溜池ノ増築ヲ爲シ開墾地ト雖モ均一ニ水利權ヲ得セシムルニ在リ)

佐伯郡

九 水番ト稱シ作人交替一晝夜ヲ二人詰切ニテ旱田ヨリ順次灌水スル者アリテ苦情ナキモ特ニ番人ヲ要スルカ故ニ不經濟ト認ム山ノ谷田地ニシテ水源ヨリ順次下ヘ灌流ノモノアリ此地ニ當リ水源ニ近キ上部ニアルモノハ旱魃ノ時ト雖モ旱害ナキモ下部ニアル田ハ旱害ニ罹ルヲ常トス斯ル場合ニ於テ上部ニアル田中ノ水ヲ堀リ落サントスルモ古來ヨリノ慣習トシテ排水ノ箇所ヨリ自然ニ流下スルノ外之ヲ拒ムノ風習アリ是等ニ關シテハ習慣ヲ破リ排水ノ箇所ヲ堀落シ下部ニ灌水スルヲ可ナラント認ム井出アルモ水少キ箇所ニシテ上部ノモノ常ニ留切リト稱シテ供水ヲ除クノ外更ニ流下セシメサルモノアリ從來ノ習慣ニシテ水番(配水)ノ設ケナキ箇所ナレハ下部ニアルモノ旱害ニ罹ルモ甘シテ

之レヲ受ケツ、アリ斯ル惡弊ハ打破シテ配水ノ方法ヲ講スルヲ至當ト認ム而シテ排水ニ至テハ從來ノ慣習ヲ適當ト認ム字有井ニ於テハ一昨年ノ旱魃ニ際シテハ從來ノ慣習ニ依リ一晝夜ヲ四口ニ分チ灌漑配水ノ方法ヲ取リシモ或者ハ奸策ヲ案シ利己ノ目的ヲ以テ自己所有ノ水上田毎ニ滿々ト貯水シ置キ水下自己所有田ノ配水時刻ニ到リ豫テ水上ニ於ケル貯水全部ヲ悉ク切落シ眼前一時ノ利益ノ爲メ他ヲ顧ミサルカ爲メ水利關係者ハ大ニ其不當ヲ責メタルモ古來ヨリノ慣習ナリト稱シ之ヲ改メス依然トシテ之ヲ繼續セントス之レカ爲メ水利關係者相互ニ紛議甚シカリシモ未タ其解決ニ至ラサルモノアリ

御調郡

一〇 諸田村字大山田、下山田ハ平時ハ隨意トシ不足ヲ訴フルトキハ時間割ニ供水ス同村諸毛小國千堂ノ如キハ用水ノ設置少ク水源ヨリ漸次田越トス而シテ諸毛千堂ニ溜池ヲ有スルモ狭少ニシテ水量不足シ上流ノ田地ハ冷水常ニ灌水スルヲ以テ收量尠シ

一一 神田村大字萩原ニ在リテハ田反別ノ多少ニ關セス一戸ヲ一口トシ口數ニ分配ス故ニ廣キ面積ヲ有スル地主ハ給水ニ不足ヲ來シ困難ヲ感ス

山形郡

一二 甲第一項ニ記載セル大朝村ノ溝代米ハ適當ナラスト認ム其理由ハ田圃供給水ハ日常用水ヲ兼ネ

タルモノニシテ農業水利上及日常用水トシテ重要關係アルカ故ニ溝代米ヲ支拂フ必要ナシト認ム其實例ハ明治二十一年地押ノ際迄溝代米ヲ支拂ヒ來リシモ其當時官有地ニ編入シ溝代米ヲ支拂フノ必要ナキニ至リシ事アリ

蘆品郡

一三 網引村上安井常金丸村内瀧ノ井手掛地積四町歩ニ對シ給水ヲ受クル地ハ該井手掛ノ最終地ナルモ給水甚タ困難ニシテ早魃ノ節ト雖モ容易ニ分水ヲナス十日間餘モ稻田ニ給水スル能ハス漸ク分水ニ至ルモ分水後七日間ノ後ニ至ラサレハ給水ノ順番來ラス故ニ前後十六七日間殆ント給水スル能ハサル事アリ斯ル爲メ收穫ニ影響スルコト尠カラス

双三郡

一四 八幡村内ニ於テ井堰掛ノ田一町歩アリ其田九反歩ニ對シ用水ノ六分殘リ一反歩ニ對シ四分方ヲ灌溉スル慣習アリ適當ナラスト認ム
一五 和田村内ニ於テ田五反二畝歩ノ一區域アリ古來谷川ノ天然水ヲ以テ耕作スル慣習ナルニ其上流ニ他ノ耕地ニ灌溉スル爲メ溜池ノ設ケアリ之カ水路ハ該谷川ヲ利用スル慣習アリテ一朝旱魃ノ場合ハ日々溜池ノ樋門ヲ開キ谷川ヲ堰キ止メ引水スルヲ以テ自然天然水ヲ受クル能ハス之レカ爲メ旱害ヲ被ル事アリ適當ナラスト認ム

比婆郡

一六 同村大字田原耕地二十五町歩ハ國兼池餘水流レ山内川ニ設置セル田原堰ト稱スルモノヨリ給水スルモ毎年九月一日頃ヨリ之ヲ排水シ關係地ニハ給水ノ必要アルニモ不拘分與セサルモノナリ故ニ稻ノ抽穂期ニ際シタルモノハ完全ナル成熟ヲ遂クル事能ハサル事アリ此等ハ共ニ惡例ナリト認ム

山口縣

番號	所在地名	記	事
一	玖珂郡愛宕村	用水ノ分配ニ就テハ區域内一般ニ港ル樣畫間ハ大用水路ニ限リ堰止メサル筈ナルモ小用水路ハ勝手ニ堰止ル慣習アリ殊ニ「三ノ割」ノ如キ稍々高地ニハ隨時ニ小溝ヲ堰上ケル惡慣習アリテ用水量ハ可ナリ不足セサルニモ拘ラス下流ノ田面ハ度々乾涸スルコトアリ	

和歌山縣

一 伊都郡笠田村大字萩原ニ於ケル灌溉溝ハ其下流ノ三大字（萩原、笠田中、東）ニ於ケル支配反別ニ按分セスシテ均一ニ分配ス且水利費モ反別ニ依リ割當ツルニ非スシテ左ノ如クス
大字萩原ハ上流ニ在リテ井堰ヨリ萩原ニ至ル迄ノ費用ノ三分ノ一ヲ負擔シ、笠田中ハ前記ノ三分ノ

一ト外ニ萩原ヨリ笠田中ニ至ル送水費ノ二分ノ一ヲ負擔ス、東ハ前記三分ノ一ト二分ノ一ト外ニ尙
笠田中ヨリ東ニ至ル送水費用ノ全部ヲ負擔ス

其ノ他作人自由ニ引水スルカ爲用水ノ缺乏ヲ來シ或ハ共同用水路ヲ有スルニ部落ノ内上流ニ位スル
部落カ插秧ヲ終了セル後ニ非サレハ下流ニ送水セス又ハ配水ノ割合カ支配反別ニ按分セラレス不公
平ナルモノ、實例アレトモ小面積ニシテ且著シキモノニアラサレハ略ス

二 海草郡

郡内溜池灌溉地ハ古來ノ習慣ニヨリ上流地方ヲ以テ用水引用ノ優先權ヲ有シ爲メニ旱魃ノ際ハ下流
地方ハ用水涸渴シテ困難ヲ來ス而モ同一水利組合區域内ニ屬シ同一割合ノ負擔ヲ受クルハ不公平ナ
ル事例ナリ

德 島 縣

一 名東郡加茂名村

同村大字島田、庄、藏本ノ三村ハ普通水利組合ヲ設ケテ水田ヲ經營シ居レリ而シテ其水源ハ袋井(地
下水)ニシテ之カ配水ハ地積及經費ノ負擔ニ應シテ取極タリト云フ舊來ノ慣行タル水源ヨリ湧出ス
ル全水量ヲ二分シテ甲線ハ島田方面へ乙線ハ庄、藏本方面へ送水シ水量ノ比ヲ甲線七分乙線三分ト

定ヘテ正確ニ分岐ヲ設ケテ配水シツ、アルカ島田方面ハ稍高地ナルカ故ニ水路ノ勾配緩ニシテ當初
期待ノ水量ヲ得難ク困難ヲ極ムルニ反シテ藏本方面ハ比較的低位ナルカ爲メ水路ノ勾配急ナルト土
質ノ關係上滲洩少キ等ニ依リ常ニ水量豊豊ナルノミナラス兵營設置ノ爲メ水田大ニ減少シタルヲ以
テ其懸隔益々著大トナリ旱魃時ニ在リテハ一方ハ凶作ニ泣クニ反シ一方ハ豊穰ヲ謳歌スルアリ斯ク
如ク一組合内ニ於テ方面ヲ異ニスルカ爲メ害壞ノ差アルカ如キ適當ナル分配ト認ムルコトヲ得サル
モ何分舊來ノ慣習ニ依ルコト、テ之カ改正ハ種々議論アリテ頗ル難事ナリトス

香 川 縣

一 綾歌郡陶村ニ實光池外五池アリ灌溉面積二百餘町歩ヲ灌溉セリ是等ノ諸池ハ配水ニ際シ各導水路
ノ分岐點ニ分岐堰ト稱シ木又ハ石ニテ灌溉面積ニ應シテ斷面積ヲ計算セル一種ノ配水器ヲ設置セリ
然シテ灌溉面積ハ舊藩時代ノ徵收石高ヲ基礎トセルモ實測面積トノ差大ナルヲ以テ隨テ配水ニ不均
一ヲ來シ一方ハ用水富裕ナルニ一方ハ稻作ノ枯死スル慘狀ヲ見ル耕地尠少ナラス又一度田ヨリ作物
栽培其他ノ都合ニ依リ宅地又畑ニ成シテ再ヒ田トナス時ハ之ニ對スル配水ヲ成サ、ルノ慣習存セリ

二 二股池木田郡奥鹿村大字鹿庭

灌溉區域 奥鹿村十六町井戸村二百四十町